

文部科学省 平成24年度
「がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン」選定事業

平成27年度 活動報告書

順天堂大学
島根大学
鳥取大学
岩手医科大学
東京理科大学
明治薬科大学
立教大学

文部科学省 平成 24 年度
「がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン」
選定事業

平成 27 年度活動報告書

順天堂大学
島根大学
鳥取大学
岩手医科大学
東京理科大学
明治薬科大学
立教大学

目 次

第 1 編 事業概要報告(平成 27 年度)	1
1. 事業の概要	2
1-1 参加大学名(設置者名)	2
1-2 プログラム名	3
1-3 事業名称	3
1-4 本事業の概要	3
第 2 編 本年度開講コース	5
1. 本年度開講コース	6
1-1 順天堂大学 次世代先導的がん研究者養成コース	6
1-2 順天堂大学 次世代先導的がん専門医療人養成コース(インテンシブ)	7
1-3 島根大学 地域がん専門医育成コース	8
1-4 島根大学・鳥取大学 山陰がん認定医療スタッフ育成コース(インテンシブ)	9
1-5 鳥取大学 がん看護専門看護師養成コース	10
1-6 鳥取大学 がん看護認定看護師養成コース	11
1-7 岩手医科大学 緩和ケア地域連携を支援する指導的医療人育成コース	12
1-8 岩手医科大学 先導的がん臨床研究に精通した医療人育成コース(インテンシブ)	13
1-9 東京理科大学 がんシステム・創薬研究者養成コース	14
1-10 明治薬科大学 がん薬物療法のファーマシー・サイエンティスト養成教育コース	15
1-11 立教大学 医学物理研究コース	16
1-12 がんに特化した講座の設置	17
第 3 編 平成 27 年度の取り組み	19
1. 外部評価委員会	20
1-1 がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン外部評価委員会	20
2. シンポジウム	25
2-1 がんプロ市民公開シンポジウム	25
2-2 がんプロ研究シンポジウム	27
2-3 がんプロ国際シンポジウム	30
2-4 がんプロ地域シンポジウム	32
3. ワークショップ	34
3-1 連携 7 大学 FD 研修会	34
3-2 臨床研究研修会	43
4. 各大学企画講座・連携企画講座	51
4-1 順天堂大学 次世代先導的がん専門医療人養成コース(インテンシブコース) 【医師・研究者向け講義】	51
4-2 順天堂大学 次世代先導的がん専門医療人養成コース(インテンシブコース) 【医学物理・放射線関係講義】	52
4-3 順天堂大学 企画講座(セミナー等)	53
4-4 順天堂大学 講演会「がん教育を進めるにあたって」	63
4-5 順天堂大学 キャンサーボード	66
4-6 島根大学・鳥取大学 山陰がん認定医療スタッフ育成コース(インテンシブ) 夏季セミナー	67
4-7 島根大学 第 6 回島大総合医セミナー	72
4-8 島根大学 肺癌国際シンポジウム ～地域から首都圏、そしてアジアまで俯瞰する肺がん研究～	74
4-9 島根大学・東京理科大学 トランスレーショナルリサーチセミナー	77
4-10 島根大学 大田市立川合小学校病院見学	79
4-11 島根大学 江津市民公開講座 ～江津のがん医療のこれからを考えよう～	83

4-12	島根大学 企画講座（セミナー等）	86
4-13	鳥取大学 市民公開講座「がん治療の進歩は何を変えるのか」	89
4-14	鳥取大学 企画講座（セミナー等）	91
4-15	岩手医科大学 講演会「乳がん手術のエビデンスと実践」	94
4-16	岩手医科大学 講演会「消化管がんの最新治療と将来の展望」	96
4-17	岩手医科大学 国際シンポジウム「イメージガイド下がん診断・治療と医用ロボットの展望 ～日本に於けるがん治療への応用～」	98
4-18	岩手医科大学 キッズキャンサーセミナー	100
4-19	岩手医科大学 講演会「婦人科がん治療における腹腔鏡手術のあり方と展望」	103
4-20	岩手医科大学 講演会「がん臨床試験の実際」 ～CRC および Paramedical の役割とプロトコール作成の実際～	105
4-21	岩手医科大学 講演会「肺癌個別化医療に求められる気管支鏡」	107
4-22	岩手医科大学 講演会「医療現場におけるがん患者の就労支援」	109
4-23	岩手医科大学 腫瘍センター講演会「骨転移診療のパラダイムシフト ～骨転移カンファレンスの現状と課題、今後の展望～」	111
4-24	岩手医科大学 セミナー「臨床研究セミナー」	113
4-25	岩手医科大学 講演会「がん免疫療法について」	115
4-26	岩手医科大学「高校生キャンサーセミナー」	117
4-27	岩手医科大学 講演会「頭頸部癌の超音波診断～新たな診断基準の策定と新技術の開発～」	120
4-28	岩手医科大学 キャンサーボード等	122
4-29	東京理科大学 企画講座（セミナー等）	124
4-30	明治薬科大学 市民公開講座	126
4-31	明治薬科大学 特別講演会	128
4-32	明治薬科大学 企画講座（セミナー等）	130
4-33	立教大学 企画講座（セミナー等）	131
5.	連携大学 ICT 特別講義	132
5-1	連携大学 ICT 特別講義『こどもの・自らのがんを、子どもにどう伝えるべきか？ ーCLS（チャイルド・ライフ・スペシャリスト）の役割を探るー』	132
5-2	連携大学 ICT 特別講義ー産官学連携ー『日本医療研究開発機構（AMED）と創薬支援について ～橋渡し研究、臨床研究・治験の環境整備を中心に～』	134
5-3	連携大学 ICT 特別講義『必要とされるコミュニケーションスキル スピリチュアルケアとディグニティセラピー』	136
6.	共同カンファレンス等	138
6-1	がんプロ乳腺臨床・研究 TV カンファレンス	138
6-2	がんプロ放射線 TV カンファレンス	139
6-3	がんプロ薬剤師関連カンファレンス	139
6-4	がんプロ共同研究カンファレンス	139
6-5	がんプロ共同研究	140
6-6	がんプロ海外研修	141
7.	ニュースレター	145
7-1	ニュースレター第 13 号	145
7-2	ニュースレター第 14 号	151
7-3	ニュースレター第 15 号	155
7-4	ニュースレター第 16 号	159

第 4 編 各委員会議 165

1.	運営連絡会	166
1-1	がんプロ連携 7 大学運営連絡会（27-1）	166
1-2	がんプロ連携 7 大学運営連絡会（TV 会議）（27-2）	167
1-3	がんプロ連携 7 大学運営連絡会（27-3）	167
1-4	がんプロ連携 7 大学運営連絡会（27-4）	168
1-5	がんプロ連携 7 大学運営連絡会（27-5）	168
1-6	がんプロ連携 7 大学運営連絡会（TV 会議）（27-6）	169

第 1 編

事業概要報告(平成 27 年度)

1. 事業の概要

1-1 参加大学名（設置者名）

順天堂大学大学院医学研究科

学校法人順天堂（東京都文京区本郷2丁目1番1号）
学長 木南英紀（事業推進代表者）

島根大学大学院医学系研究科

国立大学法人島根大学（島根県松江市西川津町1060）
学長 小林祥泰

鳥取大学大学院医学系研究科

国立大学法人鳥取大学（鳥取県鳥取市湖山町南4丁目101）
学長 豊島良太

岩手医科大学大学院医学研究科

学校法人岩手医科大学（岩手県盛岡市内丸19-1）
理事長 小川彰

東京理科大学大学院薬学研究科

学校法人東京理科大学（東京都新宿区神楽坂1丁目3番地）
理事長 中根滋（～平成27年9月16日）
本山和夫（平成27年9月17日～）

明治薬科大学大学院薬学研究科

学校法人明治薬科大学（東京都清瀬市野塩2丁目522番地1号）
理事長 奥山徹

立教大学大学院理学研究科

学校法人立教学院（東京都豊島区西池袋3丁目34番1号）
総長 吉岡知哉

1-2 プログラム名

文部科学省 平成24年度 「がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン」

1-3 事業名称

ICTと人で繋ぐがん医療維新プラン

1-4 本事業の概要

順天堂大学はがん専門医療者の養成を行い、がん医療の底上げに貢献してきた。今後は、全国のがん患者に均等に医療者養成の成果を還元し得る臨床の連携、基礎と臨床が協働する医薬看理工連携が課題である。従来、地方と首都圏大学との人材交流は少なく、地方のがん医療人養成はマンパワーに問題があった。本プランでは、本学及び連携医科系大学と非医科系大学をICTと循環型人材交流で結び、地域から世界まで、さらに基礎から臨床まで俯瞰するがん研究者・医療人の養成を目的とする。具体的には（1）順天堂大学に先導的がん医療開発研究センターを整備し、これを拠点とし、（2）東京理科大学・明治薬科大学・立教大学との共同橋渡し研究の体制整備と実施、（3）島根大学、鳥取大学、岩手医科大学の構築するコンソーシアムと理薬工学系大学をICTと人材交流で繋ぎ、臨床・研究・教育に一気に風穴をあける平成のがん医療維新を引き起こしたいと考えている。

第 2 編

本年度開講コース

1. 本年度開講コース

1-1 順天堂大学 次世代先導的がん研究者養成コース

大学名等	順天堂大学大学院医学研究科医学専攻（博士課程）						
コースの名称	次世代先導的がん研究者養成コース						
養成する専門分野	がん研究医						
コースの開始時期／ 修業年限（期間）	平成 25 年 4 月／4 年						
コースの履修対象者	医学研究科医学専攻（博士課程）大学院生						
養成する人材像	地域から世界まで俯瞰する力を持ち、高度な研究能力を有する次世代がん研究者の養成をおこなう。						
期待される成果や効果 （アウトカム）	がん臨床の専門家と研究者のもとでの研修（演習・実験実習・研究指導等）に加え、連携大学とのテレビ会議等を利用した講義や合同の研究カンファレンスに参加することにより、履修者・国内留学生はトランスレーショナルな研究課題のディスカッション・発表会を行うことができる。 後述の先導的がん医療開発研究センターによる研究コンサルティング等の支援を利用することで、質の高いがんに関する研究の計画立案・計画書作成を行うことが期待できる。また、大学間連携事業（ICT 特別講義、FD 研修会、臨床研究チーム研修等）にも積極的に参加することにより、連携大学・協力施設等との共同研究に繋がるシーズを発見することが可能となり、質の高い学位論文の公表が見込まれる。さらには、教員同士の人材循環も積極的に促す仕組みを構築することが可能となり、がん臨床研究の質の向上、がん医療の質の向上が期待される。						
教育内容の特色等	ICT 環境を利用した講義・カンファレンス、大学間連携事業（FD 研修会等）により、連携大学との情報交換がより効果的に行われる。また、順天堂大学に新たに整備する「先導的がん医療開発研究センター」による研究支援のもと、履修者はがんの研究プロトコル作成等を効率よく行うことができる。具体的には、基礎データベース活用による研究計画書の精度を上げる支援および、研究デザインに関する検討・統計的側面からの支援を受けることが可能である。また、連携大学および協力施設との共同研究計画についても、当該センターが ICT を積極的に活用し、連携のコーディネートを行うことで、共同研究計画の立案・作成がより円滑になる。						
養成人数	年度	H24	H25	H26	H27	H28	計
	募集人員	0	5	5	5	5	20
	受入目標人数	0	5	5	5	5	20
	受入実績	0	12	16	15		43

1-2 順天堂大学 次世代先導的がん専門医療人養成コース（インテンシブ）

大学名等	順天堂大学大学院医学研究科医学専攻						
コースの名称	次世代先導的がん専門医療人養成コース（インテンシブ）						
養成する専門分野	がん治療						
コースの開始時期／ 修業年限（期間）	平成 25 年 4 月／1 年間（20 講義）						
コースの履修対象者	医師、薬剤師、看護師、その他メディカルスタッフ						
養成する人材像	がん診療の最前線を学ぶとともに、基本的ながん臨床・基礎研究を理解できる次世代がん専門医療人を養成する。また、地域がん医療の現状や医師不足・地域定着化への連携を理解できるメディカルスタッフを育成する。						
期待される成果や効果 （アウトカム）	がん診療に関わる医療人の質の底上げが可能になる。がん研究や地域におけるがん医療の現状を理解することにより、日本、特に東京都・千葉県・静岡県の離島過疎地区におけるがんの地域医療の均てん化が是正される。						
教育内容の特色等	基礎研究の成果をがん患者の診療の現場に活かすために、臨床に視点においた大学院レベルの基礎教育を実施する。ICT（TV 会議や e-learning）も活用し、地域がん医療の現状・国際的ながん医療を学ぶ。						
養成人数	年度	H24	H25	H26	H27	H28	計
	募集人員	0	20	20	20	20	80
	受入目標人数	0	10	10	10	10	40
	受入実績	0	43	9	111		163

1-3 島根大学 地域がん専門医育成コース

大学名等	島根大学大学院医学系研究科医科学専攻						
コースの名称	地域がん専門医育成コース						
養成する専門分野	がん化学療法						
コースの開始時期／ 修業年限（期間）	平成 25 年 4 月／4 年						
コースの履修対象者	大学院医学系研究科医科学専攻博士課程 大学院生						
養成する人材像	地域のがん医療の均てん化を図るために、地域に多い高齢者がん医療に精通し、地域連携を推進し、地域貢献のマインドを有する全人的ながん診療専門医を養成すると共に、リサーチマインドを有し、臨床試験を計画し、山陰地区からエビデンスを発信できる能力を育成する。						
期待される成果や効果 （アウトカム）	山陰におけるがん診療医師不在、不足の解消と地域への定着化を促進し、県民が安定したがん医療の提供を受けることを可能とする。						
教育内容の特色等	がん診療の基本、治療の適応と禁忌を知り、診療ネットワークの構築について学ぶと共にトランスレーショナルリサーチ、臨床試験についての演習を含む教育内容とする。						
養成人数	年度	H24	H25	H26	H27	H28	計
	募集人員	0	3	3	3	3	12
	受入目標人数	0	3	3	3	3	12
	受入実績	0	1	1	0		2

1-4 島根大学・鳥取大学 山陰がん認定医療スタッフ育成コース（インテンシブ）

大学名等	島根大学大学院医学系研究科医科学専攻 (鳥取大学大学院医学系研究科医学専攻)						
コースの名称	山陰がん認定医療スタッフ育成コース（インテンシブ） (鳥取大学との合同事業)						
養成する専門分野	地域がん認定医療						
コースの開始時期／ 修業年限（期間）	平成24年10月／1年						
コースの履修対象者	地域の医師、薬剤師、看護師、その他メディカルスタッフ						
養成する人材像	山陰地区の日常的がん治療水準向上を目指し、その共通基盤となる臨床腫瘍学の知識・基本技術に習熟し、医療倫理に基づいたがん治療を実践する優れた医師及びメディカルスタッフを養成する。						
期待される成果や効果 (アウトカム)	山陰地区におけるがん診療医師及びメディカルスタッフ（看護師、薬剤師、臨床検査技師（細胞診検査、超音波検査）など）の地域偏在の解消と地域への定着化を促進し、最新がん医療の学び直しを行うことで、県民が安定したがん医療の提供を受けることを可能とする。						
教育内容の特色等	地域がん診療ネットワークの強化と山陰地区全体のがん医療の均てん化を図る。臨床腫瘍学の基礎知識、画像診断、がん化学療法、外科治療、集学的治療、緩和医療など幅広いトピックスを公開講座形式で随時開講する。一部の講義はeラーニングシステムを利用して受講することも可能とする。						
養成人数	年度	H24	H25	H26	H27	H28	計
	募集人員	15	15	15	15	15	75
	受入目標人数	15	15	15	15	15	75
	受入実績	16	26	15	18		75

1-5 鳥取大学 がん看護専門看護師養成コース

大学名等	鳥取大学大学院医学系研究科看護学専攻						
コースの名称	がん看護専門看護師養成コース						
養成する専門分野	がん看護専門看護師						
コースの開始時期／ 修業年限（期間）	平成27年4月／2年						
コースの履修対象者	臨床看護経験が5年以上およびがん看護経験が3年以上ある者で本学大学院医学系研究科看護学専攻博士前期課程（がん看護専門看護師コース）に入学した者。						
養成する人材像	がん看護分野、特に化学療法と緩和ケアの分野において、実践、教育、相談、調整、研究、倫理において卓越した知識・技能を持つ者。						
期待される成果や効果 （アウトカム）	がん看護専門看護師が絶対的に不足している山陰両県において、幅広くがん看護の質が向上するとともに、がんに関わる認定看護師の育成が期待される。地域医療における外来化学療法および緩和医療において、患者管理や看護実践に対する教育やコンサルテーションが可能となる。						
教育内容の特色等	がん全般の知識・技術を習熟し、地域医療に活かせる化学療法看護および緩和ケア看護を重点的に教育する。						
がん看護専門 看護師 養成人数	年度	H24	H25	H26	H27	H28	計
	募集人員				2	2	4
	受入目標人数				2	2	4
	受入実績				1		1

1-6 鳥取大学 がん看護認定看護師養成コース

大学名等	鳥取大学大学院医学系研究科看護学専攻						
コースの名称	がん看護認定看護師養成コース						
養成する専門分野	① 認定看護師（がん化学療法看護） ② 認定看護師（乳がん看護）						
コースの開始時期／ 修業年限（期間）	① 平成24年9月／7ヶ月 ② 平成26年9月／7ヶ月						
コースの履修対象者	① 臨床看護経験が5年以上および、がん化学療法の臨床経験が3年以上ある者で、本学の定める入学試験に合格した者。 ② 臨床看護経験が5年以上および、乳がん看護の臨床経験が3年以上ある者で、本学の定める入学試験に合格した者。						
養成する人材像	① がん化学療法看護に関して卓越した技能を有する者。本コース終了後、看護協会で定める認定看護師認定審査に受験・合格可能な者。 ② 乳がん看護に関して卓越した技能を有する者。本コース終了後、看護協会で定める認定看護師認定審査に受験・合格可能な者。						
期待される成果や効果 （アウトカム）	① がん化学療法認定看護師が絶対的に不足している山陰両県において、がん化学療法に対する知識、技能を習得し、がん患者とのコミュニケーションがスムーズにできる看護師が養成されることによって、外来がん化学療法の治療環境が良くなり、がん化学療法実施による副作用等のリスクが少なくなる。 ② 乳がん看護認定看護師が絶対的に不足している山陰両県において、乳がんに対する知識、技能を習得し、がん患者とのコミュニケーションがスムーズにできる看護師が養成されることによって、患者に対する適切なアセスメントを行い、集学的治療および治療に伴う副作用への専門的ケアとセルフケア確立に向けた指導・相談ができる能力が備わり、乳がん看護の質向上を図ることができる。						
教育内容の特色等	① がん化学療法の知識、技能およびコミュニケーション能力の向上により、患者の異変に対する早期発見・早期対処が可能となる。また、自らの実践力を向上させる能力を育成する。 ② 乳がんの知識、技能およびコミュニケーション能力の向上により、患者・家族に必要なとされる専門的な支援ができる能力を教育する。						
① 認定看護師 （がん化学療法看護） 養成人数	年度	H24	H25	H26	H27	H28	計
	募集人員	10	10			10	30
	受入目標人数	10	10			10	30
	受入実績	7	9				16
② 認定看護師 （乳がん看護） 養成人数	年度	H24	H25	H26	H27	H28	計
	募集人員			10	10		20
	受入目標人数			10	10		20
	受入実績			4	3		7

1-7 岩手医科大学 緩和ケア地域連携を支援する指導的医療人育成コース

大学名等	岩手医科大学大学院医学研究科医科学専攻・内科系専攻						
コースの名称	緩和ケア地域連携を支援する指導的医療人育成コース						
養成する専門分野	緩和医療						
コースの開始時期／ 修業年限（期間）	平成25年4月／修士課程：2年 博士課程：4年						
コースの履修対象者	大学院医学研究科医科学専攻応用医科学群 修士課程 大学院医学研究科内科系専攻臨床腫瘍学 博士課程						
養成する人材像	がん治療経過中のQOL維持には、地域連携による緩和ケアの持続的な提供が不可欠である。しかし近年の医師不足に加え、先の震災により、東北における緩和ケアの地域連携は各地で壊滅的な打撃を受けた。本コースは、各地域の緩和ケア連携体制の再構築および均てん化を目指し、訪問看護医療も含めた地域ごとの実情に沿った連携システムの整備、ならびに永続的支援を提供するための、各専門職種からなるスキルミクス指向型の指導的医療人育成を目標とする。						
期待される成果や効果 （アウトカム）	- 緩和ケアを含めた、がん治療全般に対する知識・技術を修得することにより、各種認定資格（がん治療認定医、緩和薬物療法認定薬剤師等）の取得を学術的に支援する。 - 各地域において、緩和ケア医療連携が整備されることにより、居住地によらずがん患者が安定して緩和ケアを受けることが可能となる。						
教育内容の特色等	本コースは、「北東北がん医療コンソーシアム」の現場で活動している各医療専門職を主な対象として、緩和ケアについての高度な知識・技術を修得するとともに、実践的演習を通じて、チーム医療を構成する各職種の専門性を理解し、適切なコミュニケーション、情報の共有方法、およびチームマネジメントの手法を学ぶ。						
養成人数	年度	H24	H25	H26	H27	H28	計
	募集人員	0	3	3	3	3	12
	受入目標人数	0	3	3	3	3	12
	受入実績	0	1	2	1		4

1-8 岩手医科大学 先導的がん臨床研究に精通した医療人育成コース（インテンシブ）

大学名等	岩手医科大学大学院医学研究科医科学専攻						
コースの名称	先導的がん臨床研究に精通した医療人育成コース（インテンシブ）						
養成する専門分野	・ トランスレーショナルリサーチ(TR)マネジメント ・ レギュラトリーサイエンス						
コースの開始時期／ 修業年限（期間）	平成 25 年 4 月／1 年間（3 単位）						
コースの履修対象者	先導的がん医療システム開発コンソーシアム（がん医療イノベーション）の参画者を対象とする。 ・ 医師/看護師/薬剤師をはじめとした医療者 ・ 医療系/理工系研究者 ・ 医薬品・医療機器開発企業担当者						
養成する人材像	地域で高品位ながん医療を効率的・経済的に運用するため、医療現場のニーズに応じた医薬品・医療機器の開発を行うため、生命科学あるいは理工系の知識に造詣が深く、TR に精通し、守られるべき患者の権利を尊重する敬虔な医療人を育成する。さらにレギュラトリーサイエンスに精通し、臨床試験を実施できる人材の育成を行う。						
期待される成果や効果 （アウトカム）	・ 本インテンシブコースの参加者を中心に、3 年後を目標として大学院博士課程でのコース設立を目指す。専門家の集うインテンシブコースを設立準備機構として位置づけ、大学院コースに昇華させる。 ・ 人口移動の少ない岩手の地勢メリットを生かし、長期フォローの可能な、世界的にも類を見ないがん研究拠点形成の第一歩と期待される。 ・ 壊滅的な被害を受けた岩手沿岸地域に、先導的ながん医療臨床試験のフロンティアフィールドを整備するために必要な人材が育成され、地域住民の福祉にも直接的に貢献する。						
教育内容の特色等	・ 本コースは、異分野の専門職が集い討議するワークショップ形式のプログラムと、TR ならびにレギュラトリーサイエンスに係る講義を併用し、地域で先導的がん医療を実践するために必要な知識を修得する全く新しい試みである。 ・ 教育課程では東京理科大学大学院との連携を行う。						
養成人数	年度	H24	H25	H26	H27	H28	計
	募集人員	0	5	5	5	3	18
	受入目標人数	0	5	5	5	3	18
	受入実績	0	6	7	4		17

1-9 東京理科大学 がんシステム・創薬研究者養成コース

大学名等	東京理科大学薬学研究科薬科学専攻修士課程						
コースの名称	がんシステム・創薬研究者養成コース						
養成する専門分野	創薬医科学						
コースの開始時期／ 修業年限（期間）	平成24年4月／2年						
コースの履修対象者	薬学研究科薬科学専攻修士課程 大学院生						
養成する人材像	がん研究は、がん遺伝子を基点としたオミックスデータやがん細胞の分子生物学的な研究手法により、がんの複雑さが明らかにされてきてはいるが、まだ十分に御することができないのが現状である。そのため、(1)がん細胞及び制がん剤作用機序を細胞内シグナル伝達系の集積による「システムの統合」として理解し、さらに、(2)がん分子標的薬開発を標的タンパク質の立体構造情報に基づいて理論的に創薬する「in silico 創薬」を理解して、21世紀のがんゲノム医療を支える研究者を養成することが重要課題となっている。本研究教育コースでは、このような点に焦点を絞り、国際的にも活躍できる優れた創薬研究者を養成する。						
期待される成果や効果 （アウトカム）	本研究教育コースにより、がん病態やがんシグナルパスウェイからがん分子標的の同定や、制がん剤の作用・副作用機序等を「がん統合システム」として理解し、さらに、コンピュータシミュレーション技術を活用してがん分子標的タンパク質の立体構造を基に理論的な創薬を追及する「in silico 創薬」の重要性を理解した新世代の創薬研究者が輩出されることになる。また、本コースで論理的がん戦略を推進する人材が養成されることによって、現在のがん研究が直面しているがん幹細胞や新規制がん剤開発等に関する様々な難問、限界を飛び越え、我が国のがん研究の水準が飛躍的に向上するとともに、がん医療体制を強化するなどの波及効果が期待される。						
教育内容の特色等	従来の教育コースにはなかった以下の学問領域・演習により成る「がんシステム・創薬学」について、順天堂大学医学部及び製薬企業等と実質的な連携体制を構築して実施する。このような研究教育内容はこれまでになく、極めて独創性に富んでいる。 (1)「がんシステム統合学」 がん細胞内の集積回路の解析とその数理モデル作成によって、個々のがん特異的な遺伝障害による集積回路の構造的、機能的変化からがん発症の仕組みや特性を理解することによって、がんをゲノム・エピゲノムからメタボロームまでを一貫したシステムとして捉える。さらに、制がん剤の作用機序も細胞内シグナル伝達系集積システムとして理解する。 (2)「ゲノム創薬科学」 がん遺伝子を基点とした制がん剤開発のためのがん標的タンパク質分子の立体構造情報に基づく理論的創薬手法を理解する。特にがん遺伝子の変異に対応した最適制がん剤を理論的に創成するためのコンピュータシミュレーション技術、副作用や薬剤耐性を克服するための方策を立案する能力を涵養する。 (3)「臨床データ・サンプルを用いた研究技法演習」 順天堂大学医学部と連携し、臨床データやサンプルを用いて上記「がんシステム」、「in silico 創薬手法」、「制がん剤の処方デザイン」などの妥当性・有効性を検証する。このように臨床と直結した研究技法演習を行う。						
養成人数	年度	H24	H25	H26	H27	H28	計
	募集人員	3	5	5	5	5	23
	受入目標人数	3	5	5	5	5	23
	受入実績	10	6	9	8		33

1-10 明治薬科大学 がん薬物療法のファーマシー・サイエンティスト養成教育コース

大学名等	明治薬科大学大学院薬学研究科薬学専攻博士課程						
コースの名称	がん薬物療法のファーマシー・サイエンティスト養成教育コース						
養成する専門分野	薬剤師						
コースの開始時期／ 修業年限（期間）	平成24年4月／4年						
コースの履修対象者	薬学研究科薬学専攻博士課程大学院生・科目等履修生						
養成する人材像	がん薬物治療の集学的治療に貢献できる国際的な薬学知識と研究能力をもつ優れたファーマシスト・サイエンティスト(pharmacist scientist)を養成する。						
期待される成果や効果 （アウトカム）	- がん薬物療法における薬剤師の貢献に高度な学術的内容を付加できる - 薬剤師の治療評価診断能力を養成できる - 社会人大学院生を積極的に受け入れ、がん医療に関わる薬剤師の教育および研究指導者を養成できる - 欧米大学との教育連携により国際的レベルの臨床薬剤師育成教育ができる - 社会人大学院学生に対して各種学会（医療薬学会、臨床薬理学会等）の認定専門薬剤師取得を学術的に支援できる						
教育内容の特色等	- 臨床現場で活躍する薬剤師を社会人大学院生として積極的に受け入れ、教育・学術研究能力を育成する - 学内および順天堂大学の専門医によるフィジカルアセスメント教育プログラム創設 - 教育連携を実施している欧米3大学および順天堂大学医学部から教員を招聘し、日米欧教育シンポジウムと短期集中がん薬物療法教育プログラムを実施する						
養成人数	年度	H24	H25	H26	H27	H28	計
	募集人員	2	3	3	3	3	14
	受入目標人数	2	2	2	2	2	10
	受入実績	5	3	7	8		23

1-11 立教大学 医学物理研究コース

大学名等	立教大学理学研究科物理学専攻						
コースの名称	医学物理研究コース						
養成する専門分野	医学物理士						
コースの開始時期／ 修業年限（期間）	平成24年4月／3年						
コースの履修対象者	理学研究科物理学専攻大学院生（後期課程）						
養成する人材像	放射線の本質を理解し、最先端の放射線計測技術の成果を臨床現場のニーズに合わせて活用できる能力を有する医学物理研究者及び医学物理士						
期待される成果や効果 （アウトカム）	- がん治療時のリアルタイムでの照射量測定技術の開発 - 高精度がん治療における品質保証の向上 - 臨床現場と放射線技術開発の密接な連携強化 - 福島原発事故からの復興に関わる保健物理への貢献						
教育内容の特色等	臨床現場に身を置き、現場ニーズにあった放射線制御およびモニター装置の開発等研究開発能力を備えた博士の育成。						
養成人数	年度	H24	H25	H26	H27	H28	計
	募集人員	2	2	2	3	3	12
	受入目標人数	1	1	1	2	2	7
	受入実績	1	2	0	0		3

1-12 がんに特化した講座の設置



順天堂大学大学院 医学研究科 順天堂大学医学部 腫瘍内科学講座

悪性腫瘍は国民の死亡原因の第1位を占め、その治療成績の向上は、我が国の医療における最大の課題であります。そのため、がん対策基本法においても専門的な知識および技能を有する医師その他の医療従事者の育成を図ることが求められています。

がんは遺伝子の構造異常により生じる病気であるため、同一の遺伝子異常が複数の臓器がんの原因となっていることも稀ではないことから、次代のがん医療従事者はがんという疾患について臓器横断的に俯瞰する視点を持つ必要があります。腫瘍内科学研究室は、臓器別に理解されている知識を有機的に結びつけ、がん細胞の分子生物学的特性というミクロのレベルから、実際の患者の発がん、転移などの臨床的病態の理解および治療というマクロレベルまで、深い洞察力を持った若い医師の育成のために、がんに特化した講座として新設されました。

臨床腫瘍学（腫瘍内科学）に関する卒前教育（医学教育）・卒後教育（大学院生に対する研究、論文指導）、研修医指導などの教育活動のほか、化学療法小委員会やカンサーボードなど診療科連携などがん治療センターの運営支援、さらには先導的医療開発センターと共同した連携大学間の研究支援活動などを行っております。



順天堂大学大学院 医学研究科 順天堂大学医学部 緩和医療学研究室

緩和医療学研究室は、自然科学と人間科学を統合した緩和ケア学の確立と教育・実践、緩和医療医養成、緩和ケアに関心を有する医療従事者の育成、緩和ケア領域における臨床研究を行うことを目的としています。

本研究室では、附属病院に設置された緩和ケアセンターの運営に携わっています。ペインクリニック医師、メンタルクリニック医師、専門・認定看護師、臨床心理士、薬剤師、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士、医療ソーシャルワーカーなどで構成される緩和ケアのチーム医療を通じ、病を抱えながら過ごす患者さん（主にがんの患者さん）とご家族に対し、希望を大切に充実した豊かな人生を「生きること」を支援します。多職種間のコミュニケーションを重視したチーム医療を通じて、がん専門医療人の養成を行います。また、緩和ケア領域における臨床研究を通じてがん研究者を養成し、患者・家族ケアの質の向上と地域・社会貢献に努めて参ります。



順天堂大学大学院 医学研究科 順天堂大学医学部 放射線治療学講座

本講座は、放射線医学講座が放射線診断学講座と放射線治療学講座に発展的に分離、独立しました。設立の目的は、放射線腫瘍医、医学物理士の有機的統合により高精度放射線治療の基礎および臨床研究を行い、かつ、がん治療教育の充実を図ること、また、連携大学との協力による相互の診療と各地域がん診療の充実を図ることです。

放射線治療専門医（7名）と医学物理士（助教3名 助手1名）を中心に、大学院生に対する放射線生物学および医学物理学の基礎研究指導を行っています。さらに、基礎研究を基盤に高精度放射線治療の開発研究を進めています。連携大学とは臨床面および医学物理面で協力体制の構築を行っています。

このような研究・教育体制により「基礎研究に造詣の深い放射線腫瘍医、医学物理士、放射線治療専門技師」の育成を図っています。



島根大学大学院 医学系研究科 島根大学医学部医学科 緩和ケア講座

緩和ケア講座は、教育（卒前、卒後、大学院）、臨床、研究を担当しています。卒前教育としての医学生教育は、ロールプレイを取り入れたチュートリアル教育と臨床実習で全人的な痛みを理解することに重点を置いています。当大学病院には、緩和ケア病棟・緩和ケアチーム・緩和ケア外来で臨床実践が行える、全国でも有数の緩和ケア臨床システムを構築しており、卒後教育として希望する初期研修医には緩和ケア病棟で教育を行い、その後は緩和ケア専門医育成プログラムによる専門教育を予定しています。他の医療関係者に対しては、島根県と連携した研修会による緩和ケア専門医療者（医師、医療スタッフ）の認定と育成を行うこと、大学院教育については緩和ケアを大学院で教育するために痛みの治療と地域連携ケアの研究を、ICTを利用して展開していく方針です。



岩手医科大学大学院 医学系研究科

岩手医科大学 緩和医療学科

本学科は、緩和ケアの卒前・卒後の教育の確立・実践、臨床研究者の育成、地域ごとの実情に沿った連携システムの整備と各専門職種からなるスキルミックス指向型の指導的医療人の育成を目的としています。



岩手医科大学大学院 医学系研究科

岩手医科大学 放射線腫瘍学科

本学科は、放射線腫瘍学の卒前・卒後の教育の確立・実践、地域ごとの実情に沿った連携システムの整備、放射線治療に生物学的・物理学的最適化戦略を開発・研究するがん放射線治療医の育成を目的としています。



明治薬科大学

寄付講座 がん先端治療学（アルファ粒子線・免疫治療学）

がんに対する中性子捕捉療法は難治性がんの治療として注目されています。本講座では、中性子捕捉化合物として新規のホウ素およびガドリニウム化合物を本学の化学研究者と共同で開発・改良すること、捕捉化合物をがん組織に効率的に送達させる drug delivery system を開発すること、さらにはこれに免疫療法を加味した新規治療法を開発することを目的としています。今後、本学の創薬研究者との共同研究で新規がん治療法が開発されることが期待されます。

第 3 編

平成 27 年度の取り組み

1. 外部評価委員会

1-1 がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン外部評価委員会

■概要

(1) 名称

がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン
ICT と人で繋ぐがん医療維新プラン外部評価委員会

(2) 日時、会場

開催日時：平成 27 年 11 月 13 日（金）15:00～17:30
講義会場：順天堂大学 本郷・お茶の水キャンパス センチュリータワー北 4 階 405 教室

(3) 評価委員

- ・垣添 忠生（公益財団法人 日本対がん協会 会長）※評価委員長
- ・眞島 喜幸（特定非営利活動法人 パンキャンジャパン 理事長）
- ・高山 智子（国立研究開発法人国立がん研センター がん対策情報センター がん情報提供研究部 部長）
- ・石原 浩（文京区 保健衛生部 部長／文京保健所長）

(4) 事業概要説明発表担当者

全体事業概要説明（発表担当：順天堂大学）
事業推進責任者／順天堂大学 大学院医学研究科長 新井 一

- ① 教育分野（発表担当：鳥取大学・明治薬科大学）
鳥取大学医学部附属病院 がんセンター 教授 辻谷 俊一
明治薬科大学 副学長／薬物治療学 教授 越前 宏俊
- ② 地域分野（発表担当：島根大学・岩手医科大学）
島根大学 内科学講座呼吸器・臨床腫瘍学 教授 磯部 威
岩手医科大学 腫瘍内科学科 教授 伊藤 薫樹
- ③ 研究分野（発表担当：東京理科大学・立教大学）
東京理科大学 薬学部生命創薬科学科 教授 早川 洋一
立教大学 理学研究科物理学専攻 特任准教授 洞口 拓磨
- ④ ICT と大学間連携事業（発表担当：順天堂大学）
順天堂大学 大学院医学研究科臨床腫瘍学 教授 加藤 俊介

(5) 主催

順天堂大学

■資料

・プログラム

がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン

ICTと人で繋ぐがん医療維新プラン外部評価委員会

がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン～ICTと人で繋ぐがん医療維新プラン～では、これまでの事業活動を振り返り、また今後の活動の重要な指針とするため、外部評価委員会を受審することといたしました。

評価の受審にあたっては、まず自己点検表を作成し、事前配布資料として評価委員に呈示いたします。次に、主幹大学の順天堂大学にて審査会を開催し、事業内容・活動内容を説明して評価をいただく予定としています。

開催概要

日 時 : 平成27年11月13日(金) 15:00～17:30

場 所 : 順天堂大学 本郷・お茶の水キャンパス センチュリータワー北4階405教室

評価委員: 委員長▶▶ 垣添 忠生 (公益財団法人 日本対がん協会 会長)

委 員▶▶ 眞島 喜幸 (特定非営利活動法人 パンキャンジャパン 理事長)

委 員▶▶ 高山 智子 (国立研究開発法人 国立がん研究センター がん対策情報センター がん情報提供研究部 部長)

委 員▶▶ 石原 浩 (文京区 保健衛生部 部長 / 文京保健所 所長)

プログラム

司 会▶▶ 統括コーディネーター 高橋 和久
(順天堂大学大学院 医学研究科 呼吸器内科学 教授)

1. 開会挨拶 15:00～15:05 5分

統括責任者▶▶ 順天堂大学 学長 木南 英紀

2. 事業概要説明 15:05～16:25 80分

全体事業概要説明

事業推進責任者▶▶ 順天堂大学大学院 医学研究科長 新井 一 10分

① 教育分野

鳥取大学医学部附属病院 がんセンター 教授 辻谷 俊一 20分

明治薬科大学 副学長 / 薬物治療学 教授 越前 宏俊

② 地域分野

鳥根大学医学部 内科学講座 呼吸器・臨床腫瘍学 教授 磯部 威 20分

岩手医科大学 腫瘍内科学科 教授 伊藤 薫樹

③ 研究分野

東京理科大学 薬学部 生命創薬科学科 教授 早川 洋一 20分

立教大学 理学研究科 物理学専攻 特任准教授 洞口 拓磨

④ ICTと大学間連携事業

順天堂大学大学院 医学研究科 臨床腫瘍学 教授 加藤 俊介 10分

3. 外部評価委員からの質問 16:25～16:55 30分

～ 質疑応答 ～

休憩 16:55～17:05 10分

4. 外部評価委員による講評 17:05～17:25 20分

5. 閉会挨拶 17:25～17:30 5分

順天堂大学大学院 医学研究科 分子病理病態学 教授 樋野 興夫

・出席者リスト

平成24年度文部科学省がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン採択事業
ICTと人で繋ぐがん医療維新プラン 外部評価委員会 参加者

大学	氏名	所属	役職
1. 外部評価委員	垣添 忠生	日本対がん協会	会長
	眞島 喜幸	特定非営利活動法人 パンキャンジャパン	理事長
	高山 智子	国立研究開発法人国立がん研究センター がん対策情報センター がん情報提供研究部	部長
	石原 浩	文京区保健衛生部・文京保健所	部長・所長
2. 大学関係者 ○順天堂大学	木南 英紀	順天堂大学	学長
	新井 一	医学研究科	研究科長
	高橋 和久	呼吸器内科学	教授
	加藤 俊介	臨床腫瘍学	教授
	樋野 興夫	分子病理病態学	教授
	佐瀬 一洋	臨床薬理学	教授
	奥澤 淳司	臨床研究センター	先任准教授
	竹田 省	産婦人科学	教授
	杉本 聡	放射線治療学講座	助教
	大津 洋	先導的がん医療開発研究センター	非常勤助教
	今井 美沙	先導的がん医療開発研究センター	助教
	水嶋 章郎	緩和医療学	教授
	田部 陽子	臨床検査医学講座	先任准教授
	田嶋 美幸	医学部附属順天堂医院薬剤部調剤課	主任
	中野 真理子	がん治療センター	師長
	安間 亜希	看護部1号館10階A病棟	師長
	木下 博予	研究推進センター	事務職員
	奥原 順子	研究推進センター	事務職員
	藤田 和也	研究推進センター	事務職員
	房野 優	研究推進センター	事務職員
	筈井 優子	研究推進センター	事務職員
	吉田 剛	情報センター	主任
	伊藤 嘉章	本郷・お茶の水キャンパス事務室	事務長(部長)
	磯部 豊	本郷・お茶の水キャンパス事務室	課長
	谷川 泰司	本郷・お茶の水キャンパス事務室	主任
	村里 麻耶	本郷・お茶の水キャンパス事務室	事務職員
	森川 直樹	本郷・お茶の水キャンパス事務室	事務職員
	志野 麻子	本郷・お茶の水キャンパス事務室	事務職員

大学	氏名	所属	役職
○鳥根大学	磯部 威	医学部 内科学講座 呼吸器・臨床腫瘍学	教授
	中谷 俊彦	医学部 緩和ケア講座	教授
	嘉藤 等	医学部 会計課予算監査室	課長補佐
○鳥取大学	辻谷 俊一	がんセンター	教授
	大山 賢治	がんセンター	助教
	橋井 義文	学務課	教育支援専門職
	岩井 康博	学務課教務係	主任
○岩手医科大学	伊藤 薫樹	腫瘍内科学科	教授
	渡辺 義典	医学部教務課	課長
	小野寺 敬信	医学部教務課	第2係長
	川守 裕陽	医学部教務課	事務職員
	吉田 はるな	医学部教務課	事務職員
	吉原 沙樹	医学部教務課	事務職員
○東京理科大学	早川 洋一	薬学部 生命創薬科学科	教授
	堀口 道子	薬学部 薬学科	助教
	長谷部 健一	教務部教務課(野田)薬学事務室	係長
○明治薬科大学	越前 宏俊	薬物治療学	副学長、教授
	庄司 優	薬効学	教授
○立教大学	平山 孝人	理学部 物理学科	教授
	洞口 拓磨	理学研究科物理学専攻	特任准教授
	若松 大樹	教務部 学部事務3課	事務職員

・会場の様子



2. シンポジウム

2-1 がんプロ市民公開シンポジウム

■概要

(1) 名称

がんプロ市民公開シンポジウム「がんの薬物療法、現在と未来」

(2) 日時、会場

開催日時：平成 27 年 6 月 27 日（土）13:00～16:20

講義会場：東京理科大学野田キャンパス 講義棟 K103 教室

(3) 講演

- ・「大腸癌の薬物療法 － 個別化治療の現状と展望」
国立がん研究センター東病院 消化管内科 吉野 孝之 科長
- ・「がん治療体験者が語る「抗がん剤の副作用」について」
三重県がん相談支援センター ピアサポーター 大西 幸次 先生
- ・「血液がんの薬物療法 － 内服薬の進歩と課題」
筑波大学 医学医療系 血液内科 坂田 麻実子 准教授
- ・「患者さんひとりひとりの治療に薬剤師としてできることは」
国立がん研究センター東病院 薬剤部 松井 礼子 主任

(4) 参加者の概要

参加者数：108 名

(5) 主催

東京理科大学

■資料

・ポスター

文部科学省がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン採択事業

市民公開シンポジウム

がんの薬物治療, 現在と未来

開会の辞

東京理科大学 学長 藤嶋昭

大腸癌の薬物療法－個別化治療の現状と展望

国立がん研究センター東病院 消化管内科 科長 吉野孝之

がん治療体験者が語る「抗がん剤の副作用」について

三重県がん相談支援センター ピアサポーター 大西幸次

血液がんの薬物療法－内服薬の進歩と課題

筑波大学 医学医療系 血液内科 准教授 坂田麻実子

患者さんひとりひとりの治療に薬剤師としてできることは

国立がん研究センター東病院 薬剤部 主任 松井礼子

2015年 **6月27日(土)** 13:00～16:20

東京理科大学野田キャンパス 講義棟 K103教室

東武野田線(アーバンパークライン) 運河駅下車 徒歩5分

主催: **東京理科大学**

●問合せ先

東京理科大学(野田) 薬学事務室

千葉県野田市山崎2641 電話 0471-24-1501(代表)

参加費
無料



東京理科大学
野田キャンパス

2-2 がんプロ研究シンポジウム

■概要

(1) 名称

がんプロ研究シンポジウム「進路の一つとしての海外留学」

(2) 日時、会場

開催日時：平成27年10月14日（水）13:00～16:00

講義会場：順天堂大学 センチュリータワー 北4階405・406教室

(3) 講演

第1部 MD アンダーソンがんセンターで研究すること

- ・テキサス州立大学 MD アンダーソンがんセンター 山口 浩史 Assistant Professor
- ・鳥取大学 医学部附属病院 第一外科（消化器外科） 本城 総一郎 助教

第2部 留学経験を生かした現在と今後の展望

- ・順天堂大学大学院医学研究科 整形外科・運動器医学 末原 義之 准教授
- ・岩手医科大学 産婦人科学講座 小島 淳美 講師
- ・明治薬科大学 分析化学教室 鈴木 俊宏 講師
- ・立教大学 理学研究科物理学専攻 洞口 拓磨 特任准教授

(4) 参加者の概要

参加者数：96名

(5) 主催

順天堂大学

■資料

・ポスター

平成24年度文部科学省がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン採択事業

進路の一つとしての 海外留学

がんプロ研究 シンポジウム
海外留学経験者の話を聞いてみよう!
参加費無料

日時 10月14日(水) 13:00~16:00 (12:30受付開始)
定員 80名 (事前申し込み必要)
会場 順天堂大学 センチュリータワー 北棟4階405・406教室

☒ **総司会** 順天堂大学大学院医学研究科 臨床腫瘍学 **加藤 俊介** 教授
☒ **開会の辞** 順天堂大学大学院医学研究科 呼吸器内科学 **高橋 和久** 教授

1部 MDアンダーソンcancer centerで研究すること

テキサス州立大学 MD アンダーソンがんセンター **山口 浩史** Assistant Professor
鳥取大学 医学部附属病院 第一外科 (消化器外科) **本城 総一郎** 助教

2部 留学経験を生かした現在と今後の展望

順天堂大学大学院医学研究科 整形外科・運動器医学 **末原 義之** 准教授
留学先: メモリアルスローンケタリングキャンサーセンター (アメリカ)

岩手医科大学 産婦人科学講座 **小島 淳美** 講師
留学先: 国立アイランガ大学附属 Dr. Soetomo 病院 (インドネシア)

明治薬科大学 分析化学教室 **鈴木 俊宏** 講師
留学先: 国立がん研究所 (アメリカ)

立教大学 理学研究科物理学専攻 **洞口 拓磨** 特任准教授
留学先: ブルックヘブン国立研究所 (アメリカ)
欧州原子核研究機構 (スイス・フランス)

Panel discussion 『留学って大変?』実際の話を聞いてみよう!

講演者の先生方をパネラーとしてお招きし、留学の実際のお話を伺います。

司会 順天堂大学大学院医学研究科 臨床病態検査医学 **田部 陽子** 先任准教授
順天堂大学大学院医学研究科 先導的がん医療開発研究センター **今井 美沙** 助教

☒ **閉会の辞** 順天堂大学大学院医学研究科 分子病理病態学 **樋野 興夫** 教授
☒ **懇親会** 演者の先生方も参加していただきます。

PROGRAM

主催 順天堂大学がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン 先導的がん医療開発研究センター
<http://ganpro-ict-plan.jp/index.html>

平成24年度文部科学省採択事業 がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン

進路の一つとしての海外留学 参加申込書

日時 **10月14日(水) 13:00~16:00** (12:30受付開始)

定員 **80名** (事前申し込み必要)

会場 **順天堂大学 センチュリータワー 北棟4階405・406教室**



■お申し込み方法

参加ご希望の方は、**10月6日(火)**までに下記内容をご記入いただき、**FAX**または**E-mail**にてお申し込みください。定員になり次第締め切りとさせていただきます。

FAXによる申込み

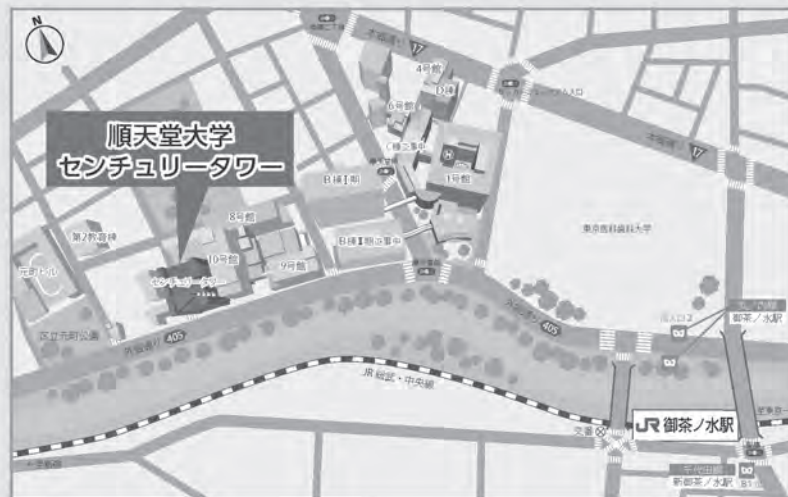
本申込書に必要事項をご記入の上、**FAX: 03-3813-3622** にお送りください。

E-mailによる申込み

必要事項をご記入の上、**E-mail: ganpro@juntendo.ac.jp** にお送りください。

参加登録をご希望の方は、下記ご記入のうえ送信してください。

フリガナ	
お名前	
ご所属先	
メールアドレス	@



■会場アクセス

■JR「御茶ノ水」駅下車(御茶ノ水口) 徒歩約5分。

■メトロ(丸ノ内線)「御茶ノ水」駅下車徒歩約5分。(千代田線)「新御茶ノ水」駅下車 徒歩約7分。

■バス(東京駅北口ー荒川土手)順天堂前下車。(駒込駅南口ー御茶ノ水駅)順天堂前下車。

■問い合わせ先

順天堂大学 がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン事務局

〒113-8421 東京都文京区本郷2-1-1 本郷・お茶の水キャンパス教務課(大学院担当)内

TEL:03-5802-1710 FAX:03-3813-3622 E-mail:ganpro@juntendo.ac.jp

2-3 がんプロ国際シンポジウム

■概要

(1) 名称

がんプロ国際シンポジウム「海外で活躍する医物理士」

(2) 日時、会場

開催日時：平成27年11月14日（土）13:00～15:20

講義会場：立教大学池袋キャンパス 12号館地下1階第1・2会議室

(3) 基調講演

- ・「Pathway to Medical Physics」
Turville Bay MRI & Radiation Oncology Center, Jessica Klaers, Ph.D.
- ・「Specificities of Treatment Planning Systems (TPS) Commissioning and Quality Assurance for Different Radiation Treatment Modalities」
National Institute of Radiological Sciences, Nathalie Fournier Bidoz, Ph.D.
- ・「Medical Physics Program in Juntendo University」
順天堂大学医学部 放射線医学教室 放射線治療学講座 黒河 千恵 助教

(4) 参加者の概要

参加者数：28名

(5) 主催

立教大学

2-4 がんプロ地域シンポジウム

■概要

(1) 名称

がんプロ地域シンポジウム「地域におけるがん教育とがんプロ」

(2) 日時、会場

開催日時：平成27年12月21日（月）17:00～19:30

講義会場：島根大学医学部附属病院みらい棟 4階 ギャラクシー

(3) 講演

第1部 基調講演

- ・「がんプロと大学教育としてのがん教育」 島根大学医学部内科学講座 呼吸器・臨床腫瘍学教授 礒部 威
- ・「島根県のがん対策とがん教育の現状」 島根県健康福祉部 健康推進課 がん対策推進室室長 半場 祐子
- ・「がん教育」ははじめの一步 大田市立川合小学校校長 矢田 悦夫
- ・「がん教育とがん哲学外来」 順天堂大学 医学部 病理・腫瘍学教授 樋野 興夫

第2部 パネルディスカッション

「がん教育の均てん化に向けてー大学ミッションを探るー」

コーディネーター：島根大学医学部内科学講座 呼吸器・臨床腫瘍学 礒部 威 教授
パネリスト：島根県健康福祉部 健康推進課 がん対策推進室 半場 祐子 室長
大田市立川合小学校 矢田 悦夫 校長
順天堂大学 医学部 病理・腫瘍学 樋野 興夫 教授
鳥取大学医学部附属病院 がんセンター 大山 賢治 助教

(4) 参加者の概要

参加者数：50名

(5) 主催

島根大学、鳥取大学

■資料

・ポスター

平成24年度文部科学省がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン採択事業

がんプロ地域シンポジウム

～地域におけるがん教育とがんプロ～

シンポジウムの主旨:

「がん」教育とは、「がんに対する正しい認識を子供を含む全国民が持つよう教育すること」である。そのためには、教育カリキュラムを作成し、がん教育指導医を中心としたがん教育プログラムによるがん教育の均てん化を図る必要がある。がんプロは大学教育としてプロジェクトを展開することが可能であることから、島根県行政、教育庁と連携することで、現状を把握し、お互いのニーズを確認し、今後、がん教育プロジェクトを推進したい。

日時: 2015年12月21日(月)17:00～19:30

会場: 島根大学医学部附属病院 みらい棟4階ギャラクシー

第1部 基調講演

1. 「がんプロと大学教育としてのがん教育」

島根大学医学部内科学講座 呼吸器・臨床腫瘍学 教授 礪部 威

2. 「島根県のがん対策とがん教育の現状」

島根県健康福祉部 健康推進課 がん対策推進室 室長 半場 祐子

3. 「がん教育」ははじめの一步

大田市立川合小学校 校長 矢田 悦夫

4. 「がん教育とがん哲学外来」

順天堂大学医学部 病理・腫瘍学 教授 樋野 興夫

第2部 パネルディスカッション

がん教育の均てん化に向けて 一大学ミッションを探る一

コーディネーター: 島根大学医学部 内科学講座呼吸器・臨床腫瘍学 教授 礪部 威

パネリスト: 島根県健康福祉部 健康推進課 がん対策推進室 室長 半場 祐子

大田市立川合小学校 校長 矢田 悦夫

順天堂大学医学部 病理・腫瘍学 教授 樋野 興夫

鳥取大学医学部附属病院 がんセンター 助教 大山 賢治

◇主な対象: 医師、薬剤師、看護師など診療、教育、研究に携わる全ての医療人および大学院生・学生
その他、ご興味のある方はぜひご参加ください

◇本シンポジウムは ICTを活用し連携大学へライブ配信し双方向で討議いたします。

博士課程選択科目: 臨床腫瘍学V (32)、臨床腫瘍学VI (33)、地域がん治療学 (37-1)、
がん医療社会学 (37-3)、臓器病態学III (65)、薬物動態学 I (70)、感染症学 I (83)

主催: がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン(ICTと人で繋ぐがん医療革新プラン)

順天堂大学、立教大学、明治薬科大学、東京理科大学、岩手医科大学、鳥取大学・島根大学

後援: 島根県健康推進課 がん対策推進室

都道府県がん診療連携拠点病院 島根大学医学部附属病院

山陰がん認定医療スタッフ育成インテンシブコース

島根呼吸・感染・がん研究会

お問い合わせ がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン 島根大学医学部事務局

電話 0853-20-2576 Fax: 0853-20-2580 Mail: ganpro@med.shimane-u.ac.jp

3. ワークショップ

3-1 連携 7 大学 FD 研修会

■概要

(1) 名称

がんプロ FD ワークショップ「がん教育を支えるサポーター養成プログラムの案出」

(2) 日時、会場、対象

開催日時：平成 27 年 8 月 29 日（土）13:30 ～ 平成 27 年 8 月 30 日（日）11:30

開催会場：盛岡地域交流センター（マリオス）18F

参加対象：がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン連携 7 大学：教員、がんプロ学生

(3) 講演

「グローバルな視点からみた地域社会におけるがん教育のあり方」

① PISA ショック後の教育基本法の改定と学習指導要領の変革

② 21 世紀を生き抜くコンピテンシーを育てる授業デザイン（アクティブラーニング）

演者：岩手医科大学 医歯薬総合研究所・腫瘍生物学研究部門 前沢 千早 教授

(4) 参加者の概要

参加者数：33 名

(5) 主催

岩手医科大学

■資料

・開催案内

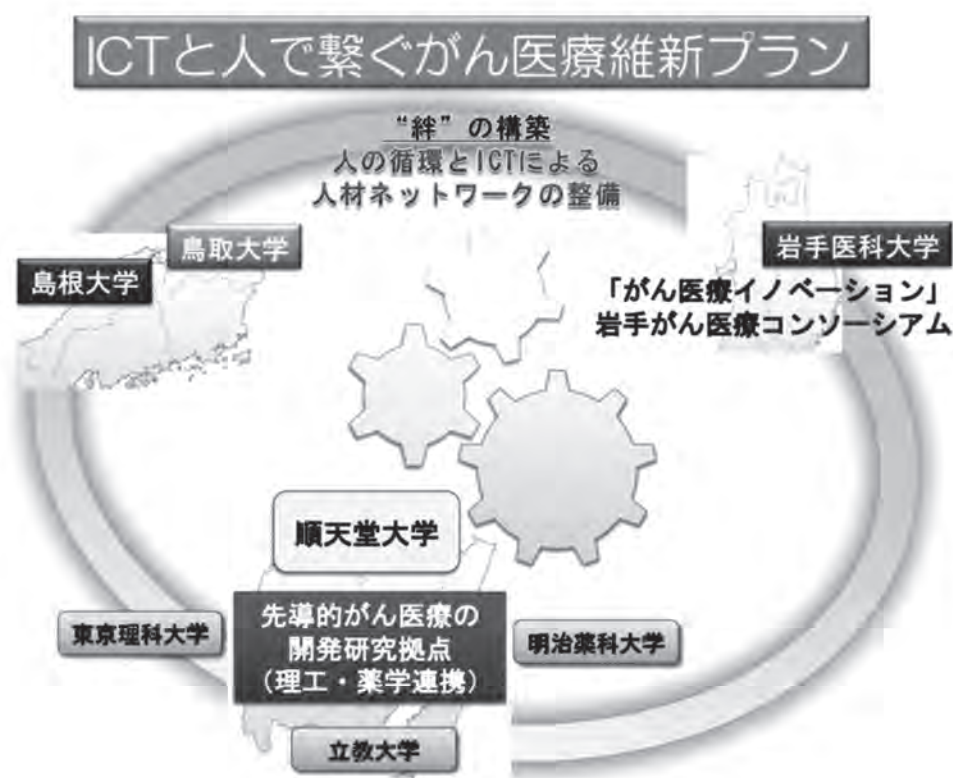
平成27年度がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン

がんプロ連携FD研修会

日 時 : 平成27年8月29日(土) 13時30分～
平成27年8月30日(日) ～11時30分

場 所 : 盛岡地域交流センター(マリオス18階)

「がん教育を支えるサポーター養成プログラムの案出」



主 催 : がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン「ICTと人で繋ぐがん医療推進プラン」
順天堂大学／鳥根大学／鳥取大学／岩手医科大学／東京理科大学
明治薬科大学／立教大学

はじめに（本FDの企画に際して）

がん対策基本法の施行から9年が経過し多くの施策が実施され、がん医療を取り巻く環境も大きく変化してきました。二期に渡った「がんプロ事業」も、がん治療専門職の育成と「患者さん中心の多職種連携チーム医療の実現」に大きく貢献してきました。一方、国民病とも言えるがんの克服のためには、がん対策基本法の第六条に謳われる「国民の責務」（※1）の履行こそが最も必要な要件となります。しかし、現状では、健康な国民のがんへの関心は薄く、市民公開講座に集う大半の方々は「がんサバイバー、あるいはその家族」です。国もこの点を憂慮し、初・中等教育を含め広く国民に対して「がん教育」を実施することによって、「がんに関する正しい知識の普及、啓発活動」を目指しています。

文部科学省も近々行われる学習指導要領の改定をにらみ、学校における健康教育全体の中での「がん教育のあり方」について議論をはじめ、全国的な教育活動の実施を目的とした検討会の立ち上げ、平成26年からモデル事業を実施しております（資料1）。①専門職育成、②がん研究の推進に続く次期「がんプロ事業」のテーマは、国民的な「がん教育」の推進・普及事業を睨んだものと言われています。

しかし、全国3万校（1,000万人）の小・中学生（※2）を対照して、我々自身が出かけて行ってがん教育をする事は、物理的・時間的に不可能であります。国民運動としての「がん教育」の達成に向けて、我々「がんプロメンバー」の果たすべきコミットメント（※3）は、

- | |
|--|
| ① 地域の実情に合わせた学校/保健医療機関/患者団体/一般市民/自治体等のネットワーク作りとその支援
② がん教育に係るアクティブラーニング教材の作成およびICTを活用した共有化事業
③ がん教育を支えるサポーター（支援者）の研修・育成事業 |
|--|

などが挙げられると思います。

しかし、「教育学としての体系だった教育」自体受けていない我々にとって、小中学生を対象とした実践教育にコミットするためには、学校の先生方との相互理解こそが肝要です。市民公開講座等における我々のレクチャーは、専門用語連発の一方的な知識の垂れ流しであり、子供達にとっては子守歌にこそなれ、彼らの能力を育み、がん撲滅を目指す国民運動の礎にはなり得ません。

本FDでは、まず

- | |
|---|
| ① グローバルな視点に立った初・中等教育における健康教育の現状について、PISA（※4）の試験問題を使った演習形式で体感して頂きます。
② 続いて文部科学省が掲げる「21世紀を生き抜くコンピテンシー（※5）の育成」に関して学び、
③ がん教育過程における「スコープ(scope)」と「シーケンス(sequence)」の設定、
④ 「総合的な学習時間（※6）」に導入するための単元指導計画書（アクティブラーニング※7）の作成に取り組んで頂きます。 |
|---|

上記の③、④の実施主体はあくまでも地域における学校の先生方です。しかし、学校の先生方の業務を疑似体験することで、学校教育におけるがん教育への我々のコミットの方略、あるいは地域のがん医療計画の推進に果たす社会的責務について、皆様の中で考え直すきっかけになれば、深甚です。

（平成27年8月29/30日）

盛岡地域交流センター（マリオス）18F

岩手医科大学 がんプロコーディネーター 杉山 徹

平成27年度がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン

がんプロ連携FD研修会 実施要項

1. 日 時 平成27年8月29日（土） 13:30～
平成27年8月30日（日） ～11:30
2. 会 場 盛岡地域交流センター（マリオス）18F
3. 主 催 がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン「ICTと人で繋ぐがん医療維新プラン」
4. 目 的 これまで、がんプロフェッショナル養成ならびに養成基盤推進プランでは、がん医療従事者あるいはがん患者・家族を対象として事業が推進され、一定の成果を挙げてきた。しかし、2人に1人が罹患し「国民病」とも言われるがんの克服のためには、がん対策基本法が謳うように、国民の1人1人にも「がん予防の責務」が負わされている。「がんに関する正しい知識と理解」の普及のためには、がん年齢を超え、各々の世代の理解度に応じた継続的ながん教育の実施が必要となる。
本活動は日々の診療に追われる医療関係者だけで担えるものではなく、地域の学校教育関係者ならびにNPO団体などで活動される一般市民・がんサバイバーの方々の支援があつてはじめて達成できるものである。
本FD研修会では、地域の実情に即した各世代でのがん教育プログラムの開発と地域間連携」をテーマに、教育プログラムを開発するワークショップを開催する。
5. テーマ 「がん教育を支えるサポーター養成プログラムの案出」
6. 講 演 「グローバルな視点からみた地域社会におけるがん教育のあり方」
演者： 岩手医科大学 医歯薬総合研究所・腫瘍生物学研究部門・教授
前沢 千早

・タイムテーブル

平成27年度がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン
 がんプロ連携FD研修会
 「がん教育を支えるサポーター養成プログラムの案出」

1. 日 時：平成27年8月29日（土）13：30～
 平成27年8月30日（日）～11：30
2. 場 所：盛岡地域交流センター（マリオス）

《1日目-8/29（土）》

時 間	内 容	場 所
13：30～13：55	【開会】 ◆挨拶 小林 誠一郎 教授（岩手医科大学大学院医学研究科長） ◆挨拶 杉山 徹 教授（岩手医科大学がんプロコーディネーター） ◆挨拶 高橋 和久 教授（順天堂大学がんプロ統括コーディネーター） ◆事務連絡 ◆ブレアアンケート（部屋の出口に回収箱があります）。	181 会議室
	移動	
14：00～15：00	グループワーク 1（GW：60分） PISA 健康領域関連問題の演習と問題意識の共有 ◆グループワークガイド（3分） ◆自己紹介（7分） ◆健康領域に関する PISA 問題の演習（5分） ◆採点（5分） ◆演習問題の要約作成（20分） ◆ワールドカフェ方式による情報交換（20分）	183・184 会議室
15：00～15：10	休憩・移動（10分）	
15：10～15：55	【講演】 （45分） 「グローバルな視点からみた地域社会におけるがん教育のあり方」 ① PISA ショック後の教育基本法の改定と学習指導要領の変革 ② 21 世紀を生き抜くコンピテンシーを育てる授業デザイン（アクティブラーニング） 演者：岩手医科大学 医歯薬総合研究所・腫瘍生物学研究部門 前沢 千早 教授	181 会議室
15：55～16：10	休憩・移動（15分）	
16：10～18：00	グループワーク（GW：110分）	183・184

	◆役割分担 ◆初・中等学校教育におけるがん教育過程のモデルの案出 プロダクト1:「スコープ(scope)」と「シーケンス(sequence)」の シェーマ作成(パワーポイントファイルで提出) ◆単元指導計画書の案出 プロダクト2:プロダクト1で作成したがん教育課程で、いずれかの単 元における指導計画書の作成(ワードファイルで提出) ※連携7大学運営連絡会関係者は16時50分まで 適宜休憩、他のグループとの情報交換をしながらプロダクトの作成を行 ってください。	会議室
17:00~18:00	連携7大学運営連絡会	181 会議室
18:00~18:30	休憩、移動(夕食会場:ホテルメトロポリタン盛岡本館4階)	
18:30~	夕食・懇親会(情報交換会)	早池峰

《2日目-8/30(日)》

時 間	内 容	場 所
6:45~8:30	朝食 (メトロポリタン盛岡本館4階 チャイニーズダイニング「JUN」)	ホテル
8:45~	荷物整理、チェックアウト、移動(会場へ)	ホテルフロント
9:30~11:10	【発表】80分 各グループ 20分×4班 【総合・討論】30分 司会:岩手医科大学医歯薬総合研究所 腫瘍生物学研究部門 前沢 千早 教授	181 会議室
11:10~11:30	【閉会式】 ◆総括(杉山 徹 教授(岩手医科大学がんプロコーディネーター)) ◆ポストアンケート回収	181 会議室
11:30	解散(盛岡駅)	盛岡駅

・参加者

平成27年度がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン
がんプロFD研修会参加者名簿

	関係機関	所属	職名	氏名
1	順天堂大学	呼吸器内科学講座	教授	高橋 和久
2	順天堂大学	臨床腫瘍学講座	教授	加藤 俊介
3	順天堂大学	先導的がん医療開発研究センター	助教	今井 美沙
4	順天堂大学	先導的がん医療開発研究センター (臨床検査医学)	ポストドクター	関原 和正
5	順天堂大学	呼吸器内科学講座	ポストドクター	米尼万 吐拉甫
6	順天堂大学	分子病理病態学	ポストドクター	Nadila Wari
7	順天堂大学	産婦人科学講座	大学院1年	落合 阿沙子
8	順天堂大学	先導的がん医療開発研究センター (整形外科)	リサーチ・アシスタント	向井原 健太
9	順天堂大学	本郷・お茶の水キャンパス 事務室教務課	事務員 (課長補佐)	磯部 豊
10	順天堂大学	本郷・お茶の水キャンパス 事務室教務課	事務員	村里 麻耶
11	島根大学	内科学講座呼吸器・臨床腫瘍学	教授	磯部 威
12	島根大学	放射線腫瘍学	教授	猪俣 泰典
13	島根大学	緩和ケア講座	教授	中谷 俊彦
14	鳥取大学	附属病院がんセンター	助教	大山 賢治
15	鳥取大学	附属病院がんセンター	医員	吉本 美和
16	明治薬科大学	薬物治療学	教授	越前 宏俊
17	明治薬科大学	薬効学	教授	庄司 優
18	明治薬科大学	薬物体内動態学	博士研究員	井上 裕貴
19	東京理科大学	微生物薬品化学	教授	早川 洋一
20	立教大学	理学研究科物理学専攻	特任准教授	洞口 拓磨
21	岩手医科大学	産婦人科学講座	教授	杉山 徹
22	岩手医科大学	腫瘍内科学科	教授	伊藤 薫樹
23	岩手医科大学	腫瘍生物学研究部門	教授	前沢 千早
24	岩手医科大学	緩和医療学科	教授	木村 祐輔
25	岩手医科大学	臨床薬理学講座	教授	工藤 賢三
26	岩手医科大学	呼吸器・アレルギー・膠原病内科分野	教授	山内 広平
27	岩手医科大学	高気圧環境医学科	教授	別府 高明
28	岩手医科大学	薬物代謝動態学講座	教授	小澤 止吾
29	岩手医科大学	臨床医化学講座	教授	那谷 耕司

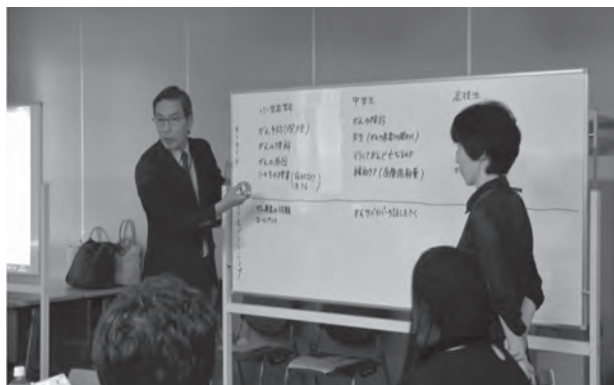
30	岩手医科大学	臨床薬理学講座	講師	佐藤 淳也
31	岩手医科大学	看護部	主任看護師	竹内 可愛
32	岩手医科大学	医学部教務課	課長	渡辺 義典
33	岩手医科大学	医学部教務課	係長	小野寺 敬信
34	岩手医科大学	医学部教務課	事務員	川守 裕陽
35	岩手医科大学	医学部教務課	事務員	鎌田 真麻
36	岩手医科大学	医学部教務課	事務員	小野 佑真
37	岩手医科大学	医学部教務課	派遣事務員	吉田 はるな
38	岩手医科大学	矢巾キャンパス教務課	臨時事務員	東城 綾子
39	岩手医科大学	医学部教務課	臨時事務員	吉原 沙樹
40	岩手医科大学	医学部教務課	臨時事務員	山田 美和子

平成27年度がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン
がんプロFD研修会 グループワーク (GW) 班分け表

日 時 平成27年8月29日(土)～30日(日)

【A班】			【B班】		
所属	職名	氏名	所属	職名	氏名
順天堂大学	教授	高橋 和久	鳥取大学	助教	大山 賢治
順天堂大学	PD	米尼万 吐拉甫	順天堂大学	RA	向井原 健太
順天堂大学	PD	Nadila Wari	島根大学	教授	猪俣 泰典
明治薬科	博士研究員	井上 裕貴	明治薬科	教授	越前 宏俊
岩手医科	教授	木村 祐輔	立教大学	特任准教授	洞口 拓磨
岩手医科	教授	山内 広平	岩手医科	教授	工藤 賢三
岩手医科	主任看護師	竹内 可愛	岩手医科	教授	那谷 耕司
【C班】			【D班】		
所属	職名	氏名	所属	職名	氏名
順天堂大学	教授	加藤 俊介	順天堂大学	助教	今井 美沙
順天堂大学	大学院1年	落合 阿沙子	順天堂大学	PD	関原 和正
島根大学	教授	中谷 俊彦	島根大学	教授	磯部 威
明治薬科	教授	庄司 優	鳥取大学	医員	吉本 美和
岩手医科	教授	杉山 徹	東京理科	教授	早川 洋一
岩手医科	教授	小澤 正吾	岩手医科	教授	伊藤 薫樹
岩手医科	講師	佐藤 淳也	岩手医科	教授	別府 高明

・会場の様子



3-2 臨床研究研修会

■概要

(1) 名称

第4回臨床研究研修会

(2) テーマ ※各グループにより次のいずれかを選択

1. 支持療法ガイドライン作成（手足症候群、末しょう神経障害、間質性肺炎など、現在十分な対応ができていないものを含む）を目的としたがん薬物療法中の副作用データベースの構築：
…全国ネットワーク形成プロジェクトの提案
2. 医師・薬剤師・看護師・医学物理士、基礎研究者の偏在解消法の提案：
…そのための具体的な教育（学生・大学院生・その後の生涯教育いずれも可）カリキュラム作成

(3) 日時、会場、対象

開催日時：平成28年2月27日（土）13:30～2月28日（日）11:30

開催会場：順天堂大学 本郷・お茶の水キャンパス センチュリータワー北4階 405・406教室

参加対象：がんプロ登録生(大学院生・インテンシブ生)、大学院生、医師、薬剤師、看護師、医学物理士、基礎薬学研究者、統計家

(4) 講演(各職種の役割とキャリア・ディベロップメントと現状)

- ・「看護師の役割」順天堂医院看護部 中野 真理子 師長
- ・「医学物理士の役割」立教大学 理学研究科 物理学専攻 洞口 拓磨 特任准教授
- ・「統計学者の役割」大阪大学大学院 医学系研究科 山本 紘司 寄附講座准教授
- ・「医師の役割」順天堂大学 乳腺・内分泌外科学 齊藤 光江 教授
- ・「チームビルディング」株式会社ビジネスコンサルタント 大崎 桂子 講師
- ・「薬剤師の役割」東京理科大学 薬学部 薬学科 小茂田 昌代 教授
- ・「昨年度海外研修について」先導的がん医療開発研究センター 今井 美沙 助教

(5) 参加者の概要

参加者数：63名

(6) 主催

順天堂大学

■資料

・実施要領

平成24年度文部科学省がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン採択事業

「第4回臨床研究研修会」 実施要領

1. 実施期日

平成28年2月27日（土）～2月28日（日）

2. 参加校

順天堂大学、島根大学、鳥取大学、岩手医科大学、東京理科大学、明治薬科大学、立教大学

3. 研修・宿泊場所

研修場所：順天堂大学 本郷・お茶の水キャンパス
センチュリータワー北棟4階405・406教室

宿泊場所：【ホテル東京ガーデンパレス】
〒113-0034 東京都文京区湯島1-7-5 TEL：03-3813-6211
【お茶の水 セントヒルズホテル】
〒113-0034 東京都文京区湯島2-1-19 TEL：03-3831-0081

4. 参加対象

がんプロ登録生（大学院生・インテンシブ生）、大学院生
医師、薬剤師、看護師、医学物理士、基礎薬学研究者、統計家

5. テーマ

- 1) 支持療法ガイドライン作成（手足症候群、末しょう神経障害、間質性肺炎など、現在十分な対応ができていないものを含む）を目的としたがん薬物療法中の副作用データベースの構築・・・
全国ネットワーク形成プロジェクトの提案
- 2) 医師・薬剤師・看護師・医学物理士、基礎研究者の偏在解消法の提案・・・そのための具体的な教育（学生・大学院生・その後の生涯教育いずれでもよし）カリキュラム作成

※グループごとにいずれかのテーマで討論を行い、提案をまとめて発表する。

6. グループワークのポイント

- ① 多職種コミュニケーションの技能を身につける（多職種にわかりやすい言語で話し、互いの理解度を意識した議論の展開をする）
- ② 誰もが自身の専門領域の話題においてはリーダーシップをとり（独りがけん引し続けるのではなく）、他者がリーダーシップをとっているときに良きフォロワーになる体験をする
- ③ 科学的根拠に基づいた議論を展開する
- ④ 医療のエンドユーザーとしての患者さんを常に意識する

7. 実施プログラム (順天堂大学 センチュリータワー北棟4階405・406教室)

期 日	時 間	内 容
第1日目 (2月27日)	12:00～12:30	【司会:齊藤 光江 教授】 開会の挨拶(担当:加藤 俊介 教授) 趣旨説明 (担当:齊藤 光江 教授) 事務連絡等 昼食
	12:30～	ミニレクチャー(各職種の役割とキャリア・ディベロップメントと現状) ①中野 真理子 師長 「看護師の役割」 ②洞口 拓磨 特任准教授 「医学物理士の役割」 ③山本 紘司 寄附講座准教授(大阪大学) 「統計学者の役割」 ④齊藤 光江 教授 「医師の役割」 ⑤大崎 桂子 講師(株式会社ビジネスコンサルタント)
	ミニレクチャー終了後 ～18:00	グループワーク①
	18:00～19:00	夕食(ディナーセッション)【司会:中谷 俊彦 教授】 ・小茂田 昌代 教授「薬剤師の役割」 ・今井 美沙 助教「昨年度海外研修について」
	19:00～21:30	グループワーク②
第2日目 (2月28日)	9:00～12:00	【発表会司会:齊藤 光江 教授、早川 洋一 教授】 ・発表(1グループ30分) ・全体討論・感想 ・表彰:(担当:越前 宏俊 教授) ・写真撮影等
		閉会の挨拶(担当:加藤 俊介 教授)

7. グループ一覧

【研修生】

グループ1: 伊藤 慶、赤池 慶祐、中尾 文香、明神 真由、佐藤 亜紀子、高橋 智子、谷野 良輔
松井 布美、根本 大輔、倉上 弘幸

グループ2: 岩井 萌、関 鑫、久能木 裕明、橋本 夕美、加藤 律子、吉本 美和根岸 和也
久保 裕太郎、井上 裕貴

グループ3: 盧 尚志、関原 和正、川本 晃史、吉岡 多美子、高橋 宏彰、長島 彰太、
西岡 佐和子、岩間 いつみ

グループ4: 向井原 健太、伊藤 陽介、野上 典子、稲垣 学人、森川 直人、泉 祐毅、石井 杏奈
佐藤 駿

【チューター・グループ長〇】△は初日のみの参加

グループ1: 大山 賢治(内)〇、庄司 優(薬)△、早川 洋一(薬)、今井 美沙(基)、中野 真理子、(看)
杉山 奈津子(薬)

グループ2: 津端 由佳里(内)〇、大谷 豊司(薬)、山本 紘司(統)、近藤 泰礼(薬)、中野 真理子(看)

グループ3: 加藤 俊介(内)〇、中谷 俊彦(内)△、越前 宏俊(薬)、田嶋 美幸(薬)、奥出有香子(看)

グループ4: 大津 洋(統)〇、小茂田 昌代(薬)、洞口 拓磨(基・物)、飯島 耕太郎(外)、西郷 織江(薬)
奥出 有香子(看)

・参加者リスト

第4回臨床研究研修会(H28年2月27～28日)参加者

	No	大学	氏名	所属	職名・学年	資格
研修生	1	順天堂	伊藤 康	放射線治療学	大学院2年	医師
	2		廣 尚志	下部消化管外科	大学院3年	医師
	3		青池 優祐	整形外科科学講座	大学院2年・がんプロRA	医師
	4		向井 健太	整形外科科学講座	大学院4年・がんプロRA	医師
	5		中尾 文香	順天堂医院薬剤部	—	薬剤師
	6		岩井 純	順天堂医院薬剤部	—	薬剤師
	7		關 轟	血液内科学	がんプロPD	医師
	8		明神 真由	乳腺・内分泌外科学	助手	医師
	9		関原 和正	臨床検査医学講座	がんプロPD	—
	10		伊藤 陽介	産婦人科学講座	大学院1年	医師
	11		久能木 祐明	放射線治療学講座	助教	医師
	12		佐藤 重紀子	医療看護学研究科	大学院2年	看護婦
	13		川本 皇史	放射線治療学講座	大学院生	医師
	14		葛橋 智子	順天堂医院看護部	看護主任	看護婦
	15		野上 典子	順天堂医院がん治療センター	—	看護婦・緩和ケア認定看護婦
	16		吉岡 多美子	順天堂浦安病院	看護主任	看護婦・がん看護専門看護婦
	17		橋本 夕美	順天堂大学公衆衛生学	大学院3年	看護婦
	18		加藤 律子	順天堂医院がん治療センター	看護主任	看護婦
チューター	1	鳥取	谷野 良輔	医学部内科学講座 呼吸器・臨床腫瘍学	大学院院インテンシブ兼事務補佐員	—
	2		吉本 美和	がんセンター	助教	医師
	3		堀垣 学人	薬剤部	—	薬剤師
	4	当手聖科	高橋 宏彰	薬剤部	—	薬剤師
	5		森川 直人	呼吸器・アレルギー・膠原病内科分野	講師	医師
	6		東 祐輝	薬学部	学部4年	—
	7	東京理科	長島 彰太	薬学部生	学部4年	—
	8		榎岸 和也	薬学部生	学部4年	—
	9		松井 希美	薬学部生	学部5年	—
	10		石井 吉奈	薬学部生	学部4年	—
	11		西岡 佐和子	薬学部	学部4年	—
	12		榎本 大輔	理工学部	学部4年	—
	13		久保 裕太郎	理工学部	学部4年	—
	14		岩間 いづみ	理工学部	学部4年	—
	15	明治薬科	佐藤 隆	理工学部	学部4年	—
	16		倉上 弘幸	理工学部	助教	—
	17		井上 裕貴	薬物体内動態学	博士研究員	薬剤師
	18	順天堂	加藤 俊介	臨床腫瘍学	教授	医師
	19		青藤 光江	乳腺・内分泌外科学	教授	医師
	20		大塚 洋	先端がん医療開発研究センター	非常勤助教	—
	21		今井 美沙	先端がん医療開発研究センター	助教	—
	22		鹿島 晴太郎	乳腺・内分泌外科学	先任准教授	医師
	23		田嶋 美幸	薬剤部	主任	薬剤師
	24		近藤 泰礼	薬剤部	—	薬剤師
	25		西郷 雅江	薬剤部	—	薬剤師
	26		中野 真理子	順天堂医院看護部	看護婦長	看護婦
	27		奥出 有香子	患者・看護相談室	看護婦長	看護婦
	28		杉山 恭子	国際医療福祉大学 薬学部(医療薬学)	助手	薬剤師
	29	鳥取	中谷 俊彦	医学部緩和ケア講座	教授	医師
	30		津越 由佳里	医学部附属病院 呼吸器化学療法内科	助教	医師
	31	鳥取	大山 寛治	がんセンター	助教	医師
	32		大谷 賢司	薬剤部	薬剤主任	薬剤師
	33	高崎理科	早川 洋一	薬学部 生命薬理科学科	教授	—
	34		小沼田 昌代	薬学部 薬学科	教授	薬剤師
	35	明治薬科	越前 宏俊	薬物治療学	教授	医師
	36		庄司 隆	薬効学	教授	医師
	37	立教	河口 拓磨	立教大学理学部物理科学専攻	特任准教授	博士(理学)
講師	1	講演者	大崎 桂子	株式会社ビジネスコンサルタント	—	—
	2		山本 薫司	大阪大学大学院医学系研究科	寄附講座准教授	—
見学生	1	順天堂	横澤 裕美	乳腺・内分泌外科学研究室	—	—
	2	順天堂	橋本 慶	教授課(大学院担当)	課長	—
事務	1	順天堂(事務)	谷川 泰司	教授課(大学院担当)	主任心得	—
	2		村尾 麻希	教授課(大学院担当)がんプロ事務局	係員	—
	3		森川 直樹	教授課(大学院担当)がんプロ事務局	係員	—
	4		志野 麻子	教授課(大学院担当)がんプロ事務局	係員	—

・アンケート

第4回 臨床研究研修会 アンケート

1. あなたの実務経験は何年ですか	学生 □	1年未満 □	1～3年 □	4～6年 □	7～9年 □	10年以上 □
2. あなたの専門は何ですか	医学 □ 非常に そう思う	薬学 □ そう思う	看護学 □ 少しそう思う	医学物理学 □ あまり そう思わない	統計学 □ そう思わない	その他 (全く そう思わない)
3. あなたは医師の役割をよく理解できたと思う	6	5	4	3	2	1
4. あなたは薬剤師の役割をよく理解できたと思う	6	5	4	3	2	1
5. あなたは看護師の役割をよく理解できたと思う	6	5	4	3	2	1
6. あなたは統計学者の役割をよく理解できたと思う	6	5	4	3	2	1
7. あなたは医学物理士の役割をよく理解できたと思う	6	5	4	3	2	1
8. あなたは十分意見が言えた	6	5	4	3	2	1
9. あなたは多職種グループワークに興味があった	6	5	4	3	2	1
10. あなたは今後、他職種チーム医療に積極的に参加したい	6	5	4	3	2	1
11. あなたは将来海外研修に参加したい	6	5	4	3	2	1
12. ランチョンセミナーは効果的であったと思う	6	5	4	3	2	1
13. ディナーセッションは効果的であったと思う	6	5	4	3	2	1
14. チューターの介入は効果的であったと思う	6	5	4	3	2	1
15. このような合宿は有意義だと思う	6	5	4	3	2	1
16. この合宿は楽しかった	6	5	4	3	2	1
17. 来年度、また合宿に参加したい	6	5	4	3	2	1

感想・要望、なんでもご記入下さい。

ご協力ありがとうございました。

第4回 臨床研究研修会 2/27～2/28 アンケート集計

質問項目	平均
1. あなたの実務経験は何年ですか	—
2. あなたの専門は何ですか	—
3. あなたは医師の役割をよく理解できたと思う	5.0
4. あなたは薬剤師の役割をよく理解できたと思う	5.0
5. あなたは看護師の役割をよく理解できたと思う	5.0
6. あなたは統計学者の役割をよく理解できたと思う	4.8
7. あなたは医学物理士の役割をよく理解できたと思う	4.0
8. あなたは十分意見が言えた	4.6
9. あなたは多職種グループワークに興味があった	5.4
10. あなたは今後、他職種チーム医療に積極的に参加したい	5.3
11. あなたは将来海外研修に参加したい	4.4
12. ランチョンセミナーは効果的であったと思う	4.9
13. ディナーセッションは効果的であったと思う	4.6
14. チューターの介入は効果的であったと思う	5.1
15. このような合宿は有意義だと思う	5.6
16. この合宿は楽しかった	5.3
17. 来年度、また合宿に参加したい	4.6

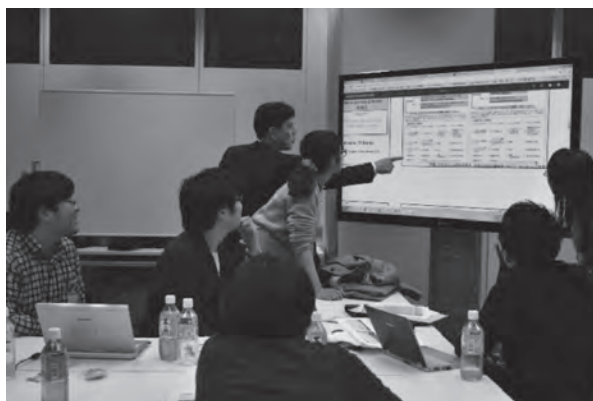
※「6非常にそう思う～1全くそう思わない」の6段階評価

感想、要望等

・大学で勉強しているだけではわからない臨床現場の生の声を聞くことができとても有意義でした。
・話し合いがいろんな方向に行ってしまう、総括する役割や進め方などもリーダーになるだけでなく、提案することができていたら、より深くデータを見たり、検討することができたのかと思います。グループで話し合うことの難しさを感じるとともに、改善するために考えることを提案する役目を果たすことができたよかったですと反省致しました。この反省を生かして、チーム医療に活かして行きたいです。
・「臨床研究」研修会というタイトルと、Group workの内容がかい離していると感じた。とても楽しい時間になりました。
・楽しかったです。
・今回のテーマ(テーマ1)では、統計学者が提案できそうな場面が少なかった。多職種と関わることで、より現実的に臨床研究について考えるようになった。実務経験のある人との関わりで、議論の仕方やプレゼンの仕方について新たな発見があった。
・多職種の人とお話をする機会はあまりないので有意義でした。2つのテーマから1つを選ぶのに時間がかかってしまったので、1つでもよかったのかなと思いました。学生が少なかったのも、院生だけでなく学部生の看護や医学生もいたらうれしいと思いました。
・様々な職種の方と意見を交わすことのできる貴重な体験を得られて非常に嬉しく思いました。
・もっと色々な人に意見を言ってもらい、発言する機会を作ればよかったと思います。今回の合宿でディスカッション・物の考え方に於いても他人とのディスカッションにおいても勉強する上で役に立つと思う。この機会を企画してくださり、スタッフの方には感謝しております。

・会場の様子

1日目：グループワーク



2日目：発表と質疑応答



2日目：表彰式



4. 各大学企画講座・連携企画講座

4-1 順天堂大学 次世代先導的がん専門医療人養成コース(インテンシブコース) 【医師・研究者向け講義】

■概要

(1) 名称

がんプロインテンシブコース【医師・研究者向け講義】

(2) 講義概要

・第1回

講義名称：論文を読む・書くための基礎 (1)

開催日時：平成27年6月4日(木) 18:00～19:30

開催場所：センチュリータワー 南4階 403教室

講師：アラメディック株式会社 代表取締役社長 林 健一 先生

・第2回

講義名称：統計学の基礎 (1)

開催日時：平成27年6月11日(木) 18:00～19:30

開催場所：センチュリータワー 南4階 403教室

講師：順天堂大学 先導的がん医療開発研究センター 大津 洋 非常勤助教

・第3回

講義名称：論文を読む・書くための基礎 (2)

開催日時：平成27年6月18日(木) 18:00～19:30

開催場所：センチュリータワー 北3階 306教室

講師：アラメディック株式会社 代表取締役社長 林 健一 先生

・第4回

講義名称：統計学の基礎 (2)

開催日時：平成27年6月25日(木) 18:00～19:30

開催場所：センチュリータワー 南4階 403教室

講師：順天堂大学 先導的がん医療開発研究センター 大津 洋 非常勤助教

・第5回

講義名称：臨床研究の倫理面での配慮

開催日時：平成27年7月2日(木) 18:00～19:30

開催場所：センチュリータワー 南4階 403教室

講師：順天堂大学 臨床研究支援センター 奥澤 淳司 准教授

・第6回

講義名称：安全性情報の管理

開催日時：平成27年7月9日(木) 18:00～19:30

開催場所：センチュリータワー 南4階 403教室

講師：順天堂大学 先導的がん医療開発研究センター 大津 洋 非常勤助教

・第7回

講義名称：疫学研究の基礎

開催日時：平成27年7月16日（木）18:00～19:30

開催場所：センチュリータワー 北4階405教室

講師：順天堂大学 臨床研究支援センター 野尻 宗子 准教授

・第8回

講義名称：研究成果と医療・患者とのコミュニケーション

開催日時：平成27年7月23日（木）18:00～19:30

開催場所：センチュリータワー 南4階403教室

講師：順天堂大学 臨床薬理学 佐瀬 一洋 教授

4-2 順天堂大学 次世代先導的がん専門医療人養成コース（インテンシブコース） 【医学物理・放射線関係講義】

■概要

(1) 名称

がんプロインテンシブコース【医学物理・放射線関係講義】

(2) 講義概要

・第1回

講義名称：計算解剖と主成分分析の基礎、さらにニッチな画像ベース放射線治療研究

開催日時：平成28年1月16日（土）16:30～18:30

開催場所：センチュリータワー 北3階306教室

講師：九州大学大学院医学研究院 保健学部門医用量子線科学分野 有村 秀孝 先生

共催：立教大学がんプロ運営委員会

4-3 順天堂大学 企画講座（セミナー等）

■セミナー① 概要

(1) 名称

「日本における胃がん及びその化学療法の現状について」
 – The current status of stomach cancer and its chemotherapy in Japan –

(2) 日時、会場

開催日時：平成27年4月2日（木）／4月16日（木）10:00～11:30
 講義会場：4月2日（木）センチュリータワー北4F 405 教室
 4月16日（木）10号館1F 105 教室

(3) 演者

・4月2日（木）

講演1

「胃がんの手術、標準的開腹手術と吻合」
 – Standard method of gastrectomy and anastomosis in Japan –
 順天堂大学 食道・胃外科 岩沼 佳見 准教授

講演2

「胃がんの化学療法について」
 順天堂大学 腫瘍内科学 加藤 俊介 教授

・4月16日（水）

講演1

「日本における早期胃がん内視鏡治療の現状について」
 順天堂大学 消化器内科 松本 健史 准教授

講演2

「胃がんの化学療法について」
 順天堂大学 腫瘍内科学 加藤 俊介 教授

(4) 参加者の概要

参加者数：4月2日（木）：33名
 4月16日（木）：34名

(5) 主催

順天堂大学

■セミナー② 概要

(1) 名称

「～研究を楽しむためのセミナー 2015～ Oncomine™を用いた研究とその展望」

(2) 日時、会場

開催日時：平成27年6月12日（金）／7月8日（水）18:30～20:00

講義会場：6月12日（金）センチュリータワー南4F 403 教室

7月8日（水）センチュリータワー北4F 405 教室

(3) 演者

講演 1

「P53 mutation predicted expression profile を用いた多癌種の予後予測」

順天堂大学 腫瘍内科学 山口 茂夫 先生

講演 2

「医学研究とバイオインフォマティクス・データベース」

順天堂大学 ゲノム・再生医療センター 茂櫛 薫 先生

(4) 参加者の概要

参加者数：6月12日（金）：24 名

7月8日（水）：55 名

(5) 主催

順天堂大学 先導的がん医療開発研究センター

■セミナー③ 概要

(1) 名称

特別セミナー

「Multidisciplinary Research Projects at the Department of Translational Molecular Pathology of MD Anderson Cancer Center」

(2) 日時、会場

開催日時：平成27年8月11日（火）10:30～11:30

講義会場：センチュリータワー北3F 306 教室

(3) 演者

藤本 淳也 先生

Assistant Professor, Department of Translational Molecular Pathology, Division of Pathology/
Laboratory Medicine, The University of Texas MD Anderson Cancer Center

(4) 参加者の概要

参加者数：18 名

(5) 主催、共催

主催：順天堂大学 乳腺・内分泌外科学教室

共催：先導的がん医療開発研究センター

■セミナー④ 概要

(1) 名称

「～研究を楽しむためのセミナー 2015～
“Targeting Cancer Bone Metastatic Niche by microRNA”」

(2) 日時、会場

開催日時：平成27年11月13日（金）8:00～9:00
講義会場：センチュリータワー南4F 403教室

(3) 演者

Yihong Wan, Ph.D.
Associate Professor, Dept of Pharmacology, UT Southwestern Med Center, TX

(4) 参加者の概要

参加者数：25名

(5) 主催

順天堂大学 乳腺・内分泌外科学教室、先導的がん医療開発研究センター

■セミナー⑤ 概要

(1) 名称

放射線治療学講座セミナー
「ホウ素中性子捕捉療法（BNCT）の現状と将来展望」

(2) 日時、会場

開催日時：平成28年2月9日（火）19:00～20:00
講義会場：センチュリータワー北3F 306教室

(3) 演者

京都大学原子炉実験所 粒子線腫瘍学研究センター 粒子線腫瘍学 鈴木 実 教授

(4) 主催、共催

主催：順天堂大学大学院 医学研究科 放射線治療学
共催：がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン

■セミナー⑥ 概要

(1) 名称

「～研究を楽しむためのセミナー 2015～
“Dynamic Role of the GTP Energy Metabolism in Cancers”」

(2) 日時、会場

開催日時：平成28年3月11日（金）18:00～19:30
講義会場：センチュリータワー北 3F 306 教室

(3) 演者

佐々木 敦朗 先生
Ph.D Assistant Professor
UC Cancer Institute: Dept. Internal Medicine, Div. Hematology & Oncology,
UC Neuroscience Institute: Brain Tumor Center
University of Cincinnati, College of Medicine

(4) 主催

順天堂大学 先導的がん医療開発研究センター

■資料

・ポスター（セミナー①）

**English
Only**
※同時通訳なし

講演会

日本における 胃がん及びその化学療法の 現状について

The current status of stomach cancer and its chemotherapy in Japan

司会：順天堂大学 内科学教室・消化器内科学講座 客員准教授 汪 先恩

① 4月2日(木)
10:00～11:30 センチュリータワー 北4F 405教室

講演1「胃がんの手術、標準的開腹手術と吻合」
 Standard method of gastrectomy and anastomosis in Japan
 順天堂大学 食道・胃外科 准教授 岩沼 佳見

講演2「胃がんの化学療法について」
 順天堂大学 腫瘍内科 教授 加藤 俊介

② 4月16日(木)
10:00～11:30 10号館 1F 105教室

講演1「日本における早期胃がん内視鏡治療の現状について」
 順天堂大学 消化器内科 准教授 松本 健史

講演2「胃がんの化学療法について」 ※ 4月2日(木)と同内容です
 順天堂大学 腫瘍内科 教授 加藤 俊介

主催：順天堂大学がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン
 共催：順天堂大学国際交流センター(JUIC)
 〈問い合わせ先〉がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン事務局
 Tel: 03-5802-1710 (3756) Mail: ganpro@juntendo.ac.jp

■資料

- ・ポスター（セミナー②）

文部科学省 平成24年度「がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン」選定事業
～ICTと人で繋ぐがん医療維新プラン～

～研究を楽しむためのセミナー 2015～

Oncomine™を用いた研究とその展望

2015年6月12日(金) & 7月8日(水)

18:30～20:00

場所；6月12日(金) センター南 4F 403 教室
7月8日(水) センター北 4F 405 教室

DNAマイクロアレイや次世代シーケンサの実用化により、がんゲノムを取り巻く包括的な研究手法は革新的な進歩を遂げ、莫大なデータが現在進行形で蓄積されています。そこで、先導的がん医療開発研究センターでは、がんゲノム研究の強力なウェブアプリケーションであるOncomine™ Research Premium Editionの紹介に引き続き、そのウェブアプリケーション利用した研究を実際とそのデータの処理や臨床への活用のためのヒントを得ることのできるセミナーを企画いたしました。

Oncomine™ Research Premium Editionを活用したトランスレーショナルリサーチ実際と現状、今後の展望を知ることのできるチャンスです。多数のご来聴お待ちしております。

講演.1

山口 茂夫 先生

順天堂大学 腫瘍内科学

「P53 mutation predicted expression profile を用いた
多癌種の予後予測」

講演.2

茂柳 薫 先生

順天堂大学 ゲノム・再生医療センター

「医学研究とバイオインフォマティクス・データベース」

マイクロアレイによる疾患解析の概要
次世代シーケンシングによるゲノムとRNAの解析の概要
膨大な結果の解析と解釈における問題点
代表的なデータベース(公開データや分子機能DB)や解析ソフトウェア
実例

＜主催＞

がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン
先導的がん医療開発研究センター

03-6801-5736 (PHS: 72558、担当：今井) □

■資料

・ポスター（セミナー③）

順天堂大学・特別セミナー

**Multidisciplinary Research Projects
at the Department of Translational
Molecular Pathology of
MD Anderson Cancer Center**

2015年8月11日(火)
10:30 ~ 11:30

藤本 淳也 先生

Assistant Professor, Department of Translational Molecular
Pathology, Division of Pathology/Laboratory Medicine,
The University of Texas MD Anderson Cancer Center

会場：センチュリータワー 北3F 306教室

藤本先生の所属するテキサス大学MDアンダーソンがんセンターのThoracic Molecular Pathology Laboratory (TMPL)はDivision of Pathology, Department of Translational Molecular Pathologyに所属し、臨床科(臨床病理、腫瘍内科、胸部外科、呼吸器科、放射線科、疫学科)と基礎講座部門(統計部門(Bioinformatics, Biostatistics)、実験治療学、遺伝学、獣医学、分子生物、システム生物学)を有機的に結びつける役割を担っています。また、Thoracic Tissue Bankも同時に臨床病理科とともに運営し、採取されたすべての血液、細胞、組織標本を保存、管理、配分する責任を負っています。

本セミナーでは、藤本先生が継続的に取り組んでおられるThoracic / Head & Neck Medical Oncologyの立場での研究の成果、ティッシュバンクの運営とその成果、最近始めたプロジェクトのデータなども併せてご紹介頂く予定です。アメリカ合衆国全体で行われているnational studyにどのように関わっているかもご紹介頂けるということです。

＜主催＞

乳腺・内分泌外科学教室
(連絡先：入村 達郎 客員教授)

＜共催＞

がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン
先導的がん医療開発研究センター

Mail : t-irimura@juntendo.ac.jp
ganpro@juntendo.ac.jp

■資料

- ・ポスター（セミナー④）

文部科学省 平成24年度「がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン」選定事業
～ICTと人で繋ぐがん医療維新プラン～

～研究を楽しむためのセミナー 2015～

"Targeting Cancer Bone Metastatic Niche by microRNA"

Yihong Wan, Ph.D.
Associate Professor, Dept of Pharmacology,
UT Southwestern Med Center, TX

2015年11月13日(金)
8: 00 ~ 9:00

場所 ; センチュリータワー 南 4 F 403 教室

テキサス大学 Southwestern Med Center (ダラス) にて活躍されているYihong Wan, Ph.D.をお招きしてセミナーを開催します。彼女の研究室では、骨粗鬆症、骨転移、脱毛症などに対する最善の治療法及び予防法の開発を目指し、マイクロRNAや核内受容体などの発生、代謝、がん転移におけるこれまで知られていなかった役割を見出しています。本セミナーでは乳がん骨転移に関する最新の研究成果（*Nature, 512:431-435）を中心に今後の展望についてお話しいただく予定です。多数の御来聴をお待ち致しております。

*Krzyszinski JY, Wei W, Huynh HD, Jin Z, Wang X, Chang TC, Xie XJ, He L, Mangala LS, Lopez-Berestein G, Sood AK, Mendell JT and Wan Y (2014) miR-34a Blocks Osteoporosis and Bone Metastasis by Inhibiting Osteoclastogenesis and Tgfr2. **Nature**, 512:431-435, UTSW News & Research Highlight in Nature Reviews Rheumatology

<Her Lab HP; <http://www4.utsouthwestern.edu/wanlab/index.htm>>

<主催>
乳腺・内分泌外科学教室 先導的がん医療開発研究センター
03-5002-1222 (内線; 3422、担当 ; 入村) 03-6601-5736 (PHS; 72558、担当 ; 今井)

<共催>
がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン

■資料

・ポスター（セミナー⑤）

放射線治療学講座 セミナー

「ホウ素中性子捕捉療法 (BNCT)の現状と将来展望」

講 師：鈴木 実

京都大学原子炉実験所 粒子線腫瘍学研究センター
粒子線腫瘍学 教授

日 時：2016年2月9日（火）
19:00～20:00

会 場：本郷・お茶の水キャンパス
センチュリータワー 北3階306教室
（エレベーターDで3階までお越し下さい）

* 申し込みは不要です。当日は直接会場へお越し下さい。

主催：順天堂大学大学院医学研究科放射線治療学
共催：がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン

■資料

- ・ポスター（セミナー⑥）

文部科学省 平成24年度「がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン」選定事業
～ICTと人で繋ぐがん医療維新プラン～

～研究を楽しむためのセミナー 2015～

“ Dynamic Role of the GTP Energy Metabolism in Cancers ”

佐々木敦朗 先生
Atsuo T. Sasaki, Ph.D.
Assistant Professor, University of Cincinnati College of Medicine

2016年3月11日(金)
18:00 ～ 19:30
場所 ; センチュリータワー 北3F 306 教室

Rapid growing cells like tumor cells need a vast amount of energy to match their high metabolic demand. Guanine triphosphate (GTP) is one of major cellular metabolites and served as a building block for RNA and DNA as well as an energy source to drive cellular activities such as intracellular trafficking, the cell migration and translation. However, how cancer cells regulate GTP energy levels to adapt for their high demand remain largely unknown yet. In addition, how cells detect GTP levels remains unknown. In this seminar, I will introduce our recent findings that uncover dramatic change of GTP metabolism in cancer cells and a GTP sensing kinase that regulate metabolism for tumorigenesis.

< Lab HP; <http://thesasakiab.org/> >

<主催>
がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン 教務課(大学院担当内) がんプロ事務局 (ex: 3756)
先導的がん医療開発研究センター 03-6801-5736 (PHS; 72558 担当: 今井)

4-4 順天堂大学講演会「がん教育を進めるにあたって」

■概要

(1) 名称

がん教育講演会「がん教育を進めるにあたって」

(2) 日時、会場

開催日時：平成28年10月21日（水）18:00～20:00

講義会場：センチュリータワー南10F

(3) 演者

講演1

「がんの基礎知識とがん教育の現状」

順天堂大学大学院医学研究科 臨床腫瘍学 加藤 俊介 教授

講演2

「今後のがん教育の在り方」

順天堂大学大学院医学研究科 分子病理病態学 樋野 興夫 教授

(4) 参加者の概要

参加者数：120名

(5) 主催

順天堂大学 先導的がん医療開発研究センター

■資料

・ポスター

平成24年度文部科学省がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン採択事業

がん教育を進めるにあたって

順天堂大学大学院では、文部科学省の「がんプロフェッショナル養成プラン（H19～H23）」及び「がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン（H24～）」により、がん研究者・医療人養成のための取組みを実施しています。

これらの実績を生かし、学校教育全体の中で「がん教育」を推進することにより、がんに対する正しい理解とがん患者に対する正しい認識及び命の大切さに対する理解を深めるため、また今後のがん教育の在り方について検討すべく、講演会を開催いたします。

小学校・中学校・高等学校の教職員・保護者及び教育関係者をはじめ、がん教育に関心のある方々のご参加をお待ちしています。



日時

10月21日(水) 18時～20時

会場

**順天堂大学 本郷・お茶の水キャンパス
センチュリータワー南10階**

申し込み

裏面の申込用紙へ必要事項を記載し、
FAXまたはEメールにてお申込みください

**参加費
無料**

1 開会挨拶

順天堂大学大学院医学研究科 **新井 一** 研究科長

2 基調講演

講演 1

順天堂大学大学院医学研究科 臨床腫瘍学

加藤 俊介 教授

「がんの基礎知識とがん教育の現状」

講演 2

順天堂大学大学院医学研究科 分子病理病態学

樋野 興夫 教授

「今後のがん教育の在り方」

3 Open Discussion

4 閉会挨拶

順天堂大学大学院医学研究科 呼吸器内科学 **高橋 和久** 教授



主催 順天堂大学がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン 先導的がん医療開発研究センター
<http://ganpro-ict-plan.jp/index.html>

・ポスター

「がん教育」に関する講演会 参加申込書

日時 10月21日(水) 18:00~20:00

会場 順天堂大学 本郷・お茶の水キャンパス
センチュリータワー南10階

お申込み方法

参加ご希望の方は、**10月13日(火)**までに下記内容をご記入いただき、**FAX**または**E-mail**にてお申し込みください。定員になり次第締め切りとさせていただきます。

■ FAXによる申込み

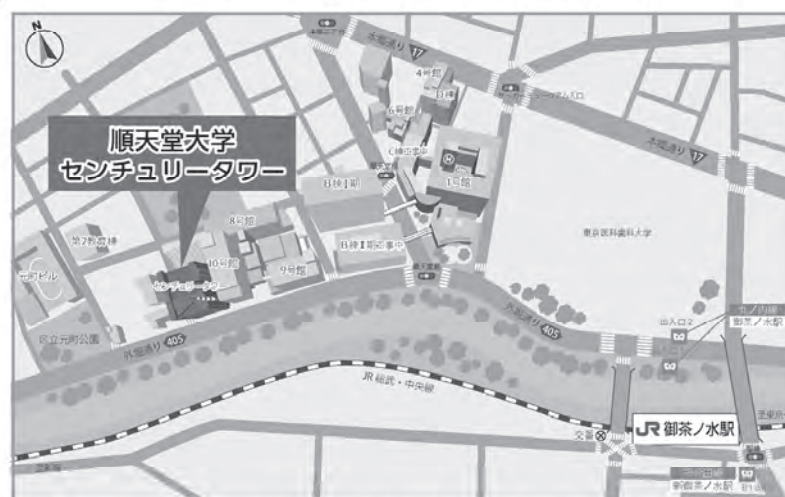
本申込書に必要事項をご記入の上、**FAX:03-3813-3622**にお送りください。

■ E-mailによる申込み

必要事項をご記入の上、**E-mail:ganpro@juntendo.ac.jp**にお送りください。

参加登録をご希望の方は、下記ご記入のうえ送信してください。

フリガナ	
お名前	
ご所属先	
メールアドレス	@



- JR「御茶ノ水」駅下車(御茶ノ水口) 徒歩約5分。
- メトロ(丸ノ内線)「御茶ノ水」駅下車 徒歩約5分。(千代田線)「新御茶ノ水」駅下車 徒歩約7分。
- バス(東京駅北口ー荒川土手)順天堂前下車。(駒込駅南口ー御茶ノ水駅)順天堂前下車。

お問合せ
申し込み

順天堂大学 がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン事務局
〒113-8421 東京都文京区本郷2-1-1 本郷・お茶の水キャンパス教務課(大学院担当)内
TEL:03-5802-1710 FAX:03-3813-3622 E-mail:ganpro@juntendo.ac.jp

4-5 順天堂大学 キャンサーボード

■概要

・ キャンサーボード①

肝胆膵外科症例：膵嚢胞性腫瘍の症例

開催日時：平成28年1月14日（水）

関連科：消化器内科、放射線科、病理診断科、糖尿病内科

・ キャンサーボード②

大腸肛門外科症例：上行結腸癌術後に骨盤内再発が疑われる症例

開催日時：平成28年1月21日（水）

関連科：放射線診断・放射線治療・腫瘍内科・緩和ケア・病理診断科

・ キャンサーボード③

形成外科症例：右鼠蹊部皮膚瘻の症例

開催日時：平成28年2月4日（水）

関連科：大腸肛門外科・泌尿器科・形成外科・整形外科・放射線科・腫瘍内科

・ キャンサーボード④

耳鼻科症例：進行中咽頭癌の症例

開催日時：平成28年2月18日（水）

関連科：放射線科（診断・治療）・腫瘍内科

・ キャンサーボード⑤

1. 小児科症例：胸壁原発ユーイング肉腫の症例

2. 皮膚科症例：悪性黒色腫の症例

開催日時：平成28年2月25日（木）

関連科：腫瘍内科、小児外科、整形外科、放射線科（診断）

・ キャンサーボード⑥

1. 総合診療科症例：腫瘍性低リン血症性骨軟化症の症例

関連科：腫瘍内科、整形外科、放射線科、糖尿病・内分泌内科

2. 大腸肛門外科症例：潰瘍性大腸炎で全結腸切除術後の残存直腸に colitic cancer を発症した症例

関連科：放射線科、病理診断科、婦人科、小児外科

開催日時：平成28年3月10日（木）

以降、平成28年3月17日（木）、平成28年3月24日（木）開催予定

4-6 島根大学・鳥取大学 山陰がん認定医療スタッフ育成コース（インテンシブ）夏季セミナー

■概要

(1) 名称

山陰がん認定医療スタッフ育成コース（インテンシブ）夏季セミナー

(2) 日時、場所、講師

開催日時：平成27年9月13日（日）8:30～16:30

開催場所：鳥取大学医学部附属病院がんセンターカンサーボード
島根大学医学部附属病院みらい棟4階ギャラクシー

サテライト会場（TV会議システムで受講）：

鳥取市立病院、鳥取県立厚生病院、鳥取県立中央病院、鳥取赤十字病院、鳥取生協病院、
島根県済生会江津総合病院、町立奥出雲病院、出雲市立総合医療センター、浜田医療センター

講師：外部講師、鳥取大学医学部教職員、島根大学医学部教職員

(3) 参加者の概要

参加者数：43名

■資料

・ポスター

文部科学省大学改革推進事業がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン
＜ICTと人で繋ぐがん医療維新プラン＞

山陰がん認定医療スタッフ育成コース (インテンシブ) 夏季セミナー

日時:平成27年9月13日(日) 8:30～16:30

幅広いがん領域の最新治療法などを学べる集中講義を行います。
鳥取大学、島根大学よりTV会議配信いたしますので、各所属施設で受講可能です。

(講義会場) 鳥取大学医学部附属病院がんセンターキャンサーボード
島根大学医学部附属病院みらい棟4階ギャラクシー

(サテライト予定会場) TV会議システムで受講

鳥取市立病院、鳥取県立厚生病院、鳥取県立中央病院、鳥取赤十字病院、
鳥取生協病院

島根県済生会江津総合病院、町立奥出雲病院、出雲市立総合医療センター、
浜田医療センター

(講師) 外部講師、鳥取大学医学部教職員、島根大学医学部教職員
※詳細は確定次第連絡いたします。

(講義内容) 1講義30分前後で幅広い領域のがん医療について学ぶことができます。

(履修) 終日出席で6講義出席相当(半日は3講義相当)とします。

(昼食) 各自ご準備下さい。

(参加費) 無料

(教材費) 無料 テキストを配布いたします。

(お申込) チラシ裏面の必要事項をご記入の上、FAXにてお申込下さい。
メールの場合は申込書に入力の上添付でお送りください。

鳥取県内の方→鳥取大学FAX:0859-38-7109へ

(島根県内の方→島根大学FAX:0853-20-2580へ



(申込締切) 平成27年8月21日(金) されたもの

* 鳥取大学医学部学務課は8月7日(金)～11日(火)まで
移転中ですので、この日を除いてお申込願います。

主催: がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン＜ICTと人で繋ぐがん医療維新プラン＞
山陰がん認定医療スタッフ育成コース(インテンシブ) 鳥取大学、島根大学

後援: 都道府県がん診療連携拠点病院 鳥取大学医学部附属病院/島根大学医学部附属病院
島根呼吸・感染・がん研究会

問合せ先

鳥取大学医学部学務課教務係 がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン担当

〒683-8503 鳥取県米子市西町86番地 電話:0859-38-7098 FAX:0859-38-7109

メール: me-kyoumu@adm.tottori-u.ac.jp

島根大学医学部 がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン事務局

〒693-8501 出雲市塩冶町89-1 電話:0853-20-2576 FAX:0853-20-2580

メール: ganpro@med.shimane-u.ac.jp

※土日祝日の連絡はメールでお知らせ願います。

開催報告
(鳥取・島根)

山陰がん認定医療スタッフ育成コース (インテンシブ) 夏季セミナー

開催日時：平成27年9月13日（日）8：30～16：30

講義会場：島根大学医学部附属病院みらい棟4階ギャラクシー

鳥取大学医学部附属病院がんセンター キャンサーボード

鳥取大学・島根大学を合わせて43名が参加いたしました。

◇島根大学会場の様子（講義のTV会議配信）



講師：猪俣泰典先生

講師：中谷俊彦先生

午前中は本学のシステムの不具合により、呼吸器内科会議室より本学担当の講義のTV会議配信を行いました。



講師：磯部威先生



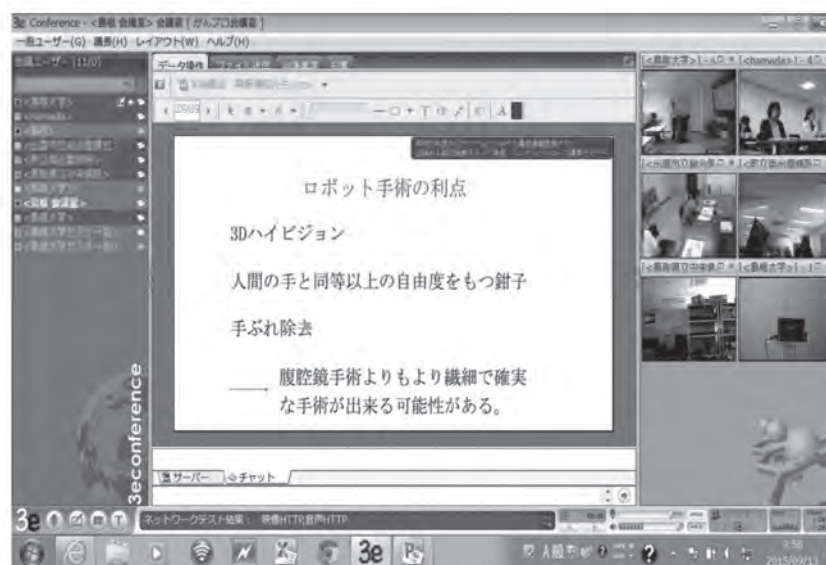
講師：沖本民生先生



講師：町立奥出雲病院 鈴木賢二先生

【接続拠点】

鳥取大学医学部附属病院
鳥取県立中央病院
町立奥出雲病院
出雲市立総合医療センター
浜田医療センター
島根大学医学部附属病院
(その他、収録用接続)



◇鳥取大学会場の様子（講義のTV会議配信）



講師：齋藤博昭先生



講師：上田康仁先生



講師：大山賢治先生



講師：辻谷俊一先生



講師：小谷昌広先生



講師：大石徹郎先生



講師：武中篤先生



講師：村田陽子先生



講師：上田恵巳先生



講師：大谷豊司先生



講師：ひだまりクリニック
福田幹久先生



会場の様子

平成27年度がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン

山陰がん認定医療スタッフ育成 インテンシブコース夏季セミナー

日程表

開始時刻	時間(分)	テーマ	演者
8:15	15	受付開始	
8:30	10	がんプロフェッショナル養成基盤推進プランと山陰がん医療の現状と対策	鳥根大学医学部内科科学講座 呼吸器・臨床腫瘍学 教授 碓部 威
8:40	20	①画像診断(オンコロジカルイメージング)	鳥根大学医学部放射線医学講座 放射線腫瘍学 教授 猪俣 泰典
9:00	30	②緩和ケア	鳥根大学医学部緩和ケア講座 教授 中谷 俊彦
9:30	20	③手術療法	鳥取大学医学部消化器外科 准教授 斎藤 博昭
9:50	20	④放射線療法	鳥根大学医学部放射線医学講座 放射線腫瘍学 教授 猪俣 泰典
	10	休憩	
10:20	30	⑤分子標的治療	鳥取大学医学部附属病院がんセンター 助教 上田 康仁
10:50	20	⑥化学療法の副作用対策	鳥取大学医学部附属病院がんセンター 助教 大山 賢治
11:10	20	⑦免疫療法	鳥取大学医学部附属病院がんセンター 教授 辻谷 俊一
11:30	30	⑧がん救急	鳥根大学医学部内科科学講座 呼吸器・臨床腫瘍学 助教 沖本 民生
	60	昼食	
13:00	20	①肺がん	鳥取大学医学部呼吸器内科 准教授 井岸 正
13:20	20	②消化器がん	町立奥出雲病院 副院長 鈴木 賢二
13:40	20	③婦人科がん	鳥取大学医学部女性診療科 准教授 大石 徹郎
14:00	20	④前立腺がん	鳥取大学医学部泌尿器科 教授 武中 篤
14:20	20	⑤乳がん	鳥取大学乳腺内分泌外科 教授 村田 陽子
	10	休憩	
14:50	30	地域がん医療における看護師の役割	鳥取大学医学部附属病院がんセンター 看護師長 上田 恵巳
15:20	20	地域がん医療における薬剤師の役割	鳥取大学医学部附属病院薬剤部 麻薬管理責任者 大谷 聖司
15:40	30	地域がん医療における診療所の役割	ひだまりクリニック院長 福田 幹久
16:10	10	閉会のあいさつ	鳥取大学医学部附属病院がんセンター 教授 辻谷 俊一

4-7 島根大学 第6回島大総合医セミナー

■概要

(1) 名称

第6回島大総合医セミナー
「ーがん診療におけるかかりつけ医、総合医、専門医の融合ー」

(2) 日時、会場

開催日時：(第1部) 平成27年4月24日(金) 19:00～21:00
(第2部) 平成27年4月25日(土) 9:00～12:00
講義会場：島根大学医学部附属病院 みらい棟4階ギャラクシー

(3) 演者

【第一部】

講演1：がんのリスクファクター
島根大学医学部内科学講座 呼吸器・臨床腫瘍学 磯部 威 教授
講演2：自覚症状から想起されるがんの病態
飯塚病院 総合診療科 診療部長 清田 雅智 先生
講演3：がん治療の最前線 ー米国腫瘍内科専門医が語るー
サウスカロライナ医科大学 腫瘍内科 白井 敬祐 准教授

【第二部】

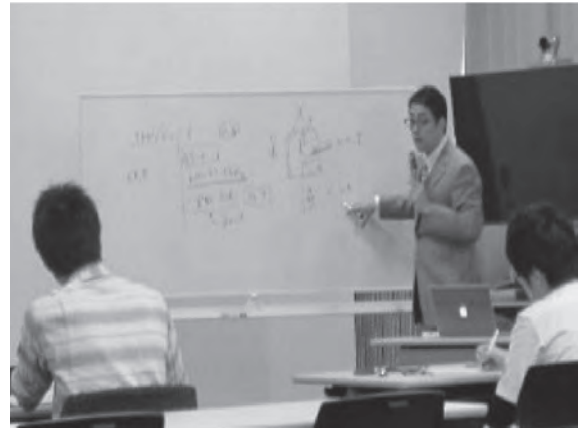
特別講演：「米国におけるがん専門医トレーニング」
サウスカロライナ医科大学 腫瘍内科 白井 敬祐 准教授

(4) 参加者の概要

参加者数：51名

・会場の様子

症例検討では、米国形式の症例検討が行われ、様々な角度から症例について考察しました。活発な意見交換、質疑応答が行われ大変すばらしい会となりました。



4-8 島根大学 肺癌国際シンポジウム ～地域から首都圏、そしてアジアまで俯瞰する肺がん研究～

■概要

(1) 名称

「肺癌国際シンポジウム ～地域から首都圏、そしてアジアまで俯瞰する肺がん研究～」

(2) 日時、会場

開催日時：平成28年1月14日（木）17:00～19:35

講義会場：島根大学医学部附属病院みらい棟4階ギャラクシー

(3) 演者

- ・「岩手医科大学における肺がんの橋渡し研究と臨床試験」
岩手医科大学 呼吸器・アレルギー・膠原病内科 森川 直人 助教
- ・「第3世代EGFR-TKI承認に向けてー現状と課題ー」
順天堂大学医学部 呼吸器内科 高 遼 先生
- ・「遺伝子診断を制する者は肺癌を制す」
国立研究開発法人 国立がん研究センター
先端医療開発センター トランスレーショナルリサーチ分野
任意研修医 阪本 智宏 先生
- ・「がん化学療法に伴う好中球減少の予測因子としてのNAMPT活性およびSIRT1遺伝子発現に関する検討」
島根大学医学部附属病院 呼吸器・化学療法内科 津端 由佳里 助教
- ・「タイにおける肺がん治療と研究の現状」
タイ ラマティボディ病院 医学部内科学臨床腫瘍学講座
Thanyanan Reungwetwattana 先生

(4) 参加者の概要

参加者数：69名

(5) 主催

島根大学

■資料

・ポスター

平成24年度文部科学省採択事業 がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン
 <ICTと人で繋ぐがん医療維新プラン>
 ～肺癌国際シンポジウム～

**地域から首都圏、そしてアジアまで
 俯瞰する肺がん研究**
 Update for lung cancer treatment

2015-2016
 最新版

日時 平成28年1月14日(木)17:00～19:35
 会場 島根大学医学部附属病院みらい棟4階ギャラクシー

PROGRAM

- 1 岩手医科大学における肺がんの橋渡し研究と臨床試験**
 岩手医科大学医学部内科学講座呼吸器・アレルギー・膠原病分野 助教 森川直人
- 2 第3世代EGFR-TKI承認に向けて -現状と課題-**
 順天堂大学医学部 呼吸器内科 高 遼
- 3 遺伝子診断を制する者は肺癌を制す。**
 国立研究開発法人 国立がん研究センター
 先端医療開発センター トランスレーショナルリサーチ分野 任意研修医 阪本智宏
- 4 がん化学療法に伴う好中球減少の予測因子としてのNAMPT活性
 およびSIRT1遺伝子発現に関する検討**
 島根大学医学部附属病院 呼吸器・化学療法内科 助教 津端 由佳里
- 5 タイにおける肺がん治療と研究の現状**
 タイ王立マヒドン大学ラマティボディ病院 医学部 内科学 臨床腫瘍学講座
 Thanyanan Reungwetwattana
- 6 総合討論**
 -今後の共同臨床基礎肺がん研究について-

シンポジウムはICT接続可能です。

【接続予定】マヒドン大学(タイ)、順天堂大学、立教大学、東京理科大学、岩手医科大学

主催：がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン<ICTと人で繋ぐがん医療維新プラン>
 (お問合せ)
 島根大学医学部がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン事務室
 電話：0853-20-2576 FAX：0853-20-2580 E-mail:ganpro@med.shimane-u.ac.jp

Promotion activity for training cancer professionals under the sponsorship of the MEXT, Japan

2015-2016
International
Symposium

A study of lung cancer covering local areas, the Tokyo metropolitan area, and Asia Update for lung cancer treatment

January 14, 2016 (Thursday) 15:00~17:35(Thai) 17:00~19:35(Japan)

Shimane university school of medicine Building Mirai 4F Galaxy

Lecture

PROGRAM

1. Translational research and clinical trials of lung cancer in Iwate Medical University.

Naoto Morikawa M.D., Ph.D.

Division of Pulmonary Medicine, Allergy, and Rheumatology, Department of Internal Medicine,
Iwate Medical University School of Medicine.

2. The current status and issues before approval of 3rd generation EGFR TKIs.

Ryo Ko. M.D.

Department of Respiratory Medicine Juntendo University Graduate School of Medicine

3. The player that controls genetic diagnosis, controls the lung cancer.

Tomohiro Sakamoto M.D., Ph.D.

Division of Translational Research, Exploratory Oncology Research & Clinical Trial Center,
National Cancer Center

**4. NAMPT activity before the cancer chemotherapy may become the predictive factor of
severe neutropenia**

Yukari Tsubata M.D., Ph.D.

Department of Internal Medicine Division of Medical Oncology & Respiratory Medicine,
Shimane University Faculty of Medicine

5. Current situation of lung cancer treatment and research in Thailand

Thanyanan Reungwetwattana M.D., M.Sc.

Division of Medical Oncology, Department of Internal Medicine, Faculty of Medicine,
Ramathibodi Hospital, Mahidol University, Thailand

Panel Discussion

About the future of the joint clinical basic lung cancer research

Mainly audience: pulmonologists, medical oncologists,
graduate students and the persons who are interested in lung cancer research and clinic.

Symposium:

This symposium will connect the following facilities using ICT.

Mahidol University, Iwate medical university, Shimane University,
Tokyo University of Science, Rikkyo University, Juntendo University School of medicine

Sponsors: Promotion activity for training cancer professionals under the sponsorship of the MEXT, Japan
Shimane University of medicine Mail: ganpro@med.shimane-u.ac.jp

4-9 島根大学・東京理科大学 トランスレーショナルリサーチセミナー

■概要

(1) 名称

トランスレーショナルリサーチセミナー

(2) 日時、会場

開催日時：平成28年1月18日（月）17:30～20:40

講義会場：島根大学医学部附属病院外来中央診療棟3階「だんだん」

(3) 演者

- ・「呼吸器・臨床腫瘍学 up-to-date」
島根大学医学部内科学講座 呼吸器・臨床腫瘍学 磯部 威 教授
- ・「肺癌の臨床・遺伝子検索の重要性とその方法」
島根大学医学部内科学講座 呼吸器・臨床腫瘍学 沖本 民生 助教
- ・「PI3K 阻害剤封入リポソームによる肺気腫改善効果」
東京理科大学 本村 知己 先生
- ・「活性型 Vitamin X 封入リポソームの有用性に関する研究」
東京理科大学 阿部 香織 先生
- ・「がん化学療法における好中球減少症の予測因子の同定」
東京理科大学 矢野 傑士 先生
- ・「デジタル PCR の紹介」
東京理科大学 矢野 傑士 先生、後藤 歩 先生

(4) 参加者の概要

参加者数：16 名

・会場の様子

がんプロ共同研究事業を行っている、東京理科大学 薬学部 助教 堀口道子先生と学生と島根大学医学部附属病院 呼吸器・化学療法内科医局員が参加し、研究についての発表を行いました。質疑応答が活発に行われ、今後に繋がる有意義な会となりました。



4-10 島根大学 大田市立川合小学校病院見学

■概要

(1) 名称

大田市立川合小学校病院見学

(2) 日時、会場

開催日時：平成28年2月15日（月）10:00～13:30

会 場：島根大学医学部附属病院

見学場所：緩和ケア病棟、外来化学療法室（薬剤調整室含む）、クリニカルスキルアップセンター

(3) 見学内容概略

1. 島根大学医学部附属病院 施設概要

☆ 病院の理念、目標、施設の紹介

2. 病院内探索

☆【医療従事者の紹介、業務内容について】医師、看護師、薬剤師など

(4) 参加者の概要

見学者：大田市立川合小学校 計18名

6年生児童12名、引率教員4名（吉田ゆりか 岸本留実 山田友香 矢田悦夫）

同行2名（大田市役所 田中由紀子 三浦政子）

対応者：島根大学医学部内科学講座 呼吸器・臨床腫瘍学 磯部 威 教授

島根大学医学部 緩和ケア講座 中谷 俊彦 教授

島根大学医学部附属病院 呼吸器・化学療法内科 津端 由佳里 助教

島根大学医学部附属病院 クリニカルスキルアップセンター長・講師 狩野 賢二先生

島根大学医学部附属病院 クリニカルスキルアップセンター インストラクター 大和田 芽衣子 先生

島根大学医学部附属病院 クリニカルスキルアップセンター インストラクター 佐藤 直 先生

島根大学医学部附属病院 特殊診療施設 外来化学療法室 妹尾 尚美 看護師

島根大学医学部附属病院 薬剤部 副薬剤部長 玉木 宏樹 先生

(5) 主催

島根大学

・スケジュール

時間	場所	内容
9:30	医学部本部棟玄関	バスの駐停車場所確認
バス到着後	玄関～さくらまで	誘導 本部棟玄関前→本部棟階段で2階→さくらへ
10:00-10:10	さくら	オリエンテーション (津端)担当者紹介、予定説明、風邪の問診、出席確認 (礒部)挨拶
10:10-10:15	さくらから緩和ケア病棟へ	誘導 さくら→C病棟職員EV→5階
10:15-10:35	緩和ケア病棟	緩和ケア病棟見学 (中谷)病室、・花壇 等
10:35-10:40	緩和ケア病棟から スキルアップセンターへ	誘導 C5病棟→C病棟職員EV→2Fさくら
10:45-12:00	クリニカル スキルアップセンター	クリニカルスキルアップセンター医療体験学習 ★3班(ABC)に分かれる (手洗・聴診・脈診)
12:10-12:55	さくら	ランチセミナー 礒部先生講演 昼食(各自弁当持参)
12:55-13:00	さくら～外来化学療法室	誘導 さくら→エスカレータ(又は階段)→3F外来化学療法室
13:00-13:20	外来化学療法室	外来化学療法室見学
13:20-13:25	外来化学療法室～さくら	誘導 3F外来化学療法室→エスカレータ(又は階段)→さくら
13:30	さくら	病院長挨拶 ・集合写真撮影、・アンケート配布
	さくら～バスまで	誘導 さくら→エスカレータ(又は階段)→病院玄関→本部棟玄関前
	本部棟玄関前	お見送り

平成28年2月15日 大田市立川合小学校 島根大学医学部附属病院見学
 (がん治療に関わる施設見学、医療体験)
 見学者：6年生12名、教員4名、大田市職員2名

オリエンテーション



緩和ケア病棟見学（緩和ケアのレクチャー、先輩からのメッセージ、病室・花壇見学）



外来化学療法室見学



ランチセミナー



医療体験実習（クリニカルスキルアップセンター：聴診、脈診、手洗い）



4-11 島根大学 江津市民公開講座 ～江津のがん医療のこれからを考えよう～

■概要

この市民公開講座は島根県内の一般の方を対象にがん治療の情報提供の場、そしてがんプロ事業紹介の場として平成25年度から開催しています。第3回目となる今回の市民公開講座でははじめに、山陰がん認定医療スタッフ育成コース（インテンシブ）修了証授与式を行いました。昨年度の済生会江津総合病院のインテンシブコース修了者5名のうち、2名の方に修了証を授与し、一般の方に地域の医療スタッフががんについて勉強されているというを紹介する場となりました。

(1) 名称

第3回江津市民公開講座 ～江津のがん医療のこれからを考えよう～

(2) 日時、会場

開催日時：平成28年2月28日（日）14:00～16:00

講義会場：江津市総合市民センターホール

(3) 演者

【第1部】

1. 「話題となっている「がん免疫療法」の真相」

島根大学医学部 内科学講座 呼吸器・臨床腫瘍学 教授 磯部 威 先生

2. 「体にやさしい放射線治療」

島根大学医学部 放射線医学講座 放射線腫瘍学 教授 猪俣 泰典 先生

3. 「緩和ケアについて～島根大学病院の取り組み～」

島根大学医学部 緩和ケア講座 教授 中谷 俊彦 先生

(4) 参加者の概要

一般の方の参加者数：109名

(5) 主催

がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン（島根大学）

■資料

・ポスター

第3回 江津市民公開講座

～江津のがん医療のこれからを考えよう～

日時：平成28年2月28日（日）

14：00～16：00

会場：江津総合市民センターホール



山陰がん認定医療スタッフ育成インテンシブコース
修了証授与式

第1部 講演会 14：10～

開会の辞：医療法人社団 森医院 理事長 森 真爾先生

座 長：済生会江津総合病院 副院長 竹林 正孝先生

1. 「話題となっている「がん免疫療法」の真相」
島根大学医学部内科学講座 呼吸器・臨床腫瘍学
教授 礒部 威先生
2. 「体にやさしい放射線治療」
島根大学医学部 放射線医学講座 放射線腫瘍学
教授 猪俣 泰典先生
3. 「緩和ケアについて～島根大学病院の取り組み～」
島根大学医学部 緩和ケア講座 教授 中谷 俊彦先生

第2部 質問コーナー 15：30～

事前アンケートをもとに質疑応答を行います。

司会：島根大学医学部内科学講座 呼吸器・臨床腫瘍学
教授 礒部 威先生



主 催：がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン
共催/後援：済生会江津総合病院/江津市・江津市医師会
お問 合 せ：がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン事務局
電 話：0853-20-2576（平日9：00～16：00）
F A X：0853-20-2580
E - m a i l：ganpro@med.shimane-u.ac.jp

・会場の様子

はじめに、山陰がん認定医療スタッフ育成コース（インテンシブ）修了証授与式を行いました。昨年度の済生会江津総合病院のインテンシブコース修了者5名のうち、2名の方に修了証を授与し、一般の方に地域の医療スタッフががんについて勉強されているということを紹介する場となりました。



4-12 島根大学 企画講座（セミナー等）

■概要

(1) 名称

第2回 島根呼吸器診療スキルアップセミナー

(2) 日時、会場

開催日時：平成27年11月15日（日）9:00～17:00

講義会場：島根大学医学部附属病院2階 クリニカルスキルアップセンター

(3) 主旨・目的

医学生を対象とし、呼吸器診療に必要な技術と知識を教育し、呼吸器診療の素晴らしさを体感してもらう。器
官挿管や動脈血液ガス分析、気管支鏡検査、胸腔穿刺といった手技を、座学だけでなくシミュレーターを用い
た実践的なセミナーを行います。

■概要

(1) 名称

Regenerative Medicine seminar 2015 『がん幹細胞研究の新展開』

(2) 日時、会場

開催日時：平成27年12月8日（火）18:00～19:30

講義会場：島根大学医学部附属病院 講義棟1階国際交流ラウンジ

(3) 演者

慶應義塾大学医学部先端医科学研究所遺伝子制御研究部門 佐谷 秀行 教授

(4) 参加者の概要

参加者数：28名

(5) 主催

島根大学

■概要

(1) 名称

メディカル オンコロジスト養成 気管支鏡ハンズオンセミナー

(2) 日時、会場

開催日時：平成27年12月18日（金）14:00～18:00

講義会場：（第一部）島根大学医学部附属病院 呼吸器・化学療法内科

（第二部）島根大学医学部附属病院 外来中央診療棟3階だんだん

(3) 演者

（第一部進行） 島根大学医学部附属病院 呼吸器・化学療法内科 星野 鉄兵 助教、濱口 俊一 助教

（第二部）司会：島根大学医学部附属病院 呼吸器・臨床腫瘍学 沖本 民生 助教

講演：「肺がん組織を確実に採取するために！ -re-biopsyを指向した気管支鏡戦略」

聖マリアンナ医科大学病院 栗本 典昭 教授

(4) 参加者の概要

参加者数：6名

(5) 主催

島根大学

■概要

(1) 名称

神在りの囀 らんメディカルカフェ

(2) 開催日

平成27年 4月26日（日）
 平成27年 6月21日（日）
 平成27年 7月26日（日）
 平成27年 9月27日（日）
 平成27年 11月15日（日）
 平成27年 12月27日（日）

(3) 趣旨・目的

がん患者様、ご家族様とお茶を飲みながらなんでもお話しいただく場として開催。
 主治医ではないがん治療の専門医が、カフェに居て、がん患者や家族が抱えている悩みについて話を聴くことで、「隙間」を埋めていく。

(4) 主催

島根大学

■概要

(1) 名称

緩和ケア委員会（TVカンファレンス）

(2) 開催日

平成27年 4月27日（月）
 平成27年 6月22日（月）
 平成27年 7月27日（月）
 平成27年 8月24日（月）
 平成27年 9月28日（月）
 平成27年 10月26日（月）
 平成28年 2月22日（月）

(3) 趣旨・目的

島根大学医学部と連携している済生会江津総合病院をICTで繋ぎ月1回カンファレンスを行うことで、地域診療の均てん化を図る。

(4) 主催

島根大学

■概要

(1) 名称

患者さんと家族のためのセミナー

(2) 開催日

平成27年 9月24日（木）

平成27年 10月28日（水）

平成27年 11月19日（木）

平成28年 2月18日（木）

(3) 趣旨・目的

平成27年度は肺がんの領域について、島根大学病院外来患者・入院患者様、そのご家族様を対象にセミナーを開催。

(4) 主催

島根大学

4-13 鳥取大学 市民公開講座 「がん治療の進歩は何を変えるのか」

■概要

(1) 名称

市民公開講座 「がん治療の進歩は何を変えるのか」

(2) 日時、会場

開催日時：平成28年1月24日（日）13:00～16:10

開催会場：米子コンベンションセンター 国際会議室

(3) 内容

講演1：がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン

島根大学医学部附属病院 呼吸器・化学療法内科 磯部 威 先生

講演2：手術療法

鳥取大学医学部附属病院 第一外科診療科群消化器外科 齊藤 博昭 先生

講演3：抗がん剤治療

順天堂大学医学部附属病院 順天堂医院 腫瘍内科 加藤 俊介 教授

講演4：緩和ケア

岩手医科大学附属病院 緩和ケア科 木村 祐輔 先生

講演5：放射線治療

鳥取大学医学部附属病院 放射線診療科群放射線治療科 内田 伸恵 先生

(4) 参加者の概要

参加者数：46名

■資料

・ポスター

鳥取大学医学部附属病院がんセンター市民公開講座

がん治療の進歩は 何を変えるのか

日時
2016
1/24日 参加費
無料
13:00~16:10 (受付 12:30~)

場所
米子コンベンションセンター
国際会議室

お問合せ先
鳥取大学医学部附属病院がんセンター事務局
〒683-8504 鳥取県米子市西町36-1
TEL/0859-38-6292
FAX/0859-38-6293
E-mail/gan-center@med.tottori-u.ac.jp

主催/鳥取大学医学部附属病院
共催/鳥取大学医学部附属病院
がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン
鳥取県がん診療連携協議会

司
開
会
接
拶

鳥取大学医学部附属病院がんセンター 辻谷 俊一

講演
1

がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン(13:00-13:20)

鳥根大学医学部附属病院 呼吸器・化学療法内科 磯部 威

講演
2

手術療法(13:20-14:00)

鳥取大学医学部附属病院 第一外科診療科群消化器外科 齊藤 博昭

講演
3

抗がん剤治療(14:00-14:40)

順天堂大学医学部附属病院 順天堂医院 腫瘍内科 加藤 俊介

休憩

(14:40-14:50)

講演
4

緩和ケア(14:50-15:30)

岩手医科大学附属病院 緩和ケア科 木村 祐輔

講演
5

放射線治療(15:30-16:10)

鳥取大学医学部附属病院 放射線診療科群放射線治療科 内田 伸恵

閉
会
接
拶

鳥取大学医学部附属病院がんセンター 辻谷 俊一



4-14 鳥取大学 企画講座（セミナー等）

■概要

(1) 名称

中海緩和ケア研究会

(2) 会場

鳥取大学医学部臨床講義室

(3) 日時、内容

第1回：平成27年7月26日（日）13:00～16:00

一般演題「中海緩和ケア研究会一般演題（1）」

一般演題「中海緩和ケア研究会一般演題（2）」

基調講演「今日のがん医療の展開と緩和ケアの役割」

鳥取大学医学部附属病院がんセンター 辻谷 俊一 先生

特別講演「切れ目のないがん治療のためのアドバンスケアプランニングについて考えましょう」

安来第一病院院長 杉原 勉 先生

第2回：平成28年1月31日（日）12:00～16:00

ランチョンセミナー「がん疼痛治療科の最前線～アセトアミノフェン静注薬の可能性～」

公益財団法人 がん研究会有明病院 がん疼痛治療科 部長 服部 政治 先生

一般演題 講演1「鳥取県東部地域の緩和ケア事情～私がめざしたホスピスへの道～」

鳥取生協病院 病院部長・緩和ケア病棟専門医 竹内 勅 先生

講演2「島根大学の緩和ケア～医学教育と地域連携～」

島根大学医学部緩和ケア講座教授 中谷 俊彦 先生

■概要

(1) 名称

鳥取大学医学部附属病院がんセミナーICT

(2) 会場

鳥取大学医学部附属病院 第2中央診療棟2階 キャンサーボード

ICT接続先：鳥取市立病院、鳥取県立中央病院、鳥取県立厚生病院、米子医療センター、鳥取赤十字病院、鳥取生協病院、野鳥病院、山陰労災病院、博愛病院

(3) 日時、内容

第1回：平成27年5月7日（木）18:30～20:00 参加者数：46名

第1部「卵巣がんに対する標準治療アップデート」

鳥取大学医学部附属病院 女性診療科 板持 広明 先生

第2部「皮膚がんの診断と治療」

鳥取大学医学部附属病院 皮膚科 吉田 雄一 先生

第3部「がん疼痛緩和における神経ブロックの適応」

鳥取大学医学部附属病院 麻酔科 大槻 明広 先生

第2回：平成27年6月4日（木）18:15～20:00 参加者数：58名

第1部「食道癌治療」

鳥取大学医学部附属病院 第一外科 福本 陽二 先生

第2部「腎細胞癌の診断と治療（最新の治療も含めて）」

鳥取大学医学部附属病院 泌尿器科 瀬島 健裕 先生

第3部「がん診療における精神症状～抑うつや不安・せん妄のマネジメント～」

鳥取大学医学部附属病院 精神科 三浦 明彦 先生

第3回：平成27年7月2日（木）18:15～20:00 参加者数：35名

第1部「非小細胞肺癌の内科的治療」

鳥取大学医学部附属病院 第三内科 木下 直樹 先生

第2部「転移性脳腫瘍症例における化学療法役割」

鳥取大学医学部附属病院 脳神経外科 神部 敦司 先生

第3部「有害事象～レジメンによる管理・予防が重要な有害事象」

鳥取大学医学部附属病院 薬剤部 長谷川 一将 先生

第4回：平成27年8月6日（木）18:15～20:00 参加者数：53名

講演1「肝がんの予防と治療」 鳥取大学医学部附属病院 第二内科 大山 賢治 先生

講演2「転移性骨腫瘍の診断と治療-多科・多職種連携の必要性-」

鳥取大学医学部附属病院 整形外科 山家 健作 先生

講演3「『口腔ケア』で支えるがん化学療法」

鳥取大学医学部附属病院 歯科口腔外科 田部 有子 先生

第5回：平成27年9月3日（木）18:15～20:00 参加者数：53名

講演1「前立腺がんの診断と治療」

鳥取大学医学部附属病院 泌尿器科 森實 修一 先生

講演2「悪性リンパ腫診断の注意点」

鳥取大学医学部附属病院 血液内科 元倉 徹 先生

講演3「がんのリハビリテーション」

鳥取大学医学部附属病院 リハビリテーション部 山川 隆 先生

第6回：平成27年10月1日（木）18:15～20:00 参加者数：63名

講演1「ガイドラインに基づいた胃癌治療」

鳥取大学医学部附属病院 第一外科 齊藤 博昭 先生

講演2「小細胞肺がんの話題」 鳥取大学医学部附属病院 化学療法センター 上田 康仁 先生

講演3「基本的な放射線治療について」

鳥取大学医学部附属病院 放射線治療科 田原 誉敏 先生

第7回：平成27年11月5日（木）18:15～20:00 参加者数：63名

講演1「白血病治療の進歩」 鳥取大学医学部附属病院 血液内科 元倉 徹 先生

講演2「がん化学療法と食事」 鳥取大学医学部附属病院 栄養管理室 成瀬 隆弘 先生

講演3「乳がん診療のトピックス」

鳥取大学医学部附属病院 乳腺内分泌外科 村田 陽子 先生

第8回：平成27年12月3日（木）18:15～20:00 参加者数：63名

講演1「子宮頸がんと体がんの標準治療」

鳥取大学医学部附属病院 女性診療科 大石 徹郎 先生

講演2「頭頸部癌の診断と治療」

鳥取大学医学部附属病院 耳鼻咽喉科 藤原 和典 先生

講演3「新しい腹水治用・KM-CART（腹水ろ過濃縮再静注法）」

鳥取大学医学部附属病院 緩和ケアセンター 吉本 美和 先生

第9回：平成28年1月7日（木）18:15～20:00 参加者数：57名

講演1「膀胱診療のエビデンス」

鳥取大学医学部附属病院 第二内科 松本 和也 先生

講演2「口腔がんの診断と治療」

鳥取大学医学部附属病院 歯科口腔外科 小谷 勇 先生

講演3「大学病院における緩和ケアチームとは」

鳥取大学医学部附属病院 がんセンター 上田 恵巳 先生

第10回：平成28年2月4日（木）18:15～20:00 参加者数：69名

講演1「鳥取県小児がんの現状」

鳥取大学医学部附属病院 小児科 上山 潤一 先生

講演2「甲状腺がんについて」 鳥取大学医学部附属病院 耳鼻咽喉科 小山 哲史 先生

講演3「がん患者が活用できる社会資源と地域連携」

鳥取大学医学部附属病院 医療福祉支援センター 森脇 英子 先生

第11回：平成28年3月3日（木）18:15～20:00 参加者数：31名

講演1「胆道癌の診療」 鳥取大学医学部附属病院 第二内科 原田 賢一 先生
 講演2「大腸癌の標準治療」 鳥取大学医学部附属病院 第一外科 前田 佳彦 先生
 講演3「がん救急」 鳥取大学医学部附属病院 がんセンター 辻谷 俊一 先生

■概要

(1) 名称、会場

鳥取大学医学部附属病院 がんセンター遺伝子診療科 公開セミナー
 会場：鳥取大学医学部 臨床講義室

(2) 日時、内容

開催日時：平成27年9月16日（水）18:00～19:00
 がん哲学外来－「がん教育」における対話学－
 順天堂大学医学部 病理・腫瘍学教授（一般社団法人がん哲学外来理事長）
 樋野 興夫 先生

■概要

(1) 名称、会場

鳥取大学医学部附属病院 がんセンター公開セミナー
 会場：鳥取大学医学部附属病院がんセンターボード

(2) 日時、内容

開催日時：平成28年1月22日（金）18:30～20:10 参加者数：50名
 一般講演「胃癌手術における周術期静脈血栓塞栓の現状」
 鳥取大学医学部 病態制御外科学 尾崎 智博 先生
 特別講演「癌と静脈血栓塞栓症－NOAC時代のマネジメント－」
 三重大学大学院循環器・腎臓内科学客員教授
 村瀬病院 副院長／肺塞栓・静脈血栓センター長 中村 真潮 先生

■概要

(1) 名称、会場

がん医療セミナー（地域に暮らすがんと共に生きる人を支える）
 会場：全日空ホテル

(2) 日時、内容

第1回：平成27年10月3日（土）10:00～12:00 参加者数：63名
 講演「地域に暮らすがんと共に生きる人を支える」
 暮らしの保健室 室長 秋山 正子 先生
 第2回：平成28年1月11日（月・祝）13:30～15:30 参加者数：67名
 講演「緩和ケアにおけるコミュニケーションスキル」
 広島大学大学院 医歯薬保健学研究院 教授 岡村 仁 先生
 第3回：平成28年2月28日（日）13:00～15:00 参加者数：74名
 講演「がんと共に生きる人へのセルフマネジメント支援」
 防衛医科大学校医学教育部看護学科 教授 安酸 史子 先生

4-15 岩手医科大学 講演会「乳がん手術のエビデンスと実践」

■概要

(1) 名称

「乳がん手術のエビデンスと実践」

(2) 日時、会場

開催日時：平成27年7月24日（金）18:00～20:00

講義会場：岩手医科大学内丸キャンパス創立60周年記念館9階 第2講義室

(3) 演者

【第一部 講演】

- ・「乳癌手術の歴史と今後の方向性」

順天堂大学 乳腺・内分泌外科学 教授 齊藤 光江 先生

- ・「最新のセンチネルリンパ節生検と今後の方向性」

聖マリアンナ医科大学 乳腺・内分泌外科 教授 津川 浩一郎 先生

【第二部 パネルディスカッション】

順天堂大学 乳腺・内分泌外科学 教授 齊藤 光江 先生

聖マリアンナ医科大学 乳腺・内分泌外科 教授 津川 浩一郎 先生

岩手医科大学 外科学講座 助教 石田 和茂 先生

ファシリテーター：岩手医科大学 外科学講座 講師 柏葉 匡寛 先生

(4) 参加者の概要

参加者数：62名

(5) 主催

岩手医科大学

■資料

・ポスター

平成27年度 がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン
「ICTと人で繋ぐがん医療維新プラン」

講演会 「乳癌手術のエビデンスと実践」

日時 平成27年7月24日(金)18時～20時

会場 岩手医科大学創立60周年記念館
9階2番講義室

第1部：講演 18時00分～19時20分 各40分

(1) 「乳癌手術の歴史と今後の方向性」

順天堂大学 乳腺・内分泌外科学 教授 齊藤 光江先生

(2) 「最新のセンチネルリンパ節生検と今後の方向性」

聖マリアンナ医科大学 乳腺・内分泌外科 教授 津川 浩一郎先生

第2部：
パネルディスカッション 19時30分～20時00分 30分

順天堂大学	乳腺・内分泌外科学	教授	齊藤 光江先生
聖マリアンナ医科大学	乳腺・内分泌外科	教授	津川 浩一郎先生
岩手医科大学	外科学講座	助教	石田 和茂先生

ファシリテーター：岩手医科大学 外科学講座 講師 柏葉 匡寛

(お知らせ)

本講演会では、TV会議システムを利用して連携大学に講演会の内容をライブ配信し、双方向で討議を行います。ご興味のある方は是非ご来場下さい。(聴講自由)

主催：がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン

(順天堂大学・島根大学・鳥取大学・岩手医科大学・東京理科大学・明治薬科大学・立教大学)

《お問い合わせ先》 岩手医科大学外科学講座：内線3627

医学部教務課：がんプロ担当(内線：3110・3111)

4-16 岩手医科大学 講演会「消化管がんの最新治療と将来の展望」

■概要

(1) 名称

「消化管がんの最新治療と将来の展望～内科的・外科的治療および新規医療機器の開発～」

(2) 日時、会場

開催日時：平成27年7月29日（水）15:00～17:50

講義会場：岩手医科大学内丸キャンパス創立60周年記念館9階 第2講義室

(3) 演者

【第1部 一般講演】

- ・早期胃癌に対する内視鏡的治療－内視鏡的粘膜下層剥離術（ESD）の適応と実際－
開運橋消化器内科クリニック院長、岩手医大非常勤講師 遠藤 昌樹 先生
- ・進行大腸癌に対する腹腔鏡手術の現状と期待
岩手医科大学外科学講座 講師 大塚 幸喜 先生
- ・通常の軟性内視鏡で使用可能な新規 ESD 機器の開発
九州大学先端医療イノベーションセンター 助教 中楯 龍 先生

【第2部 特別講演】

- ・上部消化管がん治療：最先端科学技術を応用した内視鏡手術
九州大学大学院医学研究院 臨床腫瘍外科 准教授 永井 英司 先生

(4) 参加者の概要

参加者数：33名

(5) 主催

岩手医科大学

■資料

・ポスター

平成27文部科学省がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン
ーICTと人で繋ぐがん医療維新プランー

講演会

消化管がんの最新治療と将来の展望
～内科的・外科的治療および新規医療機器の開発～

日時 平成27年7月29日(水) 15:00～17:50

会場 岩手医科大学創立60周年記念館9階第2講義室

【第1部：一般講演】

- (1) 早期胃癌に対する内視鏡的治療
ー内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)の適応と実際ー
遠藤 昌樹 先生(開運橋消化器内科クリニック院長、岩手医大非常勤講師)
- (2) 進行大腸癌に対する腹腔鏡手術の現状と期待
大塚 幸喜 先生(岩手医科大学外科学講座 講師)
- (3) 通常の軟性内視鏡で使用可能な新規ESD機器の開発
中楯 龍 先生(九州大学先端医療イノベーションセンター 助教)

【第2部：特別講演】

- (1) 上部消化管がん治療：最先端科学技術を応用した内視鏡手術
永井 英司 先生(九州大学大学院医学研究院 臨床腫瘍外科 准教授)

【第3部：フリーディスカッション】

《問い合わせ先》

岩手医科大学 医学部教務課(がんプロ担当)

TEL: 019-651-5111(内線3111、3223)

E-mail: ikyomu@j.iwate-med.ac.jp

4-17 岩手医科大学 国際シンポジウム 「イメージガイド下がん診断・治療と医用ロボットの展望 ～日本に於けるがん治療への応用～」

■概要

(1) 名称

国際シンポジウム

「イメージガイド下がん診断・治療と医用ロボットの展望～日本に於けるがん治療への応用～」

(2) 日時、会場

開催日時：平成27年8月6日（木）15:30～17:30

講義会場：ホテルメトロポリタン盛岡ニューウイング 11F ギャラクシー

(3) 演者

【第1部 講演】

- ・「Innovative Technologies for Advanced Techno-Surgery」
東京女子医科大学 先端生命医科学研究所 先端工学外科学分野
特任助教 吉光 喜太郎 先生
- ・「滋賀医科大学の医工連携による画像支援技術を用いた手術システムの研究開発」
滋賀医科大学 バイオメディカル・イノベーションセンター
革新的医療システム開発部門 特任助教 山田 篤史 先生
- ・「術中 MRI システムを併用した脳腫瘍手術」
山形大学 医学部 脳神経外科 准教授 櫻田 香 先生

【第2部 特別講演】

- ・「ハーバード大学医学部関連病院における画像誘導手術に関する臨床研究プログラムと産学連携活動」
ハーバード大学 医学部 准教授 波多 伸彦 先生

(4) 参加者の概要

参加者数：60名

(5) 主催

岩手医科大学

■資料

・ポスター

イメージガイド下がん診断・治療と 医用ロボットの展望

～日本に於けるがん治療への応用～

定員
100名

参加費
無 料

文部科学省

がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン採択事業

がんプロ国際シンポジウム

【日時】平成27年8月6日(木) 15時30分～17時30分

【場所】ホテルメトロポリタン盛岡 ニューウイング
11F ギャラクシー

【対象】医師、大学院生、インテンシブコース受講生、看護師
薬剤師、ME医療従事者 等

プログラム

【司会】小島 淳美(岩手医科大学 産婦人科学講座 講師)、小山 理恵(同 特任准教授)

【座長】別府 高明 先生(岩手医科大学 脳神経外科 高気圧環境医学科 特任教授)

第1部 講演

15時30分～16時30分

1. Innovative Technologies for Advanced Techno-Surgery

吉光 喜太郎 先生 (東京女子医科大学 先端生命医科学研究所
先端工学外科学分野 特任助教)

2. 滋賀医科大学の医工連携による

画像支援技術を用いた手術システムの研究開発

山田 篤史 先生 (滋賀医科大学 バイオメディカル・イノベーションセンター
革新的医療システム開発部門 特任助教)

3. 術中MRIシステムを併用した脳腫瘍手術

櫻田 香 先生 (山形大学 医学部 脳神経外科 准教授)

～ 休 憩 ～

第2部 特別講演

16時40分～17時15分

「ハーバード大学医学部関連病院における

画像誘導手術に関する臨床研究プログラムと産学連携活動」

波多 伸彦 先生 (ハーバード大学 医学部 准教授)

第3部 フリーディスカッション

17時15分～17時30分

質疑応答や意見交換など

主催：文部科学省がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン

ICTと人で繋ぐがん医療維新プラン

順天堂大学・島根大学・鳥取大学・岩手医科大学
東京理科大学・明治薬科大学・立教大学

お問合せ先：

岩手医科大学 医学部教務課(がんプロ担当)

TEL.019-651-5111(内線3223)

E-mail ikyomu@j.iwate-med.ac.jp



4-18 岩手医科大学 キッズキャンサーセミナー

■概要

(1) 名称

「キッズキャンサーセミナー」

(2) 日時、会場

開催日時：平成27年8月8日（土）13:00～16:40

講義会場：岩手医科大学矢巾キャンパス東講義実習棟 2C 矢巾キャンパス災害時地域医療支援教育センター

(3) 講師

基礎講義「がんについて」 講師：岩手医科大学 緩和医療学科 教授 木村 祐輔 先生
岩手医科大学附属病院 管理栄養士 菅原 侑子 先生
岩手医科大学 高度看護研修センター 長澤 昌子 先生

(4) 参加者の概要

参加者数：60名

(5) 主催

岩手医科大学

■資料

・ポスター

キッズキャンサーセミナー

開催日：平成27年8月8日(土)13:00～16:40(予定)



参加無料



岩手県内の
小学5、6年生
対象（定員30名）
※先着順
※要申込み






外科手術のシュミレーターや、調剤体験など楽しいセミナーがたくさん♪

主なスケジュール

【会場】

矢巾キャンパス災害時地域医療支援教育センター、他

☆オリエンテーション

☆基礎講義(がんについて(仮))

☆体験セミナー(外科手術コーナー、全身麻酔体験、調剤体験など) グループに分かれて、体験コーナーを回ります！

- * 父兄同伴での参加も可能です。
- * 岩手医科大学内丸キャンパスから、無料送迎バスが出ます。(要申込み)

応募方法

平成27年7月17日(金)必着

裏面の申込要領に必要事項(住所、氏名、ふりがな、ニックネーム、電話番号、年齢、学校名、学年、同伴者氏名、ふりがな、E-mailアドレス、送迎バスの利用有無)をご記入のうえ、FAX・TEL・E-mailのいずれかでお申込みください。

- * 先着順となります。
- * 集合場所、当日スケジュール等の詳細は7月下旬に発送させていただきます。

お問合せ・お申込み

岩手医科大学 医学部教務課
(がんプロ担当)

〒020-8505

岩手県盛岡市内丸19-1

TEL: 019-651-5111(内線: 3223、3111)

FAX: 019-651-8055

E-mail: ikyomu@j.iwate-med.ac.jp

主催：がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン「ICTと人で繋ぐがん医療維新プラン」

平成27年度がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン 「キッズキャンサーセミナー」参加申込要領

【申し込み方法】

参加希望の方は、次の必要事項を、下記FAXか、E-mailアドレスに送信願います。
また、お電話によるお申込みも受け付けておりますので、下記電話番号までご連絡ください。

(ふりがな) 氏名			年齢	
ニックネーム				
学校名			学年	
※1 連絡先	住所	〒		
	電話			
	E-mail アドレス			
※2 同伴者 氏名(ふりがな)				
※3 送迎バス	利用する		利用しない	

※1 「連絡先」はできる限り連絡のつく電話番号をご記入願います。

※2 父兄同伴での参加も可能です。参加を希望する方は、「同伴者氏名」に氏名をご記入願います。

※3 送迎バスの利用について、該当する方に○をつけて下さい。

※本学は、法令に定める場合を除き、個人情報を本件業務遂行の目的にのみ利用します。

【申し込み先】

電話：019-651-5111(内線3223、3111)

E-mail: ikyomu@j.iwate-med.ac.jp

FAX: 019-651-8055

岩手医科大学 医学部教務課(がんプロ担当)

【申し込み締切】

平成27年7月17日(金)

※定員(30名)になり次第、締め切らせていただきます。予めご了承ください。

4-19 岩手医科大学 講演会 「婦人科がん治療における腹腔鏡手術のあり方と展望」

■概要

(1) 名称

「婦人科がん治療における腹腔鏡手術のあり方と展望」

(2) 日時、会場

開催日時：平成27年9月2日（水）16:00～18:00

講義会場：岩手医科大学内丸キャンパス創立60周年記念館9階 第1講義室

(3) 演者

【第1部 講演】16:00～17:00

1. 「婦人科がん腹腔鏡手術の功罪～鳥取大学で立ち上げを図って～」

鳥取大学器官制御外科学講座 生殖機能医学分野（産婦人科学）助教

出浦 伊万里 先生

2. 「子宮体がんに対する低侵襲化治療への試み」

順天堂大学 医学部・大学院医学研究科 産婦人科学教室 准教授

寺尾 泰久 先生

【第2部 特別講演】17:10～18:00

「婦人科悪性疾患根治術においてどこまで腹腔鏡で施行可能か？」

がん有明病院 産婦人科 医長 金尾 祐之 先生

(4) 参加者の概要

参加者数：68名

(5) 主催

岩手医科大学

■資料

・ポスター

平成27文部科学省がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン
ーICTと人で繋ぐがん医療維新プランー

講演会 「婦人科がん治療における腹腔鏡 手術のあり方と展望」

日時

平成27年9月2日（水）16時00分～18時00分

場所

岩手医科大学創立60周年記念館 9階 第1講義室

対象

医師、インテンシブコース受講生、看護師、薬剤師、
ME従事者等

司会：小島 淳美（岩手医大 産婦人科 講師）

座長：竹内 聡（岩手医大 産婦人科 准教授）、小見 英夫（同 助教）

【第1部：講演】16時00分～17時00分

1. 「婦人科がん腹腔鏡手術の功罪～鳥取大学で立ち上げを図って～」

出浦 伊万里 先生

鳥取大学機関制御外科学講座 生殖機能医学分野（産婦人科学）助教

2. 「子宮体がんに対する低侵襲化治療への試み」

寺尾 泰久 先生

順天堂大学 医学部・大学院医学研究科 産婦人科学教室 准教授

～休憩（10分）～

【第2部：特別講演】17時10分～18時00分

「婦人科悪性疾患根治術においてどこまで腹腔鏡で施行可能か？」

金尾 祐之 先生

がん有明病院 産婦人科 医長

本講演会では、TV会議システムを利用して連携大学に講義の内容をライブ
配信し、双方向で討議を行います。ご興味のある方は是非ご来場下さい。
（聴講自由）

主催：がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン

（順天堂大学・島根大学・鳥取大学・岩手医科大学・東京理科大学・明治薬科大学・立教大学）

《お問合せ先》 医学部教務課：がんプロ担当（内線：3223・3111）

4-20 岩手医科大学 講演会「がん臨床試験の実際」 ～CRC および Paramedical の役割とプロトコール作成の実際～

■概要

(1) 名称

「がん臨床試験の実際」～CRC および Paramedical の役割とプロトコール作成の実際～

(2) 日時、会場

開催日時：平成27年9月18日（金）18:00～20:30

講義会場：岩手医科大学内丸キャンパス創立60周年記念館9階 第1講義室

(3) 演者

【第1部】

「がん臨床試験の在り方とCRC・DM・がん専門薬剤師のかかわり（初級編）」

国立がん研究センター 研究支援センター

Japan Clinical Oncology Group データセンター長

福田 治彦 先生

【第2部】

「研究計画書の作成方法の要点（研究医師、看護師、倫理委員会委員などを対象に）」

国立がん研究センター 研究支援センター

Japan Clinical Oncology Group データセンター長

福田 治彦 先生

(4) 参加者の概要

参加者数：58名

(5) 主催

岩手医科大学

■資料

・ポスター

平成27年度文部科学省がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン
－ICTと人で繋ぐがん医療維新プラン－

がんプロCRC, Investigatorセミナー

『がん臨床試験の実際』

～CRCおよびParamedicalの役割とプロトコール作成の実際～

日時 平成27年9月18日(金) 18時00分～20時30分
分

会場 岩手医科大学創立60周年記念館9階第1講義室

対象 大学院生、インテンシブコース受講生、臨床試験に携わる職員、
CRC、医師、薬剤師、看護師、ME従事者 等

講師：

福田 治彦 先生 (国立がん研究センター 研究支援センター
Japan Clinical Oncology Group データセンター長)

【第1部：講演】

- ・がん臨床試験の在り方とCRC・DM・がん専門薬剤師のかかわり(初級編)

－ 休憩(10分) －

【第2部：講演】

- ・研究計画書の作成方法の要点
(研究医師、看護師、倫理委員会委員などを対象に)

※本講演会では、TV会議システムを利用して連携大学に講義の内容をライブ配信し、双方向で討議を行います。ご興味のある方は是非ご来場下さい。
(聴講自由)

《問い合わせ先》

岩手医科大学 医学部教務課(がんプロ担当)

TEL：019-651-5111(内線3111、3223)

E-mail：ikyomu@j.iwate-med.ac.jp

4-21 岩手医科大学 講演会「肺癌個別化医療に求められる気管支鏡」

■概要

(1) 名称

「肺癌個別化医療に求められる気管支鏡」

(2) 日時、会場

開催日時：平成27年10月5日（月）18:00～19:00

講義会場：岩手医科大学内丸キャンパス創立60周年記念館9階 第1講義室

(3) 演者

「肺癌診療における 気管支鏡検査の最近の話題」

北海道大学病院 内科Ⅰ 講師 品川 尚文 先生

(4) 参加者の概要

参加者数：37名

(5) 主催

岩手医科大学

■資料

・ポスター

平成27文部科学省がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン
ーICTと人で繋ぐがん医療維新プランー

講演会 「肺癌個別化医療に 求められる気管支鏡」

日時：平成27年10月5日(月)
18時00分～19時00分

場所：岩手医科大学創立60周年記念館
9階 第1講義室

対象：医師、インテンシブコース受講生、
看護師、薬剤師、ME従事者等

プログラム

司会：山内 広平

(岩手医科大学内科学講座

呼吸器・アレルギー・膠原病内科分野 教授)

「肺癌診療における 気管支鏡検査の最近の話題」

講師：品川 尚文 先生

(北海道大学病院 内科I 講師)

本講演会では、TV会議システムを利用して連携大学に講義の内容をライブ配信し、双方向で討議を行います。ご興味のある方は是非ご来場下さい。(聴講自由)

主催：がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン

(順天堂大学・島根大学・鳥取大学・岩手医科大学・東京理科大学・明治薬科大学・立教大学)

《お問合せ先》 医学部教務課：がんプロ担当(内線：3223・3111)

4-22 岩手医科大学 講演会 「医療現場におけるがん患者の就労支援」

■概要

(1) 名称

「医療現場におけるがん患者の就労支援」

(2) 日時、会場

開催日時：平成27年10月18日（日）14:30～15:20

講義会場：岩手医科大学内丸キャンパス創立60周年記念館9階 第2講義室

(3) 演者

「医療現場におけるがん患者の就労支援」

コマツ健康増進センタ 産業医

国立がん研究センター がんサイバーシップ 外来研究員

産業医科大学 産業医実務研修センター 非常勤助教

平岡 晃 先生

(4) 参加者の概要

参加者数：27名

(5) 主催

岩手医科大学

■資料

・ポスター

平成27年度文部科学省がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン
ーICTと人で繋ぐがん医療維新プランー

講演会

日時：平成**27**年**10**月**18**日(日)
14時30分～15時20分

会場：岩手医科大学(内丸キャンパス)
創立60周年記念館 9階 第2講義室
【岩手県盛岡市内丸19-1】

対象：医師、大学院生、インテンシブコース受講生、
看護師、薬剤師、その他医療従事者

◆プログラム◆

司会：木村 祐輔(岩手医科大学 緩和医療学科 教授)

「医療現場における がん患者の就労支援」

講師：平岡 晃 先生

コマツ健康増進センタ 産業医
国立がん研究センター がんサバイバーシップ 外来研究員
産業医科大学 産業医実務研修センター 非常勤助教



参加費無料!!
皆様のご来場を
お待ちしております。

《問い合わせ先》

岩手医科大学 医学部教務課(がんプロ担当)

TEL : 019-651-5111(内線3111、3223)

E-mail : ikyomu@j.iwate-med.ac.jp

4-23 岩手医科大学 腫瘍センター講演会 「骨転移診療のパラダイムシフト ～骨転移カンファレンスの現状と課題、今後の展望～」

■概要

(1) 名称

「骨転移診療のパラダイムシフト～骨転移カンファレンスの現状と課題、今後の展望～」

(2) 日時、会場

開催日時：平成28年1月22日（金）18:00～19:30

講義会場：岩手医科大学内丸キャンパス創立60周年記念館9階 第1講義室

(3) 演者

【特別講演Ⅰ】

「岩手医科大学附属病院における骨転移カンファレンスの初期経験と課題」

岩手医科大学 放射線医学講座 助教 鈴木 智大 先生

【特別講演Ⅱ】

「骨転移へのアプローチ」

順天堂大学医学部 整形外科学講座 准教授 高木 辰哉 先生

(4) 参加者の概要

参加者数：54名

(5) 主催

岩手医科大学

■資料

・ポスター

平成27年度文部科学省
がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン
ーICTと人で繋ぐがん医療維新プランー

骨転移診療の パラダイムシフト

～骨転移カンファレンスの現状と課題、今後の展望～

日時：**平成28年1月22日（金）18:00～19:30**

会場：**創立60周年記念館 9階 第1講義室**

対象：**医師、大学院生、インテンシブコース受講、
薬剤師、看護師、理学療法士 等**

プログラム

司会：伊藤 薫樹（岩手医科大学 腫瘍内科学科 教授）

【特別講演Ⅰ】
「**岩手医科大学附属病院における
骨転移カンファレンスの初期経験と課題**」
講師：**鈴木 智大 先生**
（岩手医科大学 放射線医学講座 助教）

【特別講演Ⅱ】
「**骨転移へのアプローチ**」
講師：**高木 辰哉 先生**
（順天堂大学医学部 整形外科科学講座 准教授）

【主催】 がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン
（順天堂大学・島根大学・鳥取大学・岩手医科大学・東京理科大学・明治薬科大学・立教大学）

【共催】 岩手医科大学附属病院 腫瘍センター

【問合せ先】 岩手医科大学 医学部教務課（がんプロ担当）
TEL：019-651-5111（内線3111、3223） E-mail：ikyomu@j.iwate-med.ac.jp

4-24 岩手医科大学 セミナー「臨床研究セミナー」

■概要

(1) 名称

セミナー「臨床研究セミナー」
～医師だけでなく、メディカルスタッフ（看護師、薬剤師、技師等）の研究も、
医師と同じように審査され、評価される時代となりました。皆で勉強しましょう～

(2) 日時、会場

開催日時：平成28年1月28日（木）17:45～18:45
講義会場：岩手医科大学内丸キャンパス創立60周年記念館9階 第1講義室

(3) 演者

「医師（初級）・看護師・薬剤師に必要な臨床試験の知識」
佐久総合病院佐久医療センター 臨床研究・治験センター
事務局長 新美 三由紀 先生

(4) 参加者の概要

参加者数：48名

(5) 主催

岩手医科大学

■資料

・ポスター

臨床研究セミナー

～医師だけでなく、メディカルスタッフ（看護師、薬剤師、技師等）の研究も、医師と同じように審査され、評価される時代となりました。皆で勉強しましょう～

日時：平成**28**年**1**月**28**日（木）
17時45分～18時45分

会場：岩手医科大学
創立60周年記念館
9階 第1講義室

対象：医師（初級）、
看護師、
薬剤師、
インテンシブコース
受講生等、

講演

司会：杉山 徹
（産婦人科学講座 教授）

「医師（初級）・ 看護師・薬剤師 に必要な臨床試 験の知識」

講師：新美 三由紀 先生
（佐久総合病院佐久医療センター
臨床研究・治験センター 事務局長）

人に対する倫理指針の改定を含めて臨床研究の重要性が改めて認識されており、全国医学部長病院長会議でもその取り組みについて言及されています。また、AMEDはPMDAと連携して、医師主導試験・治験を支援する体制を構築していることから、臨床研究とは医師のみに留まらず、看護師や薬剤師が行う研究なども含まれるといえます。本セミナーは、医師に限らず、看護師、薬剤師などに、国が進める臨床研究に対する理解を深めることを目的に開催します。

主催：がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン

（順天堂大学・島根大学・鳥取大学・岩手医科大学・東京理科大学・明治薬科大学・立教大学）

《お問合せ先》 医学部教務課：がんプロ担当（内線：3223・3111）

4-25 岩手医科大学 講演会「がん免疫療法について」

■概要

(1) 名称

「がん免疫療法について」

(2) 日時、会場

開催日時：平成28年2月16日（火）18:00～19:00

講義会場：岩手医科大学内丸キャンパス創立60周年記念館9階 第1講義室

(3) 演者

「免疫療法が切り開く新しいがん治療法の潮流」

山口大学大学院 医学系研究科 免疫学分野 教授 玉田 耕治 先生

(4) 参加者の概要

参加者数：67名

(5) 主催

岩手医科大学

■資料

・ポスター

平成27年度文部科学省
がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン
ー ICTと人で繋ぐがん医療維新プランー
～腫瘍センター講演会～
がん免疫療法について

日時 平成28年2月16日(火) 18:00～19:00

会場 創立60周年記念館 9階 第1講義室

対象 医師、大学院生、インテンシブコース受講生、
看護師、薬剤師、その他医療従事者 等

PROGRAM

【講演】 座長：小原 航（岩手医科大学 泌尿器科学講座 教授）

**「免疫療法が切り開く
新しいがん治療法の潮流」**

講師：玉田 耕治 先生
(山口大学大学院 医学系研究科
免疫学分野 教授)

【主催】 がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン
(順天堂大学・島根大学・鳥取大学・岩手医科大学・東京理科大学・明治薬科大学・立教大学)

【共催】 岩手医科大学附属病院 腫瘍センター

【問合せ先】 岩手医科大学 医学部 教務課 (がんプロ担当)
TEL : 019-651-5111 (内線3111、3223) E-mail : ikyomu@j.iwate-med.ac.jp

4-26 岩手医科大学「高校生がんセミナー」

■概要

(1) 名称

「高校生がんセミナー」

(2) 日時、会場

開催日時：平成28年2月20日（土）10:00～16:20

講義会場：岩手医科大学矢巾キャンパス大堀講堂 矢巾キャンパス災害時地域医療支援教育センター

(3) 内容

1. オリエンテーション 講師：岩手医科大学 緩和医療学科 教授 木村 祐輔 先生
2. 基礎講義「がん総論」
 - ・「がん総論とがんに対する化学療法」

岩手医科大学	腫瘍内科学科 教授 伊藤 薫樹 先生
--------	--------------------
 - ・「がんの診断と外科治療」

岩手医科大学	耳鼻咽喉科・頭頸部外科 教授 志賀 清人 先生
--------	-------------------------
 - ・「がんの放射線治療」

岩手医科大学	放射線医学講座 講師 及川 博文 先生
--------	---------------------
 - ・「化学療法における薬剤師の役割」

岩手医科大学	薬剤部 がん薬物療法認定薬剤師 森 恵 先生
--------	--------------------------
 - ・「がん看護」

岩手医科大学	看護部 がん放射線療法看護認定看護師 下田 弥生 先生
--------	-------------------------------

(4) 参加者の概要

参加者数：105名

(5) 主催

岩手医科大学

■資料

・ポスター



岩手医科大学

高校生キャンサーセミナー

日時

平成28年2月20日(土) 10時00分～16時20分(予定)

場所

岩手医科大学矢巾キャンパス

対象

岩手県内の高校1、2年生

定員

40名(要申込み・先着順)**※平成28年1月25日(月)必着**

参加無料

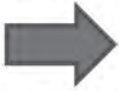
医師、薬剤師、看護師等の医療者による基礎講義等の他、外科手術のシュミレーターや内視鏡検査等の体験セミナーを予定しています。

☆オリエンテーション

☆基礎講義『がんを知る』

がんの基礎的知識から、検査方法、治療方法、さらに最新研究まで。

昼食



移動

☆体験セミナー

※グループに分かれてローテーション

裏面の申込要領に必要事項(氏名、ふりがな、性別、学校名、学年、郵便番号、住所、電話番号、E-mailアドレス、お弁当の希望)をご記入のうえ、FAX・E-mailのいずれかでお申込みください。

※お申込みは先着となります。

※お弁当を希望の方は実費(500円)となりますので、当日お支払いいただきます。

※集合場所、当日スケジュール等の詳細は、2月上旬に発送いたします。



お問合せ・お申込み

〒020-8505
岩手県盛岡市内丸19-1
岩手医科大学 医学部教務課
(がんプロ担当)
TEL : 019-651-5111
(内線3223、3111)
FAX : 019-651-8055
E-mail : ikyomu@j.iwate-med.ac.jp

主催:がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン「ICTと人で繋ぐがん医療維新プラン」(岩手医科大学)

平成27年度がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン 「高校生キャンサーセミナー」参加申込要領

【申し込み方法】

次の必要事項を、下記FAXまたはE-mailアドレスに送信願います。

(ふりがな) 氏名		性別	
学校名		学年	
連絡先 ※1	住所	〒	
	電話		
	E-mail アドレス		
お弁当の 希望 ※2	する	しない(持参します)	

※1 「連絡先」はできる限り連絡のつく電話番号をご記入願います。

受付完了のご連絡はメールで返信いたしますので、“@j.iwate-med.ac.jp”のドメインを受信できるように設定いただきますよう、お願いいたします。

※2 お弁当を希望する方は実費(500円)となりますので、当日お支払いいただきます。

※本学は、法令に定める場合を除き、個人情報を本件業務遂行の目的にのみ利用します。

【申し込み先】

岩手医科大学 医学部教務課(がんプロ担当)

TEL: 019-651-5111(内線3223、3111)

E-mail: ikyomu@j.iwate-med.ac.jp

FAX: 019-651-8055

【申し込み締切】

平成28年1月25日(月)

※申込は先着となります。予めご了承ください。

4-27 岩手医科大学 講演会

「頭頸部癌の超音波診断～新たな診断基準の策定と新技術の開発～」

■概要

(1) 名称

「頭頸部癌の超音波診断～新たな診断基準の策定と新技術の開発～」

(2) 日時、会場

開催日時：平成28年3月11日（金）18:00～19:30

講義会場：岩手医科大学内丸キャンパス創立60周年記念館9階 第1講義室

(3) 演者

- ・「頭頸部癌頸部リンパ節の超音波診断」

神奈川県立がんセンター 頭頸部外科 医長 古川 まどか 先生

- ・「頭頸部領域での超音波エラストグラフィの活用法」

鳥取大学医学部 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 助教 福原 隆宏 先生

- ・「造影超音波を用いた頭頸部癌頸部リンパ節の診断」

岩手医科大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 助教 齋藤 大輔 先生

(4) 参加者の概要

参加者数：42名

(5) 主催

岩手医科大学

■資料

・ポスター

平成27年度文部科学省 がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン
ーICTと人で繋ぐがん医療維新プランー

「頭頸部癌の超音波診断」 ～新たな診断基準の策定と新技術の開発～

PROGRAM

司会：志賀 清人(岩手医科大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 教授)

【第一部：講演】

- 1) 「頭頸部癌頸部リンパ節の超音波診断」
古川 まどか 先生
(神奈川県立がんセンター 頭頸部外科 医長)
- 2) 「頭頸部領域での超音波エラストグラフィの活用法」
福原 隆宏 先生
(鳥取大学医学部 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 助教)
- 3) 「造影超音波を用いた頭頸部癌頸部リンパ節の診断」
斎藤 大輔 先生
(岩手医科大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 助教)

【第二部：総合討論】

日時 平成28年3月11日(金) 18:00～19:30

会場 創立60周年記念館9階 第1講義室

対象 インテンシブコース受講生、大学院生、
医師、看護師、薬剤師等

【主催】 がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン
(順天堂大学・島根大学・鳥取大学・岩手医科大学・東京理科大学・明治薬科大学・立教大学)

【問合せ先】 岩手医科大学 医学部教務課(がんプロ担当)

TEL : 019-651-5111(内線3111、3223)

E-mail : ikyomu@j.iwate-med.ac.jp

4-28 岩手医科大学 キャンサーボード等

■概要

(1) 名称

岩手県合同がんセンターボードミーティング

(2) 日時

- ・ 第1回
開催日時：平成28年1月21日（木）
- ・ 第2回
開催日時：平成28年2月23日（火）
- ・ 第3回
開催日時：平成28年3月17日（木）

■概要

(1) 名称

岩手緩和ケアテレカンファランス

(2) 日時

- ・ 第66回
開催日時：平成27年4月20日（月）
- ・ 第67回
開催日時：平成27年5月18日（月）
- ・ 第68回
開催日時：平成27年6月15日（月）
- ・ 第69回
開催日時：平成27年7月10日（金）
- ・ 第70回
開催日時：平成27年9月14日（月）
- ・ 第71回
開催日時：平成27年10月19日（月）
- ・ 第72回
開催日時：平成27年11月16日（月）
- ・ 第73回
開催日時：平成27年12月21日（月）
- ・ 第74回
開催日時：平成28年1月18日（月）
- ・ 第75回
開催日時：平成28年2月15日（月）
- ・ 第76回
開催日時：平成28年3月14日（月）

■概要

(1) 名称

対話カフェ

(2) 日時

- ・第1回
開催日時：平成27年4月22日（水）
- ・第2回
開催日時：平成27年5月27日（水）
- ・第3回
開催日時：平成27年6月24日（水）
- ・第4回
開催日時：平成27年7月22日（水）
- ・第5回
開催日時：平成27年8月26日（水）
- ・第6回
開催日時：平成27年10月28日（水）
- ・第7回
開催日時：平成27年11月25日（水）
- ・第8回
開催日時：平成28年1月27日（水）

4-29 東京理科大学 企画講座（セミナー等）

■概要

(1) 名称

東京理科大学「第31回 薬学講座」

(2) 日時、会場

開催日時：平成27年10月17日（土）10:30～17:00

講義会場：東京理科大学 神楽坂キャンパス1号館17階（記念講堂）

(3) 演者

- ・「緩和ケアのスキルをみがくには？」
埼玉県立がんセンター 緩和ケア科 科長 余宮 きのみ 先生
- ・「生薬から見た漢方方剤解説（産婦人科疾患の漢方治療）」
社会福祉法人相模更生会 総合相模更生病院 薬剤部長 稲葉 健二郎 先生
- ・「現代医療における漢方薬の経済的有用性」
日本経済大学大学院 経営学研究科 教授 赤瀬 朋秀 先生
- ・「老化の分子機構 ―細胞老化の生体における役割―」
東京理科大学 理工学部 応用生物科学科 教授 大谷 直子 先生

(4) 参加者の概要

参加者数：81名

(5) 主催

東京理科大学

■概要

(1) 名称

デジタルPCR講習会

(2) 日時

開催日時：平成27年10月5日（月）

(3) 参加者の概要

参加者数：5名

■資料

・ポスター

第31回 薬学講座 開催要項

期 日	平成27年10月17日(土)
時 間	10:30～17:00(10:00 受付開始)
定 員	240名
場 所	東京理科大学神楽坂キャンパス1号館17階(記念講堂)
参 加 費	2,000円(講演要旨代を含む) ※ 昼食代は含まれておりません。
主 催	東京理科大学薬学部
共 催	東京理科大学生涯学習センター 東京理科大学薬学部同窓会 公益財団法人日本薬剤師研修センター 文部科学省がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン採択事業

● プログラム ●

10:30 ～ 10:35	開会の辞	実行委員長	磯濱 洋一郎
10:35 ～ 10:40	学部長挨拶	東京理科大学 薬学部長	深井 文雄
10:40 ～ 11:50			
「緩和ケアのスキルをみかくには？」			
	埼玉県立がんセンター 緩和ケア科 科長	余宮 きのみ	
《11:50 ～ 12:50 昼食・休憩》			
12:50 ～ 14:00			
「生薬から見た漢方方剤解説（産婦人科疾患の漢方治療）」			
	社会福祉法人相模更生会 総合相模更生病院 薬剤部長	稲葉 健二郎	
《14:00 ～ 14:15 休憩》			
14:15 ～ 15:25			
「現代医療における漢方薬の経済的有用性」			
	日本経済大学大学院 経営学研究科 教授	赤瀬 朋秀	
《15:25 ～ 15:40 休憩》			
15:40 ～ 16:50			
「老化の分子機構 ー細胞老化の生体における役割ー」			
	東京理科大学 理工学部 応用生物科学科 教授	大谷 直子	
16:50	閉会の辞	実行委員長	磯濱 洋一郎

● 講座のお申し込みについて ●

今回の薬学講座は公益財団法人日本薬剤師研修センター研修認定薬剤師制度の認定対象研修会であり、参加される場合は3単位の修得となります。単位認定を希望する方は事前に東京理科大学生涯学習センターHP (<https://manabi.tus.ac.jp>) からお申し込みください(インターネットをご使用になれない方は下記へご連絡ください)。受付期間は平成27年8月24日(月)から平成27年10月7日(水)までとさせていただきます。なお、単位認定が不要な方の事前申込は必要ありません。

● お問い合わせ先 ●



東京理科大学生涯学習センター
〒162-8601 東京都新宿区神楽坂 1-3
TEL: 03-3267-9462 FAX: 03-3267-2048
E-mail: manabi@admin.tus.ac.jp
URL: <https://manabi.tus.ac.jp>

4-30 明治薬科大学 市民公開講座

■概要

(1) 名称

市民公開講座「がん治療の新技术～中性子捕捉療法とドラッグデリバリーの応用～」

(2) 日時、会場

開催日時：平成27年10月17日（土）13:00～14:30

講義会場：明治薬科大学清瀬キャンパス 講義棟1階 104講義室

(3) 演者

「がん治療の新技术～中性子捕捉療法とドラッグデリバリーの応用～」

明治薬科大学 がん先端治療学：アルファ粒子線・免疫治療学
寄付講座 教授 柳衛 宏宣 先生

(4) 参加者の概要

参加者数：102名

(5) 主催

明治薬科大学

■資料

・ポスター



平成27年度

明治薬科大学 明薬祭特別講演

日時：平成27年10月17日(土)
13時00分～14時30分(受付開始12時30分)
会場：明治薬科大学講義棟1階 104 講義室
(入場無料・申し込み不要・定員150名)

がん治療の新技术

～中性子捕捉療法とドラッグデリバリーの応用～

中性子捕捉療法では、それだけでは治療効果のない熱中性子とホウ素原子が反応してアルファ線を生じ、腫瘍細胞に障害を与えます。アルファ線は、1ミリの100分の1の距離しか影響がないため、腫瘍組織にホウ素薬剤を集めるドラッグデリバリーの仕組みも大切になってきます。中性子捕捉療法は、脳腫瘍や悪性黒色腫、等への臨床研究が実施中ですが、肝臓癌や乳癌の再発腫瘍への応用も検討中です。今回は、私達が研究を行っている中性子捕捉療法とドラッグデリバリー治療についてご紹介いたします。

講師：柳衛 宏宣 先生
がん先端治療学：アルファ粒子線・免疫治療学 寄付講座教授

主催：明治薬科大学 公開講座・シンポジウム委員会
協賛：がんプロフェッショナル養成基盤推進事業
URL：<http://www.my-pharm.ac.jp>

10月17日(土)・18日(日)は、明薬祭開催中です。

問い合わせ先：〒204-8588 東京都清瀬市野塩2-522-1
明治薬科大学 広報課
TEL 042-495-8615(直通)

交通：■西武池袋線秋津駅より正門まで徒歩12分
■JR武蔵野線新秋津駅より正門まで徒歩17分
■タクシーにご乗車の際は、西武池袋線清瀬駅、JR武蔵野線新秋津駅をご利用ください。
■清瀬市コミュニティーバス きよバスで「明治薬科大学」又は「第四小学校西」バス停下車すぐ。



4-31 明治薬科大学 特別講演会

■概要

(1) 名称

講演「米国イリノイ大学シカゴ校薬学部 Latha Radhakrishnan 先生による講演」

(2) 日時、会場

開催日時：第1回講演 平成28年1月9日（土）13:00～16:00

第2回講演 平成28年1月12日（火）14:40～16:00

講義会場：第1回講演 明治薬科大学清瀬キャンパス 講義棟1階 101教室

第2回講演 明治薬科大学清瀬キャンパス フロネシス棟1階 8112教室

(3) 講師

- ・第1回講演

演題：The Role of the Clinical Oncology Pharmacist in an Ambulatory Care Setting

- ・第2回講演

演題：Chemotherapy-induced Nausea and Vomiting

Dr. Latha Radhakrishnan, Pharm.D., BCPS, BCOP

Clinical Assistant Professor, Clinical Oncology Pharmacist

University of Illinois at Chicago, College of Pharmacy

(4) 参加者の概要

参加者数：1月9日 109名

1月12日 318名

(5) 主催

明治薬科大学

■資料

・ポスター



がんプロフェッショナル養成基盤事業 講演会のお知らせ

Latha Radhakrishnan先生は、イリノイ大学シカゴ校薬学部でがん治療領域の臨床薬剤師として活躍されています。このたび、学部学生、大学院生、教員を対象に、がん薬物治療に関連のある講演会を2日間にわたり企画しました。皆さん奮ってご参加下さい。



Latha Radhakrishnan, Pharm.D., BCPS, BCOP
Clinical Assistant Professor, Clinical Oncology Pharmacist
University of Illinois at Chicago, College of Pharmacy, USA.

－第1回－

The Role of the Clinical Oncology Pharmacist in an Ambulatory Care Setting

日時：平成28年1月9日（土）13:00-16:00

場所：明治薬科大学清瀬キャンパス 101教室

－第2回－

Chemotherapy-induced Nausea and Vomiting

日時：平成28年1月12日（火）14:40 - 16:00

場所：明治薬科大学清瀬キャンパス フロネシス8112教室

主催 大学院がんプロフェッショナル養成基盤事業
海外医療研修コース
連絡先 薬物治療学 越前宏俊 教務部、大学院担当

4-32 明治薬科大学 企画講座（セミナー等）

■概要

(1) 名称

講演会「がん医療における薬剤師の役割」

(2) 日時、会場

開催日時：平成28年3月5日（土）13:00～16:00

講義会場：明治薬科大学清瀬キャンパス

(3) 演者

「がん医療における薬剤師の役割」

公益財団法人がん研究会がん有明病院 薬剤部 中野 泰寛 先生
順天堂大学医学部附属練馬病院 薬剤科 関 貴善 先生

(4) 参加者の概要

参加者数：100名

(5) 主催

明治薬科大学

4-33 立教大学 企画講座（セミナー等）

■概要

(1) 名称

親子で学ぶがん教育

(2) 日時、会場、対象

開催日時：平成28年3月15日（火）11:30～14:40

※4校時：11:30～12:10、5校時：13:10～13:50、6校時：14:00～14:40

講義会場：立教小学校

対 象：立教小学校 5年生（3クラス）及び保護者

※授業は同じ内容を1クラス毎（計3回）に行う。

(3) 講師

順天堂大学 大学院 医学研究科 分子病理病態学 樋野 興夫 教授

(4) 参加者数

4限 5C組 生徒数：38名 保護者：19名 小学校教員：6名 立教大学：3名

5限 5A組 生徒数：39名 保護者：15名 小学校教員：4名 立教大学：2名

6限 5B組 生徒数：40名 保護者：25名 小学校教員：7名 立教大学：2名

(5) 主催

立教大学

(6) 共催

先導的がん医療開発研究センター

5. 連携大学 ICT 特別講義

5-1 連携大学 ICT 特別講義

『こどもの・自らのがんを、子どもにどう伝えるべきか？
ーCLS（チャイルド・ライフ・スペシャリスト）の役割を探るー』

■概要

(1) 日時、会場

開催日時：平成 27 年 10 月 2 日（金）18:00～19:40

講義会場：岩手医科大学 創立 60 周年記念館 9 階 2 番講義室

(2) ゲストスピーカー

聖路加国際病院 チャイルド・ライフ・スペシャリスト 三浦 絵莉子

パネリスト

- ・聖路加国際病院 チャイルド・ライフ・スペシャリスト 三浦 絵莉子
- ・岩手医科大学 小児科学講座 准教授 遠藤 幹也
- ・岩手医科大学 看護部 乳癌看護認定看護師 三浦 一穂
- ・乳がん経験者

(3) 主担当大学

岩手医科大学

■資料

・ポスター

平成27年度がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン
「ICTと人で繋ぐがん医療推進プラン」

共通カリキュラム「ICT特別講義」

**こどもの・自らのがんを、子どもにどう伝えるべきか？
ーCLS(チャイルド・ライフ・スペシャリスト)の役割を探るー**

日時：平成27年10月2日(金)18:00～19:40

会場：岩手医科大学創立60周年記念館9階2番講義室

プログラム

【挨拶】 腫瘍内科学科 教授 伊藤 薫樹

[座長] 外科学講座 講師 柏葉 匡寛

【第1部:講演】 18:05～18:45

「CLSとは？実際の活動を通し、その重要性を知る」

聖路加国際病院 チャイルド・ライフ・スペシャリスト 三浦 絵莉子先生

【第2部:パネルディスカッション】 18:55～19:35

ファシリテーター：腫瘍内科学科 教授 伊藤 薫樹

外科学講座 講師 柏葉 匡寛

パネリスト

聖路加国際病院 チャイルド・ライフ・スペシャリスト 三浦 絵莉子先生

岩手医科大学 小児科学講座 准教授 遠藤 幹也 先生

岩手医科大学 看護部 乳癌看護認定看護師 三浦 一穂 先生

乳がん経験者

【総括】 腫瘍内科学科 教授 伊藤 薫樹

ーお知らせー

・本特別講義では、TV会議システムを利用して連携大学に講義の内容をライブ配信し、双方向で討議を行います。ご興味のある方は是非ご来場下さい。(聴講自由)

主催：がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン

(順天堂大学・島根大学・鳥取大学・岩手医科大学・東京理科大学・明治薬科大学・立教大学)

お問合せ先：医学部教務課：がんプロ担当(3111・3110)

5-2 連携大学 ICT 特別講義－産官学連携－ 『日本医療研究開発機構（AMED）と創薬支援について ～橋渡し研究、臨床研究・治験の環境整備を中心に～』

■概要

(1) 日時、会場

開催日時：平成27年12月2日（水）18:30～20:00

講義会場：順天堂大学 センチュリータワー南4階403教室

(2) ゲストスピーカー

国立研究開発法人 日本医療研究開発機構（AMED）

臨床研究・治験基盤事業部長 吉田 易範

(3) 主担当大学

順天堂大学／東京理科大学

■資料

・ポスター

平成27年度がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン
連携大学ICT特別講義―産官学連携―

日本医療研究開発機構(AMED)と創薬支援について
～橋渡し研究、臨床研究・治験の環境整備を中心に～

吉田 易範 先生は、本年4月に設立された日本医療研究開発機構(AMED)の臨床研究・治験基盤事業部長をされております。

本講演では、AMEDの成り立ち・役割等について全体として概説するほか、特に、橋渡し研究、臨床研究・治験の環境整備のための横断的プロジェクトである「革新的医療技術創出拠点プロジェクト」を中心にその現状と課題、AMEDとしてのさらなる創薬に向けた取組み等について紹介頂きます。

講師：国立研究開発法人

日本医療研究開発機構(AMED)

臨床研究・治験基盤事業部長

吉田 易範 先生

日時：平成27年12月2日(水) 18:30～20:00

会場：順天堂大学センチュリータワー南4階403教室

対象：学生、研修医、大学院生、研究者、教職員、
医療従事者

問い合わせ先：順天堂大学 本郷・お茶の水キャンパス 教務課(大学院担当)内
がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン事務局

TEL:03-5802-1710 (内線:3756) MAIL:ganpro@juntendo.ac.jp

5-3 連携大学 ICT 特別講義

『必要とされるコミュニケーションスキル スピリチュアルケアとディグニティセラピー』

■概要

(1) 日時、会場

開催日時：平成28年1月8日（金）18:30～20:00

講義会場：鳥取大学 医学部附属病院がんセンター

(2) ゲストスピーカー

筑波大学附属病院水戸地域医療教育センター・水戸協同病院

総合診療科部長 金井 貴夫

(3) 主担当大学

鳥取大学／島根大学

■資料

・ポスター

平成24年度文部科学省がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン採択事業

必要とされるコミュニケーションスキル スピリチュアルケア と ディグニティセラピー

spiritual care & dignity therapy

歩んできた道を振り返り
大切なものを
大切な人に伝える

2016.1/8 金 18:30~20:00

鳥取大学医学部附属病院がんセンター キャンサーボード



【講師】金井 貴夫先生
筑波大学附属病院水戸地域医療教育センター・水戸協同病院 総合診療科部長
千葉西総合病院総合診療科、国立国際医療センター精神科・緩和ケアチーム、東京女子医科大学病院神経精神科/化学療法・緩和ケア科などを経て、2011年4月から現職。日本内科学会認定総合内科専門医・内科指導医、精神保健指定医、日本精神神経学会専門医、日本総合病院精神医学会専門医・指導医・評議員、日本緩和医療学会暫定指導医、日本体育協会認定スポーツドクター、日本プライマリ・ケア連合学会認定医。
総合内科・総合診療科の仕事の他、緩和ケア、コンサルテーション・リエゾン精神医学、睡眠外来、スポーツコンディショニング外来、訪問診療、スポーツチームドクターなど幅広く活動。

お問い合わせ

鳥取大学医学部学務課
〒683-8503 鳥取県米子市西町86
TEL/0859-38-7094
FAX/0859-38-7109
E-mail/me-kyoumu@adm.tottori-u.ac.jp

主催：がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン（ICTと人で繋ぐがん医療維新プラン）
順天堂大学、立教大学、明治薬科大学、東京理科大学、岩手医科大学、島根大学、鳥取大学
後援：鳥取県がん診療連携協議会、鳥取大学医学部附属病院、山陰がん認定医療スタッフ育成インテンシブコース

6. 共同カンファレンス等

6-1 がんプロ乳腺臨床・研究 TV カンファレンス

■概要

(1) 名称

乳腺臨床・研究 TV カンファレンス

(2) 日時、参加大学

- ・ 第 1 回
開催日時：平成 27 年 4 月 22 日（水）19:00～20:00
参加大学：順天堂大学、島根大学、鳥取大学、岩手医科大学
- ・ 第 2 回
開催日時：平成 27 年 5 月 27 日（水）19:00～20:00
参加大学：順天堂大学、島根大学、鳥取大学、岩手医科大学
- ・ 第 3 回
開催日時：平成 27 年 6 月 24 日（水）19:00～20:00
参加大学：順天堂大学、島根大学、鳥取大学、岩手医科大学
- ・ 第 4 回
開催日時：平成 27 年 7 月 22 日（水）19:00～20:00
参加大学：順天堂大学、鳥取大学
- ・ 第 5 回
開催日時：平成 27 年 8 月 26 日（水）19:00～20:00
参加大学：順天堂大学、島根大学、鳥取大学、岩手医科大学
- ・ 第 6 回
開催日時：平成 27 年 9 月 30 日（水）19:00～20:00
参加大学：順天堂大学、岩手医科大学
- ・ 第 7 回
開催日時：平成 27 年 11 月 25 日（水）19:00～20:00
参加大学：順天堂大学、島根大学、鳥取大学、岩手医科大学
- ・ 第 8 回
開催日時：平成 28 年 1 月 27 日（水）19:00～20:00
参加大学：順天堂大学、鳥取大学
- ・ 第 9 回
開催日時：平成 28 年 2 月 24 日（水）19:00～20:00
参加大学：順天堂大学、鳥取大学、岩手医科大学
- ・ 第 10 回
開催日時：平成 28 年 3 月 30 日（水）19:00～20:00
参加大学：順天堂大学、鳥取大学、岩手医科大学

6-2 がんプロ放射線 TV カンファレンス

■概要

(1) 名称

がんプロ放射線 TV カンファレンス

(2) 日時、参加大学

- ・ 第1回
開催日時：平成27年5月22日（金）17:00～18:00
参加大学：順天堂大学、島根大学、岩手医科大学
- ・ 第2回
開催日時：平成27年7月31日（金）17:00～18:00
参加大学：順天堂大学、島根大学、岩手医科大学
- ・ 第3回
開催日時：平成27年9月18日（金）17:00～17:50
参加大学：順天堂大学、島根大学、鳥取大学
- ・ 第4回
開催日時：平成27年12月11日（金）17:00～18:00
参加大学：順天堂大学、島根大学、岩手医科大学
- ・ 第5回
開催日時：平成28年3月4日（金）17:00～18:00
参加大学：順天堂大学、島根大学、鳥取大学、岩手医科大学

6-3 がんプロ薬剤師関連カンファレンス

■概要

(1) 名称

薬剤師関連カンファレンス

(2) 日時、参加大学

- ・ 第1回
開催日時：平成27年10月28日（金）18:00～19:05
参加大学：順天堂大学、島根大学、岩手医科大学、東京理科大学

6-4 がんプロ共同研究カンファレンス

■概要

(1) 名称

共同研究カンファレンス

(2) 日時、参加大学

- ・ 第1回
開催日時：平成27年7月23日（木）9:30～11:00
参加大学：順天堂大学、東京理科大学

6-5 がんプロ共同研究

■概要

- ・共同研究①「がん化学療法に伴う好中球減少と SIRT1 遺伝子発現に関する検討の共同研究について」
(順天堂大学－島根大学－岩手医科大学－東京理科大学)
- ・共同研究② (順天堂大学－東京理科大学)
- ・共同研究③「小細胞肺癌の新規早期診断マーカーに関する検討」
(順天堂大学－明治薬科大学)
- ・共同研究④「薬物トランスポーターと抗がん剤耐性について」
(順天堂大学－明治薬科大学)
- ・共同研究⑤「GPCR の作働薬、拮抗薬の開発」
(順天堂大学－東京理科大学)
- ・共同研究⑥「マクロファージ炎症反応阻害薬の開発」
(順天堂大学－東京理科大学)
- ・共同研究⑦「抗がん剤による F N 対応調査内容」(検討中)
(順天堂医院 薬剤部－東京理科)
- ・共同研究⑧「デジタル PCR を用いたがん研究」
(順天堂大学－東京理科大学)
- ・共同研究⑨「粒子線治療における原子核反応データの研究」
(立教大学－順天堂大学)
- ・共同研究⑩「テネイシン C の癌浸潤部での発現解析」
(順天堂大学－東京理科大学)
- ・共同研究⑪「サーチェイン I の化学療法時の副作用への関与解析」
(順天堂大学－島根大学－東京理科大学)
- ・共同研究⑫「乳癌化学療法時の最適制吐剤探求に関する臨床試験 TTT」
(順天堂－鳥取－岩手医科－島根－東京理科)
- ・共同研究⑬「ALDH2 遺伝子多型と吐気の強度に関する ACHIVE 試験」
(順天堂大学－東京理科大学)
- ・共同研究⑭「アカデミック・ディテリングデータベースに関する試み」
(順天堂大学－東京理科大学)

6-6 がんプロ海外研修

■海外研修 1

(1) 名称

「Medical Innovation Tour – MD Anderson Cancer Center & Baylor Collage of Medicine –」

(2) 期間、研修先

研修期間：平成28年2月28日～3月7日

研 修 先：米国 MD Anderson Cancer Center (Inpatient Pharmacy, Simulation Center, Proton center)

(3) 参加者の概要

参加者数：順天堂大学（教員1名、学生3名）

岩手医科大学（教員1名）

■海外研修 2

(1) 名称

「山陰がん認定医療スタッフ育成コース（インテンシブ）海外研修」

(2) 期間、研修先

研修期間：平成28年3月7日～10日

研 修 先：トーマスジェファーソン大学（アメリカ フィラデルフィア）

Jefferson Medical College

Office of the Dean 1025 Walnut Street Philadelphia, PA 19107

ホームページ：<http://www.jefferson.edu/jmc.html>

(3) 参加者の概要

参加者数：2名

島根大学医学部 内科学講座 呼吸器・臨床腫瘍学 教授 磯部 威

島根大学医学部附属病院 呼吸器・化学療法内科 医科医員 木庭 尚哉

■資料

文部科学省 平成24年度「がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン」選定事業
～ICTと人で繋ぐがん医療維新プラン～

「Medical Innovation Tour」 報告

MD Anderson Cancer Center & Baylor College of Medicine

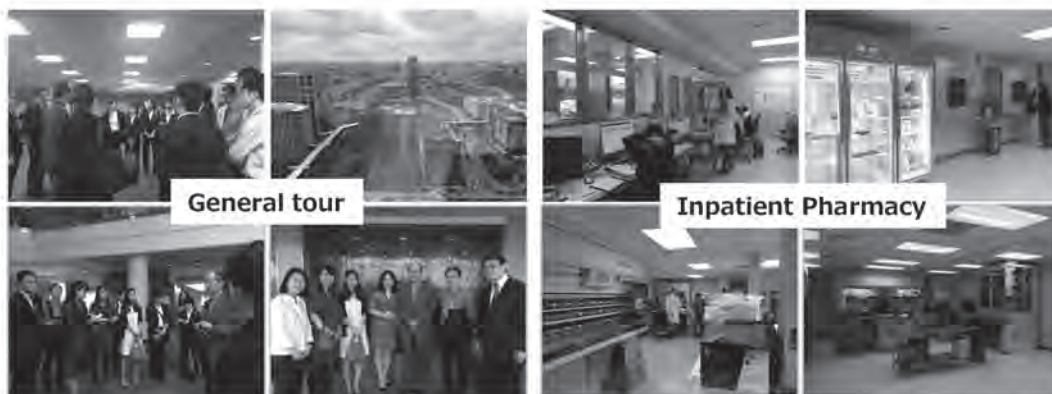
昨年度に引き続き、Baylor College of Medicineの山本慎也先生の協力のもと、2016年2月28日～3月7日の日程でアメリカの最大級のメディカルセンター、Texas Medical centerを訪れました。本研修は、海外で活躍する先生方のセミナーや研究施設の見学を通して、海外で研究することや英語でコミュニケーションをすることの重要性を肌で感じ、地域から世界まで、さらには基礎から臨床まで俯瞰する次世代のがん研究者・医療人の育成の一環として企画されました。

研修にはがんプロ連携7大学のがんプロ登録生およびインテンシブ・コース生である、医師3名、薬剤師1名の4名が参加し、現地では同時期に研修に来ていた東京大学・秋田大学の方と交流する機会もあり、短い期間ではありましたが充実した時間を過ごすことができました。

研修ではMD Anderson Cancer Center(MDACC)およびBaylor college of Medicineで活躍する沢山の先生方に講演をしていただくとともに、MD Anderson Cancer Centerの多くの施設

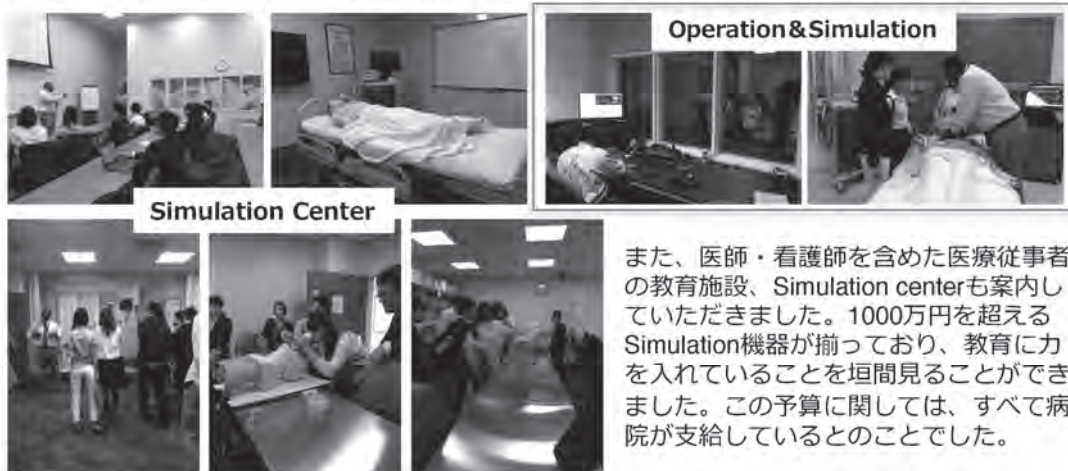
(Inpatient Pharmacy, Simulation Center, Proton center)を見学する機会も得ることができましたので、報告させていただきます。

Tour of MDACC.



メインロビーでMDACCのover viewをお話しいただき、病室及び乳腺センターを案内していただくと同時に、どのようなチームにより診察を行っているか、そして臨床研究の現状などもお話しいただき、研修生にとっても私にとっても大変刺激的な時間になりました。

午後にはInpatient Pharmacy、及び病棟ごとにあるsatellite Pharmacyの見学をさせていただき、病院における薬剤部及び薬剤師の役割の重要性を感じることができました。



また、医師・看護師を含めた医療従事者の教育施設、Simulation centerも案内していただきました。1000万円を超えるSimulation機器が揃っており、教育に力を入れていることを垣間見ることができました。この予算に関しては、すべて病院が支給しているとのことでした。

Lecture @ MDACC

Dr. Kato



Dr. Takahashi



MDACCにて臨床医として活躍されている加藤先生、そして高橋先生にお話を伺いました。日本の医学部を卒業後、2年のresidentを終了と同時にアメリカに渡り、現在はアメリカの最先端の医療を提供している病院にて活躍されています。アメリカのがん治療の最前線、そして人工知能、WATSONを利用した診断の可能性についての最前線の知見を得ることはでき大変勉強になりました。意見交換を行いながら、近い将来、一緒に研究ができることを楽しみにしています。

Dr. Matsuda



Dr. Harano&Dr.Kawano



Breast Medical OncologyにてPost Docをされている原野先生、河野先生そして松田先生にお話を伺いました。乳がん領域における臨床研究に関する日本とアメリカの違いを知ることができ勉強になりました。また、医師にとって、留学という選択をするキャリアの参考になったのではないかと思います。

Dr. Suzuki

Proton centerの鈴木先生によるLectureおよび施設見学が行われまし。MDACCでの陽子線治療の現状、そして治療計画立案の方法、チーム医療の現状など大変貴重なお話を伺うことができました。また陽子線治療装置およびその裏側まで見学することができました。



Dr. Komaki

Radiation Oncologyの教授で本学の客員教授でもある小牧先生にお話を伺うことができ、女性の生き方として、非常に参考になるお話を聞かせていただきました。そして、患者さんのことを一番に考えた医療を提供することの大切さを改めて実感することができました。



Lecture @ Baylor collage of Medicine

本研修でも大変御世話になった山本先生の所属するBaylor医科大学を見学させていただきました。また、彼と一緒に働く小児科、Dr. Michaelにお話を伺う機会をしていただき、ショウジョウバエが実験動物として有用な理由、医学研究に与えるインパクトなどをお話いただきました。彼の研究室とAMEDが推進するIRUD(未診断疾患イニシアチブ)との共同研究も始まっており、今後が楽しみです。



		28	29	1	2	3	4	5	6	7
		Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun	Mon
AM	8:00									
	9:00									
	10:00		MDACC general tour (9:30am-11:00am)		Group Work	MDACC simulation center			DEPARTURE	
PM	11:00			Dr.Ueno's Lab (10:30-12:00am)			Dr.Michael Wangler Lecture			
	12:00						Dr. Takahashi, Grand round.			
	13:00	ARRIVAL	MDACC inpatient pharmacy			MDACC Division of Cancer Medicine	Dr.Yamamoto Lecture & TMC Tour			
	2:00			Dr.Komaki (Radiation Oncology)		(Dr. Takahashi)		Proton Center		
	3:00		Dr.Kato		Dr.Mitani (Pathology)			Lecture & Tour (Dr Suzuki)		
	4:00			Dr. Matsuda (Breast Medical Oncology)						
	5:00									
	6:00	Dinner with U.Tokyo	Rare Disease day (The Health Museum)		Dinner with Dr.Fujimoto	Dinner with my oncology dream team	Dinner with Dr.Takahashi			
	7:00									
	8:00									

7. ニュースレター

7-1 ニュースレター第 13 号

順天堂大学 先導的がん医療開発研究センター

2015
第
13
号

Leading center for the development and research of cancer medicine

がん関連専門資格について

がんプロフェッショナル養成基盤推進プランでは、がん関連専門資格の取得を推奨しています。
本号では、がん治療に関わる資格として、がん治療認定医の他、6つの資格についてご紹介いたします。

がん専門薬剤師

国立がん研究センター

研究支援センター 研究企画部 企画支援室 治験事務局 薬剤部 米村 雅人



がん専門薬剤師は、日本医療薬学会が認定するがん専門薬剤師資格であり、医療上、広告が可能な専門性に関する資格として平成22年5月14日に認められました。本資格は、高度化するがん医療の進歩に伴い、薬剤師の専門性を活かしたより良質かつ安全な医療を提供するという社会的要請に応えるため、がん薬物療法等について高度な知識・技術と臨床経験を備える薬剤師を養成し、国民の医療・健康・福祉に貢献することを目的としています。具体的な役割としては、抗がん剤治療計画（レジメン）の設計、エビデンスの確認、輸液や制吐剤などの支持療法の処方提案、薬物間相互作用の確認、内服状況の確認及び検査値等の変動を含めた副作用確認などが挙げられ、がん医療に精通した薬剤師として病院内でその技能が認められ、多岐にわたる貢献が求められています。

本資格を取得するためには、薬剤師としての5年以上の実務経験の他、日本病院薬剤師会、薬剤師認定認証機構等の認定薬剤師の資格取得、がん専門薬剤師研修施設での5年以上の研修歴、がん患者さんへの薬学的介入事例50症例の提出、試験の合格などが必要であり、本資格取得のためにはかなりの努力が必要となっています。これらの困難を越えたがん専門薬剤師は、現在437名（平成27年1月）まで増えており、がん薬物療法等を行っていく上で必要とされるチーム医療の一員として、それぞれの病院で活躍しています。

岩手医科大学 臨床薬剤学講座 講師（主任薬剤師） 佐藤 淳也

がん医療専門薬剤師の育成と期待

3大がん治療の1つである抗がん剤治療には、薬剤師の支援が必要不可欠です。これには安全性の観点のみならずチーム医療が推進される点でも厚生労働省医政局長通知（医政発0430第1号）「医療スタッフの協働・連携によるチーム医療の推進について」にあるように薬剤師の積極的活用が医師の負担軽減につながるものと期待されています。ここでは薬剤師には、抗がん剤調製のみならずレジメン管理、服薬指導、副作用に対する支持療法の提案などがん医療で実現しやすい具体的な活動が求められています。これらチーム医療を担える専門的薬剤師の育成のため、今から10年前がん専門薬剤師制度が発足しました。現在では認定母体も3つ（日本医療薬学会、日本病院薬剤師会、日本臨床腫瘍薬学会）となり、現在約1400名のがん専門的薬剤師が全国で活躍しています。しかし、これは薬剤師全体からするとわずか0.5%、病院薬剤師全体からしてもわずか2.8%の薬剤師にすぎません。また、認定者の地域格差も大きく、地域医療では医療機関のがん医療に関するウエイトを勘案すると、まだまだがん専門的薬剤師が充足していないものと思われます。これには、認定要件のハードルの高さもありますが、根本的に指導薬剤師と研修施設の不足が指摘されています。つまり、認定要件に指導薬剤師の所属する研修施設あるいは一定のがん診療レベルを有する研修施設での研修が求められているからです。認定学会は、指導者、研修施設を認定することはあっても、これら指導者や施設を育成することはありません。がん専門薬剤師制度と前後して始まったがんプロフェッショナル養成プランには、先進的業務や臨床研究を牽引できる指導的薬剤師の育成やがん臨床業務を研修できる施設のレベルアップなど、専門的薬剤師を目指す人材に研修の場を提供することに大きく貢献している事業として、今後とも拡充が期待されます。

Leading center for the development and research of cancer medicine

がん関連専門資格について

がん治療認定医



岩手医科大学 泌尿器科学講座 教授 小原 航

がん治療認定医は、がん治療の共通基盤となる臨床腫瘍学の知識およびその実践を支える基本的技術に習熟し、医療倫理に基づいたがん治療を実践する優れた医師および歯科医師とされる。がん治療認定医の資格認定に関しては以下の要件を求めるものとする。

1. がん治療の全相（初期診断から終末期医療まで）における標準的な医療内容に関して説明責任が果たせる。
 2. 外科治療、薬物治療、放射線療法など各々の専門領域において、その標準的治療に対し、指導医・専門医との連携のもとに適正医療の継続に協力できる医師と認定するに必要不可欠な知識、医療経験を有する。
 3. 外科治療、薬物療法、放射線療法など各々の専門領域において、先端医療（臨床開発研究）の内容が理解できる。
- 私自身は泌尿器がん診療に携わっていますが、化学療法や分子標的薬にはどんな選択肢があるか、放射線療法は併用すべきか、どの段階で緩和ケアを導入すべきかなどといった幅広い知識が常に必要とされます。がん診療に関わる若手医師には、是非がん治療認定医を目指してほしいですし、かかりつけの開業医ががん治療認定医であれば、患者さんは悩みを安心して相談できるようになります。がん診療に関わる医師は、常に自己研鑽すべきで、患者さんに対して最善の医療を提供する責任があるということです。がん治療認定医取得はそのためのきっかけになると思います。

順天堂大学 産婦人科学 助教 木村 美葵

がん治療認定医は、日本医学会の“がんに関する基盤的な幅広い事項、すなわちがんの細胞生物学、病理・病態、診断、治療（緩和医療を含む）、予防に関する知識・技術を取得していることを認めるがん治療認定医制度を設ける”という提言の下、日本癌治療学会、日本臨床腫瘍学会、日本癌学会、全国がん（成人病）センター協議会の4団体が共同で設立した日本がん治療認定医機構が認定している制度です。

この提言により、がん治療に関する専門医は、認定医と専門医の2段階制とし、幅広いがんの基本的な知識をもつがん治療認定医の上に、各がん治療関連学会の認定するがん薬物療法専門医、放射線治療専門医、臓器別のがん治療に関する専門医（婦人科腫瘍専門医など）を置くこととされました。

がん治療に携わる医師であれば、他の臓器の診療でどんなことが起こっていて、治療法にどんな進歩があるのか、といったことは当然知っておくべきことですが、初期研修終了後は、自分の専門科以外の知識を学ぶ機会はなかなかありません。この認定試験の範囲は、各臓器のがん各論だけではなく、がんの生物学、疫学、臨床研究や統計、病理学、薬物療法、放射線療法、緩和医療、がん倫理学…と基礎から臨床まで多岐に渡っており、その試験勉強で横断的に広くがんを学べるメリットがあります。特に試験直前に開催されるセミナーは、各領域の最新のがん治療をコンパクトにまとめてあり、大変勉強になります。また5年毎に更新試験があり、日々進歩するがん治療の現在をアップデートできます。

認定を受けるメリットですが、整形外科や泌尿器科など、基本領域の中に腫瘍専門医の制度がない科では、がん治療認定医の取得により、がん専門医であることが患者さんにわかりやすくなると思われます。また婦人科腫瘍専門医や小児がん認定外科医などのように、がん治療認定医であることが申請要件にある専門医もあるため、がん治療を専門にと考えている医師は取得することをお勧めします。

順天堂大学 下部消化管外科 大学院博士課程3年 伊藤 慎吾

がん治療認定医は、セミナーや試験を通して、がん診療を行うにあたって持っておくべき基本的な知識、経験を備えているかチェックする資格と位置づけられています。がん診療をするうえで、常に幅広い情報の取得とアップデートは必須です。認定医試験を受けるにあたり、認定医機構から送られるテキストや問題集などでがん全般における幅広い分野についての勉強が必要となりました。専門分野だけではなく、日常診療において専門以外のがん領域でどのようなことが行われ、治療法にどのような進歩があるのかを知っておくことの大切さを改めて感じました。

試験直前のセミナーでは、各領域の高名な先生方の講義もあり、週末がセミナーと試験によって完全に潰れてしまうスケジュールではごさいましたが、今後もがん診療に携わっていくうえで大変有意義な経験となりました。がん診療科に所属しておられるまだ受験されていない先生方は、教室の同僚を誘ってがん治療認定医試験を受験してはいかがでしょうか。自分の専門分野を含めて知識の確認にもなります。私もがん診療に関わるスタッフの中では若輩者ですので、このがん治療認定医取得を通して今後も自己研鑽を重ね診療していきたいと思っています。

放射線治療専門医



島根大学 医学部 放射線医学講座放射線腫瘍学 教授 猪俣 泰典

放射線治療医は「医師の医師（Doctor's doctor）」とも言われています。直接、患者さんが放射線治療科を受診することではなく、他診療科の先生方からの相談や依頼に応じて診療を行っています。

放射線治療を行うためにはあらかじめ撮影したCT画像をもとに放射線治療計画を行います。計画は治療目的に応じて放射線の種類、放射線を照射する方向とその数、1回の線量と照射回数、照射スケジュール等を患者さんごとに決めます。現在の放射線治療では腫瘍に正確に放射線を照射することが出来るだけでなく、正常臓器のどの部分にどのくらいの線量が照射されるかも高い精度で判ります。そのためにがんを完全に直すチャンスが高くなるとともに、予期していない合併症が起こる可能性は格段に低くなっており、安全で確実な治療です。

放射線治療は高精度化が著しく進んでいます。そのためにより高度な専門性が求められています。例えば前立腺がんなどに多く行われている強度変調放射線治療（IMRT）を行うための要件には常勤スタッフとして放射線治療専門医2名と医学物理士1名が求められています。

放射線治療専門医になるためには卒業2年間の前期研修後、放射線科専門医修練認定施設で3年間の研修を行い放射線科専門医の資格を取得します。その後、放射線治療専門医修練認定施設で2年間の研修を経て試験に合格すれば放射線治療専門医の資格を得ることが出来ます。放射線治療専門医の人数はおよそ1,000名ほどです。全国のライナックの台数よりも少なく需要に供給が全く追いついていません。現在、日本ではがん患者さんの3人に1人、欧米では3人に2人が放射線治療を受けています。日本におきましても今後ますます欧米並みに放射線治療の需要が高くなっていくことが確実視されています。ひとりでも多くの方が放射線治療専門医を目指されることを願っています。

医学物理士



順天堂大学 放射線治療学 助教 黒河 千恵

がんの放射線治療に携わるスタッフとして、放射線腫瘍医、放射線治療技師、看護師に加えて、医学物理士という仕事があることを紹介させていただきます。がんの放射線治療では、X線やガンマ線、電子線、陽子線、炭素線、中性子線などの放射線をがん照射し、治療を行います。これらの放射線が人体に与える影響は、放射線腫瘍医の専門分野です。一方、放射線自体の性質（物理的な性質）や治療装置の原理等を専門とするのが、医学物理士です。医学物理士はこういった専門的知識を用いて、放射線腫瘍医の処方通りに、あてたい場所に適切な量の放射線が投与されるよう治療の精度を担保しています。現在、医学物理士になるためにはいくつかの道がありますが、共通していることは、放射線の専門的知識と物理学や工学の知識を身につける必要があることです。私の場合は、大学・大学院で物理学の研究をしたのち、順天堂のサポートを受けて米国にて2年間医学物理士としての研修を行い、認定試験を受け、日本・米国の医学物理士となりました。医学物理士の養成については、2007年の文科省がんプロフェッショナル養成プランにおいても掲げられ、順天堂大学を含む複数の大学で医学物理士養成コースが設置されています。

順天堂大学では、放射線治療を行っている4つの附属病院に計4名の医学物理士が勤務しております。私たちは患者さんと直接お会いする機会はほとんどありませんが、患者さんが安心して放射線治療を受けられるよう、また、治療スタッフがその専門に集中できるよう、治療精度の面からサポートしております。どうぞよろしくお願い致します。



がん薬物療法専門医



岩手医科大学 腫瘍内科学科 教授 伊藤 薫樹

がん薬物療法専門医の魅力

がんの治療成績は新たな抗がん薬や分子標的薬の登場により確実に向上しています。良好な結果を得るためには、このような薬剤の副作用管理をしっかりと行って計画通りに治療を遂行することが求められます。がん薬物療法専門医は最適ながん薬物療法を行うための能力を備えたエキスパートで、日本臨床腫瘍学会により認定されます。専門医として（1）臨床腫瘍学・がんの基礎医学・臨床薬理学・緩和医療学の修得（2）臓器横断的にがん薬物療法を修得し、患者の病態や社会背景にも配慮した質の高いがん医療の実践（3）診療科・職種横断的チームでのリーダーシップの発揮（4）がん治療に関するコンサルテーションやセカンドオピニオンへの適切な対応（5）科学的な研究手法と論理的な思考に基づいた臨床試験の立案・推進・実践（6）臨床腫瘍学発展のための人材育成と教育環境の整備、といったことが求められています。実際、私も専門医となり臓器横断的ながん薬物療法を行うことで多くのスキルや知識が修得でき、がん医療の幅が確実に広がったと感じています。

がんプロはこのような人材育成を行うことを目的としており、多くの専門医が携わっています。是非あなたもがんプロを通じて、がん患者さんの生活と生存の質を最大限に向上させることができるエキスパートを目指しましょう。

緩和医療専門医



島根大学 医学部緩和ケア講座 教授 中谷 俊彦

日本緩和医療学会専門医を目指すみなさまへ

日本緩和医療学会は平成8年に設立された学会ですが、会員数は年々増加しており平成27年5月で1万1千名を超えています。重要な学会活動の1つとして専門医認定制度の確立は必須であり、平成21年4月に日本緩和医療学会暫定指導医制度が始まり、翌年の平成22年4月に緩和医療専門医制度が発足しました。日本緩和医療学会専門医認定制度の目的は、「緩和医療の専門性を確立し、制度的に保証すること」にあります。

治療が難しくなった病気の患者さん・ご家族の苦痛は種々多彩であり、「全人的な苦痛」を緩和して生活の質を保つことが切実に求められている医療現場において「いつでも、どこでも、質の高い緩和ケア」を提供・普及させるためにも専門医の立場で診療することは重要です。緩和医療学会専門医を取得するためには学会研修認定施設での研修が必要ですが、研修認定施設である当院では10年以上活動している緩和ケアチーム、21床の緩和ケア病棟、そして緩和ケア外来を開設しており、その連携活動を緩和ケアセンターで統括して研修が行いやすいシステムを有しています。新専門医制度における基本診療領域には入りませんが、これからの緩和医療専門医資格を得られるように研修プログラムを作成して、具体的に支援する体制を準備していますので、関心のある方はお気軽にお問い合わせ下さい。

がん看護専門看護師



鳥取大学 医学部附属病院 看護師キャリアアップセンター
認定看護師育成支援室 主任教員 山崎 かおり

鳥取大学は、がんプロフェッショナル養成基盤推進プランの一環として、がん看護専門看護師育成コースの開講に先駆け、がん看護認定看護師育成コースを開講しました。認定看護師教育課程「がん化学療法看護」を経て、現在は「乳がん看護」をしており、私はがん看護専門看護師として「乳がん看護」の主任教員をしています。また、がん看護専門看護師の育成コースは本年度より開講し、さらに充実した教育体制を確立しています。がん医療のレベルアップの中心的存在として専門・認定看護師の重要性はますます増加し、教育はもとより、医療現場でのチーム医療の要となっていくものと思います。

がん医療の均てん化に向けたさまざまな取り組みの中で、地方のがん医療人育成に携わりますと、医療現場にいたときよりも、さらにがん医療のプロフェッショナルの必要性を感じます。しかし、専門教育の修了生は将来のがん医療を発展させる仲間として力強い存在です。今後も、がんプロフェッショナル養成基盤推進プランを基礎として、一人でも多くのがん看護専門看護師やがん関連の認定看護師を着実に育成していき、患者・家族にとって安心で満足できるがん医療の提供に役立ちたいと思います。

平成27年度 試験日程等一覧

*2015.6.15現在の情報(抜粋)です。詳細はHPにてご確認ください。

資 格		申込・試験・申請等について (H27年度)
医 師	がん治療認定医 (日本がん治療認定医機構)	【申 込 み】 7/1～8/5 【セミナー受講】 11/7、8 【試 験 日】 11/8 試験 【発 表】 12/中旬 【審査申請受付】 ～1/中旬 【発 表】 4/上旬 【認定交付】 6/上旬
	放射線治療専門医 (日本医学放射線学会)	【申 込 み】 4/6～6/1 (必着) 【試 験 日】 8/21、22
	がん薬物療法専門医 (日本臨床腫瘍学会)	【申 込 み】 5/15～8/10 【書類審査】 9/1～10/中旬 【結果通知】 10/21 (試験の1か月前、予定) 【試 験 日】 11/22、23 【発 表】 1/中旬 【認定開始】 4/1～
	緩和医療専門医 (日本緩和医療学会)	【申 込 み】 7/1～7/31 【書類審査】 ～10/19 【試 験 日】 11/28、29 【発 表】 ～3/31 【認 定】 4/1
看護師	がん看護専門看護師 (CNS) (日本看護協会)	【申 請】 7/14～7/23 (オンライン分) ～7/30 (郵送分) 【報告書提出】 7/14～9/1 【試 験 日】 10/30 【発 表】 12/8 【認定申請】 ～12/15
物理士	医学物理士 (医学物理士認定機構)	【出 願】 8/17～24 【試 験 日】 10/3 【発 表】 個別郵送 【認定申請】 10月、1月
薬剤師	がん専門薬剤師 (日本医療薬学会)	【申 込 み】 6/1～30(必着) 【試 験 日】 11/7



Leading center for the development and research of cancer medicine

報告

下記のとおり大盛況のうちに終了いたしました。ありがとうございました。

- **講演会(順天堂大学)**「日本における胃がん及びその化学療法の実状について」
講師：順天堂大学医学部 食道・胃外科 岩沼 佳見 准教授 他
2015年4月 2日(木) 10:00～11:30
16日(木) 10:00～11:30
- **第6回島大総合医セミナー(島根大学)**「がん診療におけるかかりつけ医、総合医、専門医の融合」
講師：飯塚病院 総合診療科 清田 雅智 診療部長 他
2015年4月24日(金) 19:00～21:00
4月25日(土) 9:00～12:00
- **セミナー(鳥取大学)**「鳥取大学医学部附属病院がんセミナー」
講師：鳥取大学医学部附属病院 女性診療科 板持 広明 先生 他
2015年5月7日(木) 18:30～20:00
- **セミナー(順天堂大学)**「OncoPrint™を用いた研究とその展望」
講師：順天堂大学医学部 腫瘍内科学 山口 茂夫 先生
講師：順天堂大学大学院 医学研究科 ゲノム・再生医療センター 茂藤 薫 先生
2015年6月12日(金) 18:30～20:00
7月 8日(水) 18:30～20:00 ICT接続により連携大学に配信
- **市民公開シンポジウム(東京理科大学)**「がんの薬物治療、現在と未来」
講師：国立がん研究センター東病院 消化器内科 吉野 孝之 科長 他
2015年6月27日(土) 13:30～16:20

今後のスケジュール

詳細はHPに随時掲載します

- **講演会(岩手医科大学)**「乳がん手術のエビデンスと実践」
講師：順天堂大学 乳腺・内分泌外科学 齋藤 光江 教授 他
2015年7月24日(金) 18:00～20:00 岩手医科大学創立60周年記念館9階第2講義室
- **講演会(岩手医科大学)**
「消化管がんの最新治療と将来の展望～内科的・外科的治療および新規医療機器の開発～」
講師：開運橋消化器内科クリニック院長 岩手医大非常勤講師 遠藤 昌樹 先生
2015年7月29日(水) 15:00～17:50 岩手医科大学創立60周年記念館9階第2講義室
- **国際シンポジウム(岩手医科大学)**
「イメージガイド下がん診断・治療と医用ロボットの展望」～日本に於けるがん診療への応用～
講師：東京女子医科大学 先端生命医科学研究所 先端工学外科学分野 吉光 喜太郎 特任助教 他
2015年8月6日(木) 15:30～17:30 ホテルメトロポリタン盛岡 ニューウイング
- **連携FD研修会(会宿：岩手医科大学)**「がん教育を支えるサポーター養成プログラムの案出」
2015年8月29日(土)・30日(日)

編集後記

奈良県立医科大学に於いて、招待講演「人工がん創生100周年～環境の感化・形成的刺激・がん哲学～」の機会が与えられた。上田西ロータリークラブ結成25周年 & 東御ロータリークラブ結成10周年記念事業では、記念講演「山極勝三郎博士 人工がん創生100周年～がん治療の精神的ケア～」(上田市に於いて)をする機会が与えられた。上田市は、山極勝三郎(1863～1930)の故郷である。山極勝三郎とは、「類稀な忍耐を持って、日本の独自性を強く主張し、日本の存在を大きく世界に示した」、「段階ごとに辛抱強く、丁寧に仕上げていく、最後に立派に完成する」病理学者であったと、数回にわたって来たものである。「本質を見極める、悠々とした、大きなビジョン」を持ち、且つ、「広く裾を知らせている人物」でもある。「今、ふたたび、がんプロ(がん関連専門資格を持つ人物)！」の時代的出番であろう。

編集長・広報委員長 樋野 豊央

順天堂大学先導的がん医療開発研究センター

順天堂大学がん生涯教育センター

〒113-8421 東京都文京区本郷2-1-1

編集 順天堂大学大学院がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン 広報委員会

発行 順天堂大学大学院がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン

<http://ganpro-ict-plan.jp/index.html>

7-2 ニュースレター第14号

順天堂大学 先導的がん医療開発研究センター

 2015
第
14
号

Leading center for the development and research of cancer medicine

ニュースレター

「地域医療」について

がんプロフェッショナル養成基盤推進プランでは、首都圏と地域の広域連携を図るとともに、それぞれの地域医療の発展についても積極的に取り組んでいます。本号では、その取り組みについて詳しくご紹介いたします。

岩手医科大学 腫瘍内科学科 教授 伊藤 薫樹

地域との教育連携と今後の取り組み

岩手県は全国で2番目に広い県であり、各医療機関がカバーすべき医療圏も広大です。医療資源は盛岡に集中しており、盛岡以外は医師不足傾向にあります。各医療圏には基幹病院となるべき県立病院が配置されており、本学とこれらの県立病院との教育連携は県全体のがん医療の質の向上に必要不可欠です。このような背景のもと、これまでのがんプロ事業として、本学と各県立病院間をTV会議システムで結び、定期的にキャンサーボードミーティングや緩和ケアカンファレンスなどの双方向的な教育連携を行ってきました。医師同士のディスカッションだけでなく、看護師や薬剤師にもそれぞれの立場から発表を行う多職種参加型カンファレンスとなっており、チーム医療の質の向上が期待できます。また、がんプロの啓発活動として、患者自らがチーム医療の一員であることを知ってもらうことを目的に市民公開講座を行いました。患者中心のがん医療を行うためにはどのような人材が必要かについて、市民との活発な意見交換を行いました。さらに、現在注目されている「がん患者の就労」に関する連携大学ICT特別講義を開催しました。特に県内のがんサバイバーにも参加していただき、県全体としての今後の取り組みや課題が議論され、がんプロ教育の必要性が共有されました。また、県内の小学生や高校生を対象にがん教育活動を行っています。講義やシミュレーターを用いた体験型学習などを通じて多角的にがんについて知ってもらう機会を提供しております。

新たな取り組みとして、地域における化学療法質の向上を図るべく、いくつかの県立病院とのピアレビューも始めました。この活動を通じて各地域における問題点を抽出し、今後、がんプロによる教育連携を進めていきたいと考えております。一方で、このがんプロ事業のアウトカムとして、上述したような教育連携によるがん専門医療人の育成だけ

ではなく、最終的に患者へのがん医療の質の向上にいかにかこのがんプロをコミットさせていくかが重要な課題として残っています。特に本学では、がんプロ事業の一つであるインテンシブコース「先導的がん臨床研究に精通した医療人育成」を通じて多くの修了生を輩出してきました。今後は、この人材を登用して地域を含めた臨床研究を実施することにより地域がん医療の質の向上を図り、患者への直接的な貢献に繋がることを期待しています。





「地域医療」について

島根大学 医学部 内科学講座 呼吸器・臨床腫瘍学 教授 磯部 威

島根県におけるがんの地域医療の現状とがんプロの地域貢献について

島根県は、がん薬物療法専門医とがん診療連携拠点病院が県東部に偏在化しています。そのため、県央から県西部におけるがん医療の均てん化が急務となっています。そこで、本がんプロでは、「山陰がん認定医療スタッフ育成インテンシブコース」を島根大学と共同で設置しました。プロジェクトの目的は ① ICTの活用、② がん医療の均てん化、③ がん医療従事者の生涯教育の実施 の3点に要約され、地域支援型のがん診療連携を指向しています(図1)。

「ICTの活用」に関しては、山陰地区は東西の距離が約160kmと長く、公共の高速輸送機関がなく、高速道路を含めた交通網が発達していません。そこで、医療従事者が地元にながらにして情報を収集、共有するために、島根大学医学部にテレビ会議システムの拠点を置き、県内の離島を含む31施設とICT連携しました。このシステムの特徴は、大学で行う講義や、講演会を演者のスライド上のポインターを含めて配信する機能を有しているため、遠隔教育が可能であること、参加できない場合には、講義録画が可能であるため、後日CD-ROMとして配布し、個人あるいは院内のグループでパソコンを用いて再生閲覧が可能で、また、face to faceのテレビ会議を行うことも可能です。がんプロ連携7大学から配信される有益ながんに関するセミナーも受講可能です。

「がん医療の均てん化」については、がん診療連携拠点病院ではない地域の総合病院に大学からがん薬物療法専門医を派遣し、外来化学療法の整備と腫瘍専門外来を開設し、地域のがん患者が通院治療を行う体制を作りました。一方、地域病院で働くがん薬物療法専門医を中心に看護師、薬剤師と大学病院間のがん診療連携を構築し、がんの診断、病期分類、初期治療導入を大学で行い、以後の治療は地域病院で継続し、大学と地域病院間で定期的なテレビカンファレンスを行っています。

「がん医療従事者の生涯教育」として、本コースは1年間のプログラムで所定の講義を受講修了した方には「山陰がん認定医療スタッフ認定証」が授与されます。山陰地区におけるネットワーク作りと、都会と地方がICTで容易に連携できることで、病診連携、人材交流、医療従事者の再教育、地域がん診療への貢献が着実に進んでいます。

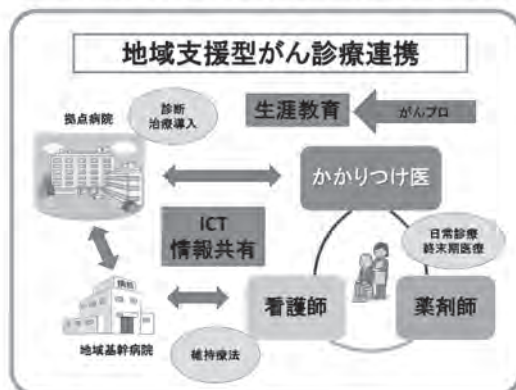


図1



Leading center for the development and research of cancer medicine

地域医療の発展

鳥取大学 医学部附属病院がんセンター センター長 教授 辻谷 俊一

鳥取県における地域連携の現状と課題

当院は鳥取県のがん診療連携拠点病院（以下拠点病院）として県のがん医療のレベルアップを図るため、地域における様々な取り組みを行っています。拠点病院が順に行う「鳥取県がんフォーラム」や、当院が独自で行う「公開講座」で医療者や市民へのがん情報の普及啓発に努め、「緩和ケア研修会」に県内の多くの医療者が参加できるように各拠点病院の開催時期を調整します。拠点病院の間でICTを活用し、鳥取大学の講師による「がんセミナー」を毎月、院外の講師による「公開セミナー」を年数回開催し、最新のがん診療情報を共有します。これらの情報発信は今後、参加者数の増加と議論の深化を図ることが課題です。また、医師会と協議しながら5大がんの県内共通のクリニカルパス（がんパス）を作成し、「わたしのカルテ」という診療記録冊子を使用して診療所との連携を促進しています。しかし、県内は依然として患者の病院指向が強く、がんパスが十分に活用されていないのが実情で、拠点病院の医師が積極的に地域と連携する態度を涵養する必要があります。「中海緩和ケア研究会」では年2回の学術集会と講演会を行い、鳥取県・島根県をまたぐ地域で拠点病院に緩和ケア病棟、診療所、訪問看護、介護施設、薬局などのネットワークを作り、緩和ケアの質の向上や顔の見える連携を推進しています。この活動は始まったばかりですが、山陰の地域連携を刷新する力になることを期待しています。また、県内では病理医や放射線診断医・治療医が不足しており、医師の派遣やICTの活用によるがん診断を通して病院診療の援助を行っています。

今後の目標は、鳥取県がん診療連携協議会の「作業部会」を充実させ、地域連携や相談支援の役割をより高度なものにして、患者・家族をさらに広く深く支える地域医療ネットワークを構築することです。また、拠点病院の「院内がんセンター」の推進を図りながら、拠点病院の間で「合同がんセンター」を定期的に開催し、そこにも緩和ケア病棟、在宅診療所、訪問看護ステーション、薬局などが参加する仕組みを作りたいと考えています。そのうえで、多くの施設が参加して標準治療と緩和医療が協働する体制を作り、そこで様々な臨床試験を実施し、将来的に患者・家族の満足できるがん医療の実現を目指したいところです。



お知らせ がん教育講演会を開催いたします

参加費
無料

がん教育を進めるにあたって

学校教育全体の中で「がん教育」を推進することにより、がんに対する正しい理解とがん患者に対する正しい認識及び命の大切さに対する理解を深めるため、また今後のがん教育の在り方について検討すべく、講演会を開催いたします。小学校・中学校・高等学校の教職員・保護者及び教育関係者をはじめがん教育に関心のある方々のご参加をお待ちしています。

日時 10月21日(水) 18時～20時

会場 順天堂大学 本郷・お茶の水キャンパス センチュリータワー南10階

申し込み

参加ご希望の方は、10月13日(火)までに「お名前」「ご連絡先」「メールアドレス」をご記入いただき、FAXまたはE-mailにてお申し込みください。定員になり次第締め切りとさせていただきます。

■ FAXによる申込み
必要事項をご記入の上、
FAX: 03-3813-3622 にお送りください。

■ E-mailによる申込み
必要事項をご記入の上、
E-mail: ganpro@juntendo.ac.jp にお送りください。

主催 順天堂大学がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン
先進的がん医療開発研究センター
<http://ganpro-ict-plan.jp/index.html>

1 開会挨拶

順天堂大学大学院医学研究科 新井 一 研究科長

2 基調講演

講演1 順天堂大学大学院医学研究科 臨床腫瘍学 加藤 俊介 教授
「がんの基礎知識とがん教育の現状」

講演2 順天堂大学大学院医学研究科 分子病理病態学 樋野 興夫 教授
「今後のがん教育の在り方」

3 Open Discussion

4 閉会挨拶
順天堂大学大学院医学研究科 呼吸器内科学 高橋 和久 教授





Leading center for the development and research of cancer medicine

情報 コーナー

報告

下記のとおり大盛況のうちに終了いたしました。ありがとうございました。

- 講演会(岩手医科大学)「乳がん手術のエビデンスと実践」
講師：順天堂大学 乳腺・内分泌外科学 齊藤 光江 教授 他
2015年7月24日(金) 18:00～20:00 ICT接続により連携大学に配信
- 研究会(鳥取大学)「鳥取大学医学部附属病院 中海緩和ケア研究会」
講師：博愛病院 角 賢一 院長 他 2015年7月26日(日) 13:00～16:00
- 講演会(岩手医科大学)「消化管がんの最新治療と将来の展望～内科的・外科的治療および新規医療機器の開発～」
講師：関連橋消化器内科クリニック院長 岩手医大非常勤講師 遠藤 昌樹 先生 2015年7月29日(水) 15:00～17:50
- 国際シンポジウム(岩手医科大学)
「イメージガイド下がん診断・治療と医用ロボットの展望」～日本に於けるがん治療への応用～
講師：東京女子医科大学 先端生命医科学研究所 先端工学外科学分野 吉光 喜太郎 特任助教 他
2015年8月6日(木) 15:30～17:30
- セミナー(鳥取大学)「鳥取大学医学部附属がんセミナー」
講師：鳥取大学医学部附属病院 第二内科 大山 賢治 助教 他 2015年8月6日(木) 18:15～20:00
- セミナー(順天堂大学)「Multidisciplinary Research Projects at the Department of Translational Molecular Pathology of MD Anderson Cancer Center」
講師：MD Anderson Cancer Center 藤本 淳也 Assistant Professor 2015年8月11日(火) 10:30～11:30
- 講演会(岩手医科大学)「婦人科がん治療における腹腔鏡手術のあり方と展望」
講師：鳥取大学器官制御外科講座 生殖機能医学分野(産科婦人科学) 出浦 伊万里 助教 他
2015年9月2日(水) 16:00～18:00 ICT接続により連携大学に配信
- セミナー(岩手医科大学)「がん臨床試験の実態～CRCおよびParamedicalの役割とプロトコール作成の実態～」
講師：国立がん研究センター研究支援センター研究推進部/JCOGデータセンター 福田 治彦 センター長
2015年9月18日(金) 18:00～20:30

今後のスケジュール

詳細はHPに随時掲載します

- ICT特別講義(岩手医科大学)
「こどもの・自らのがんを、子どもにどう伝えるべきか?」～CLS(チャイルド・ライフ・スペシャリスト)の役割を探る～
講師：聖路加国際病院 チャイルド・ライフ・スペシャリスト 三浦 絵莉子 先生
2015年10月2日(金) 18:00～19:40 岩手医科大学循環器医療センター9階第2講義室
- 研究シンポジウム(順天堂大学)「進路の一つとしての海外留学」
講師：MD Anderson Cancer center 山口 浩史 Assistant Professor 他
2015年10月14日(水) 13:00～16:00 順天堂大学センチュリータワー北棟4階405・406教室
- 公開講座(東京理科大学)「第34回 薬学講座」 講師：埼玉県立がんセンター 緩和ケア科 余宮 きのみ 科長 他
2015年10月17日(土) 10:30～17:00 東京理科大学神楽坂キャンパス1号館17階(記念講堂)
- 特別講義(明治薬科大学)「がん治療の新技術～中性子捕捉療法とドラッグデリバリーの応用」
講師：明治薬科大学がん先端治療学：アルファ粒子線・免疫治療学 柳南 宏宣 教授
2015年10月17日(土) 13:00～14:30 明治薬科大学講義棟1階 104講義室
- 講演会(順天堂大学)「がん教育を進めるにあたって」 講師：順天堂大学 臨床腫瘍学 加藤 俊介 教授 他
2015年10月21日(水) 18:00～20:00 順天堂大学センチュリータワー南10階
- 国際シンポジウム(立教大学)「海外で活躍する医学物理士」
2015年11月14日(土) 13:00～15:20 立教大学池袋キャンパス12号館地下1階 第1・第2会議室

編集後記

博士課程「腫瘍医学」の中で講義「がん研究の歴史：癌学事始め～山極勝三郎・吉田富三・Knudson～」を終え、成田空港に向かった。Philadelphiaの93歳のKnudson宅を訪問した。遺伝性腎がんラットの原因遺伝子(Tsc2) 同定から、ヒト結節性硬化症(TSC)への展開、最近のTSC研究の話題などをdiscussionした。研究者にとっても、生涯の忘れ得ぬ貴重な学びの場であった。近刊「明日この世を去るとしても、今日の花に水をあげなさい」(幻冬舎)も挙げた。本当に、温かい昼食の語らいの時となった。人生の尊い思い出となった。まさに、人生は「意識的な良き思い出作りの実践の場」である。

編集長・広報委員長 榎野 真夫

順天堂大学先導的がん医療開発研究センター 順天堂大学がん生涯教育センター

〒113-8421 東京都文京区本郷2-1-1 <http://ganpro-ict-plan.jp/index.html>

編集 順天堂大学大学院がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン 広報委員会
発行 順天堂大学大学院がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン

7-3 ニュースレター第15号

順天堂大学 先導的がん医療開発研究センター

2015
第
15
号

Leading center for the development and research of cancer medicine

ニュースレター

10/21(水) 講演会
「がん教育を進めるにあたって」を開催しました



順天堂大学大学院 医学研究科 臨床腫瘍学 教授 加藤 俊介

去る10月21日「がん教育を進めるにあたって」と題したシンポジウムおよびパネルディスカッションを行いましたのでご報告いたします。

健康、命の大切さを考えていく上で、死因の第1位であり3人に1人ががんで亡くなる現状を考えると、国民に対する正しいがんの知識教育・普及啓発活動は重要であり、こどもからのがん教育の必要性は第2期がん対策基本推進計画にも掲げられています。しかし正しい知識の普及においては専門的医療従事者の関わりも必要不可欠であることから、平成19年度から積み上げてきた我々のがんプロ実績をどのような形で現場や社会に開かれた形で有効活用いただけるか意見交換の機会として今回のシンポジウムを企画いたしました。

当日は遅い時間にもかかわらず、文京区教育委員会教育指導課指導主事の山岸 健先生、文京区立明化小学校の井上 光広先生、順天堂大学スポーツ健康科学研究科から長登 健先生、桑女 智津江先生、さらには文京区の小中学校の先生方や一般の方々も総勢90名の参加に加え、がんプロ参加7大学をICTで結び、予定時間を越えた活発な意見交換がなされました。

子供たちとの距離が近いのは現場の先生方ではありますが、がん教育に伴う新たなご負担を考えると、私たちががんプロが果たすべき役割はとても大きいものと考えま

す。さらに、患者さんのような医療の受け手側、患者を支えるピアサポート活動などに携わる人々の協力も必要不可欠です。実際にがんにかかった家族を持つ子供たちを支える周囲の人々の関わりも欠かせません。子供たちを含む社会に属する皆がそれぞれの役割立場を果たしていくことで、中身を伴う「がん教育」が目指せることを強く感じました。

ご参加いただきました皆様方には心より御礼申し上げますとともに、今後の私たちの活動にもご興味、参画いただけますようお願い申し上げます。





がん教育を進めるにあたって

パネルディスカッション報告

文京区立明化小学校 副校長 井上 光広

panelist

「がん教育に関する講演会」に参加して

今回の「がん教育に関する講演会」に参加するにあたり、がん教育について学び直した上で増上立たせていただきました。がんを学ぶことは命を学ぶことであり、それはまた生き方を学ぶことであると改めて感じました。樋野先生のご講演にあった「がん哲学」という考え方にも共感しました。小学生がどのように生きるか考えるということは、身近な家族や地域の方、担任教師の姿などを通して影響を受けるものだと思います。それゆえに、現状ではすぐには難しいけれども、2年後にはすべての担任ががん教育の授業をできるようにしていくことが学校の役割だと強く感じました。この新しい取り組みが日本の教育界に浸透していくよう努力します。

文京区教育委員会 教育指導課 指導主事 山岸 健

panelist

「今後のがん教育推進について」

「がん教育の推進」については、がんに関する知識の普及啓発、いのちの大切さなど総合的に学習する機会を充実させることが重要であるとの考えのもと事業を進めております。がん教育の推進が学校教育において強く求められており、子どもたちの将来や豊かな生活に繋がる大切な事業であると改めて実感いたしました。さらに教師の取り組み姿勢や研修など、来年度賞状との事業提携に際し、大きな期待が溢れる会に参加できたことを感謝しております。各学校が子どもたちに対して、より一層いのちの大切さを伝えられる実践を通し、健康の増進に繋げてまいります。今後ともご協力の程、よろしくお願いたします。

順天堂大学大学院 スポーツ健康科学研究科 教授 長登 健

panelist

「がん教育を進めるにあたって」

シンポジウムは、私にとっても今後の取組について示唆をいただける貴重な機会となりました。樋野先生の話された、学び続けるための原点は、「新しいことにも、自分の知らないことにも、常に前向きに立ち向かっていくことである。」という言葉は大変印象深いものでした。8月に本学部で開催している中高保健体育教員の免許状更新講習会が、学び続けている教員の皆さんにとって、今後学校教育全体の中で「がん教育」を推進していくための一助となるよう、取り組んでいきたいと思ひます。

順天堂大学大学院 スポーツ健康科学研究科 教授 采女 智津江

panelist

講演会「がん教育を進めるにあたって」について

最先端でがんの研究や医療に取り組んでいる大学や医療機関と教育委員会・学校等が、がん教育の基本的な在り方、進め方について協議する有意義な会でした。お互いの専門分野を尊重しつつ共通理解を深めながらカリキュラム開発や研究授業等に取り組まれていました。平成20年に学校保健法が改正され、新たに地域の医療機関等との連携が盛り込まれたことから、がん教育の取組が医療機関等との連携において具体的な方法を示す一助となり、学校における健康教育の充実が図られることを期待しています。

Leading center for the development and research of cancer medicine

がんプロ連携FD研修会

盛岡地域交流センター(岩手県)

8/29(土)

8/30(日)

開催

岩手医科大学 医学部 緩和医療学科 特任教授 木村 祐輔

がんプロFDワークショップ(WS)が、連携大学中、最北の地である盛岡で、総勢40名の方々に参加をいただき8月29日～30日に開催されました。今回は「初・中等学校教育におけるがん教育過程のモデルの案出」をテーマに、がん教育を行う上で子供達に伝えるべき内容(スコープ)と、教育の過程と順序(シーケンス)を明確にすること、さらに実際の単元指導計画書(アクティブラーニング)の作成までを目指しました。

会の前半では、国際的な教育の現状を理解するために、OECDが進めるPISA(Program for International Student Assessment)と呼ばれる国際的な学習到達度に関するテストを演習形式で実際に体験し、各参加者が得た感想や意見をワールドカフェ方式によって全体共有しました。さらに、岩手医科大学の前沢教授より、「グローバルな視点からみた地域社会におけるがん教育のあり方」と題して、①PISAショック後の教育基本法の改定と学習指導要領の変革、②21世紀を生き抜くコンピテンシーを育てる授業デザイン、に関して詳細に講演して頂きました。

後半では、4グループに分かれ、講演頂いた内容を参考にしつつ、初・中等学校教育におけるがん教育過程のモデルと実際の指導内容の作成を行いました。各グループとも熱心に取り組んでいたが、「ペットの死を通して命を考える」や、「がんを題材とした演劇を子供自ら演じてもらうことで学びを深める」など、多くのユニークなアクティブラーニング法が提示されました。全体討論では、①『がん』を通して命の大切さを伝えること、②

成長段階に合わせて、生活習慣とがんの関連、予防法、検査法、治療法について理解を深めてもらうこと③学校関係者との良好なコミュニケーションのもとでがん教育を遂行すること等について意見の一致が得られました。今後のがん教育の方向性を考える貴重なWSであったと思います。ご参加いただいた全ての方々に心より感謝申し上げます。





Leading center for the development and research of cancer medicine

情報
コーナー

報告

下記のとおり大盛況のうちに終了いたしました。ありがとうございました。

- **セミナー(鳥取大学)**「鳥取大学医学部附属病院がんセミナー」
講師：鳥取大学医学部附属病院 第一外科 齊藤 博昭 先生 他 2015年10月1日(木) 18:45～20:00
- **連携ICT特別講義(岩手医科大学)**
「こどもの、自らのがんを子どもにどう伝えるべきか?」-CLS(チャイルド・ライフ・スペシャリスト)の役割を探る-」
講師：聖路加国際病院 チャイルド・ライフ・スペシャリスト 三浦 絵莉子 先生 他
2015年10月2日(金) 18:00～20:00 ICT接続により連携大学に配信
- **講演会(岩手医科大学)**「肺癌個別化医療に求められる気管支鏡」
講師：北海道大学大学院内科 品川 尚文 講師 2015年10月5日(月) 18:00～19:00 ICT接続により連携大学に配信
- **研究シンポジウム(順天堂大学)**「進路の一つとしての海外留学～海外留学経験者の話を聞いてみよう～」
講師：MD Anderson Cancer center Assistant Professor 山口 浩史 先生 他
2015年10月14日(水) 13:00～16:00 ICT接続により連携大学に配信
- **公開講座(東京理科大学)**「第31回 薬学講座」
講師：埼玉県立がんセンター 緩和ケア科 余宮 きのみ 科長 他 2015年10月17日(土) 10:30～17:00
- **公開講座(明治薬科大学)**「がん治療の新技术～中性子捕捉療法とドロッグデリバリーの応用～」
講師：明治薬科大学寄附講座「がん先端治療学」アルファ粒子線・免疫治療学教室 柳瀬 宏宣 教授 2015年10月17日(土) 13:00～14:30
- **講演会(順天堂大学)**「がん教育を進めるにあたって」
講師：順天堂大学 分子病理病態学講座 植野 興夫 教授 他
2015年10月21日(水) 18:00～20:00 ICT接続により連携大学に配信
- **セミナー**～研究を楽しむためのセミナー 2015～「Targeting Cancer Bone Metastatic Niche by microRNA」について」
講師：テキサス大学 Southwestern Med Center(ダラス) Yihong Wan, Ph.D. 2015年11月13日(金) 8:00～9:00
- **国際シンポジウム(立教大学)**「海外で活躍する医学物理士」
講師：Turville Bay MRI&Radiation Oncology Center Jessica Klaers, Ph.D. 他
2015年11月14日(土) 13:00～15:20 ICT接続により連携大学に配信
- **連携ICT特別講義(東京理科大学・順天堂大学)**
「日本医療研究開発機構(AMED)と創薬支援について～橋渡し研究、臨床研究・治療の環境整備を中心に～」
講師：国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED) 臨床研究・治療基盤事業部長 吉田 易範 先生
2015年12月2日(水) 18:30～20:00 ICT接続により連携大学に配信
- **地域シンポジウム(鳥根大学・鳥取大学)**「がんプロ地域シンポジウム～地域におけるがん教育とがんプロ～」
講師：鳥根大学医学部内科学講座 呼吸器・臨床腫瘍学 磯部 威 教授 他
2015年12月21日(月) 17:00～19:00 ICT接続により連携大学に配信

今後のスケジュール

詳細はHPに随時掲載します

- **ICT特別講義(鳥取大学・鳥根大学)**「必要とされるコミュニケーションスキル スピリチュアルケアとディグニティセラー」
2016年1月8日(金) 18:30～20:00 鳥取大学医学部附属病院がんセンターがんボード ICT接続により連携大学に配信
講師：筑波大学附属病院水戸地域医療教育センター・水戸協同病院 総合診療科 金井 貴夫 部長
- **講演会(明治薬科大学)**
①「臨床薬剤師のがん薬療法への貢献」2016年1月9日(土)
②「血液疾患患者の骨髄移植における臨床薬剤師の関与」2016年1月12日(火)
講師：イリノイ大学薬学部教員 Assistant Prof. Karen Sweiss 先生 他
- **シンポジウム(鳥根大学)**「地域から首都圏、そしてアジアまで俯瞰する肺がん研究」Update for lung cancer treatment
2016年1月14日(木) 17:00～ 鳥根大学医学部附属病院みらい棟4階ギャラキシー ICT接続により連携大学に配信

編集後記

NHK 内藤裕子 アナウンサーの総司会で、順天堂大学がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン 先導的がん医療開発研究センター」主催のシンポジウム「がん教育を進めるにあたって」(順天堂大学に於いて)が開催された(2015年10月21日)。文京区の小学校の副校長、文京区教育委員会の教育指導課の主事も参画され、外部からも多くの参加者があり大盛況であった。筆者は基調講演「今後のがん教育の在り方」の機会が与えられた。2017年度以降「全国の小・中・高校で生徒への「がん教育」が実施され、教師による「がん授業」と、医師やがん経験者など外部講師による「がん教育」が、「車の両輪」として展開される」とのことである。

がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン「ICTと人」で繋ぐがん医療革新プラン外部評価委員会(順天堂大に於いて)が開催された(2015年11月13日)。総括責任者の学長の開会挨拶、「全体事業概要説明」、「教育分野」、「地域分野」、「研究分野」、「ICTと大学間連携事業」と、内容深い発表の後、垣添忠生 外部評価委員長(日本対がん協会 会長)、眞島喜幸 委員(パンキャンジャパン 理事長)、高山智子 委員(国立がん研究センター がん対策情報センター がん情報提供研究部 部長)、石原浩 委員(文京区 保健衛生部長/文京保健所長)の建設的な助言の評価を頂いた。筆者は開会挨拶で「がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン」の目的と「純度の高い専門性と社会的包容力～車の両輪～」について語った。

編集長・広報委員長 岡野 剛夫

順天堂大学先導的がん医療開発研究センター

順天堂大学がん生涯教育センター

〒113-8421 東京都文京区本郷2-1-1 <http://ganpro-ict-plan.jp/index.html>

編集 順天堂大学大学院がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン 広報委員会

発行 順天堂大学大学院がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン

7-4 ニュースレター第16号

順天堂大学 先導的がん医療開発研究センター

2016
第
16
号

Leading center for the development and research of cancer medicine

ニュースレター

先導的がん医療開発研究センター 活動報告

順天堂大学 先導的がん医療開発研究センター 助教 今井 美沙

先導的がん医療開発研究センターより

「先導的がん医療開発研究センター」は、文部科学省が推進する高度ながん医療、がん研究等を実践できる優れたがん専門医療人を育成し、わが国のがん医療の向上を推進することを目的としたがんプロフェッショナル養成基盤推進プラン「ICTと人で繋ぐがん医療維新」により開設されました。本学及び連携大学（鳥根大学、鳥取大学、岩手医科大学、東京理科大学、明治薬科大学、立教大学）をICTと循環型人材交流で結び、地域から世界まで、さらに基礎から臨床まで俯瞰するがん研究者・医療人の養成を目的とした活動を行っております。

先導的がん医療研究者養成プログラムの実施

平成26年度より研究の為に情報提供ツールとして、OncoPrint™ Research Premium Edition を導入し、大学院生や若手研究者向けにセミナーや使い方に関するセミナーを行い、データベース活用による研究およびその計画の精度を上げる支援を行っております。さらに、研究コーディネータである私が中心となり、連携大学間での人材交流や共同研究の推進を行っています。本センターを中心に現在連携大学間で4件の共同研究が立ち上がっており、今後も積極的に交流を行っていきな

がんの研究の実施基盤として、そして国際化の拠点としての取り組み

海外で働く研究者と、順天堂大学の大学院生や若手研究者の交流を通して、海外で研究することを身近に感じる環境を整備するため、海外で活躍する研究者を招いたセミナー・シンポジウムを実施しているほか、世界最大級のメディカルセンターであるテキサスメディカルセンター及びMD Anderson Cancer Center への研修を行っております。同時に、若手研究者のキャリアパスを考えるきっかけとなるような拠点の役割を担い、海外へ興味を持つ若手研究者の海外留学の推進をするため、海外への留学を目指す若手研究者への情報提供・相談およびセミナー「進路の一つとしての海外留学」を開催しました。今後も継続的にセミナー及び研修（年一回程度）を行い、がん研究の実施基盤として、そして国際化の拠点としての役割を果たしていきます。



今後は、私自身、研究コーディネータとして、海外や国内で開かれる学会に積極的に参加し、最新の研究情報を発信していく他、積極的に連携大学間を回り、人材交流の活性化、また医科系大学と非医科系大学間での橋渡し研究の基礎を固めていきたいと思っております。また、文京区と協力し、小学校・中学校での「がん教育」を行うことで、地域との連携の拠点としての役割もきちんと担っていききたいと思っております。本プログラム最終年度となる来年度も、本プログラムの拠点として「先導的がん医療開発研究センター」を積極的に活用していただければと思っております。

研究シンポジウム

「進路の一つとしての海外留学」について



テキサス州立大学
MDアンダーソンがんセンター

Assistant Professor 山口 浩史

今回、順天堂大学でのシンポジウム「進路の一つとしての海外留学」にゲストスピーカーとして参加させていただき、現在私の所属するMD Anderson Cancer Centerと研究室の概要、そしてラボでの活動や研究の進め方について簡単にお話させていただきました。

海外留学といってもその様式は様々で、国や研究所および大学だけでなく研究室ひとつをとってもそこでの全く異なります。今回はおなじMD Anderson Cancer Centerに留学なさっていた本城先生も参加してお話していただき、その違いがよく理解していただけたのではないかと思います。私の所属しているラボは50人近くの人が所属している比較的大きなラボで、そこでの研究の進め方は小規模なラボとは異なります。それぞれ利点と欠点があり、今回は参加していただいた方々にその辺りを理解していただき、近い将来のお役に立てたら幸いです。

私自身も今回様々なバックグラウンドの先生方と交流ができて非常によい経験になりました。招待して下さった関係者の先生方に心から感謝申し上げます。



岩手医科大学

産婦人科学講座 講師 小島 淳美

私の専門分野は、日本よりも発展途上国での患者数・死亡者数がともに多い子宮頸癌という病気であり、この病気で苦しんでいる人の多い土地での医療を通して自分の腕を磨くとともに、留学先の地元医師に日本の医療を伝えられればとの思いで、縁もありインドネシアのスラバヤという都市に臨床留学する機会を得ました。

留学先では、スタッフや施設のインフラ、保険制度や分化の違いなどを目の当たりにし、広い視野で自分の専門医療を考える力を養うことができました。また現在も、自分が伝えた技術を患者さんの治療に我々の技術を生かしてくれていることを聞くと非常に嬉しく、さらに発展して継承されていくことを願ってやみません。このような形の留学スタイルもあるということを、お伝えできたらと思いお話をさせていただきました。



平成27年10月14日(水)、順天堂大学にてがんブロ研究シンポジウムが開催されました。
現在MDアンダーソンがんセンターで研究を続けられている山口 浩史先生を始め、海外留学を経験されたのちに
ご活躍されている先生方に、若手研究者に向けて海外留学についてのご講演とディスカッションをいただきました。

鳥取大学 医学部附属病院

消化器外科 講師 本城 総一郎



この度MD Anderson Cancer Centerでの留学経験について講演の機会をいただきました。初めての海外留学を具体的にイメージするのはなかなか難しいと思います。言葉の壁をはじめ多くの難題があります。そんな留学へのハードルを低くすることを今回の目標にしました。具体的な内容は割愛しますが、私が留学したMD Anderson Cancer Centerは留学先として環境が整った最適な場所だと思います。多くの研究者が留学されています。日本とアメリカでの生活の違いや注意事項は確かにありますが、ほとんどの人は留学生生活をエンジョイしています。機会があれば留学を積極的に考えていただきたいと思います。

当日は他の5人の先生方が高レベルの講演をされ、私自身、大変感銘を受けました。留学中お世話になった先生との思いがけぬ再会もありました。閉会の挨拶をされた樋野興夫先生は自らの留学体験を簡潔に教訓的に、ユーモアを交えてお話になり、感銘を受けました。講演者の私が有意義な一日を過ごさせていただいたような気がします。



明治薬科大学

分析化学教室 講師 鈴木 俊宏



このたびのシンポジウムに参加させて頂いたことで、私はもう10年も前になる米国国立癌研究所(NCI/NIH)での留学経験が、今現在も自身の研究生活に大きな影響を与えていることを改めて認識致しました。講演でお話させていただいたように、留学先で同じ時間を過ごした人々とのつながりが私の留学の最も大きな成果(財産)であり、今も彼らと一緒に留学していた時の研究テーマに取り組むことができます。これから留学する若い研究者の皆様にも、一生の宝となる仲間との出会いがあることを願っております。最後になりましたが、このような貴重な機会を与えてくださった皆様に感謝すると共に、ここでの出会いも大切にし、今後の研究・教育に生かしていこうと思っております。



Leading center for the development and research of cancer medicine

順天堂大学 大学院医学研究科

整形外科・運動器医学 准教授 末原 義之



—私のMemorial Sloan-Kettering Cancer Center,
New York, NY, USAの経験—

私は、2010年4月から3年の期間をMemorial Sloan-Kettering Cancer Center (MSKCC) でポスドク (博士研究員) として働いていました。代表的な仕事になったのが、独自に開発した全Tyrosine kinase (TK) 遺伝子変異スクリーニングシステムを用いた仕事でした。その成果として、肺癌の新規TK融合遺伝子を同定し、その同定した肺癌RET融合遺伝子について多標的TKI (cabozantinib) 第二相臨床試験を世界で始めて成功させました。帰国後は、母校である順天堂大学各科の好意的な協力と日本国内で有数の癌症例数を基に、MSKCCで学んだトランスレーショナルリサーチのストラテジーを応用してながら更なる発展を進めています。



立教大学 理学研究科物理学専攻

特任准教授 洞口 拓磨



この度は、貴重な講演の機会を頂きまして大変有難うございました。本シンポジウムでは、アメリカ合衆国ブルックヘブン国立研究所とスイス・フランス国境沿いにある欧州原子核研究機構での滞在経験をお話させて頂きました。私は、現在でこそ医学と物理学の両方に関係しておりますが、元々は物理学が専門です。そのため、聴衆の方々には少しイメージしにくい内容であったかもしれませんが、多少なりとも参考にして頂ける点があれば幸いです。また、講演及び総合討論を通して、他講演者の様々な留学体験を知ることができ、非常に勉強になりました。今後ともどうぞ宜しくお願い申し上げます。



共同研究報告



東京理科大学

がんプロ連携校における共同研究について

平成25年3月に開催された第1回臨床研究研修会において、多施設共同臨床試験のテーマとして「がん化学療法に伴う好中球減少とNAMPT活性およびSIRT1遺伝子発現に関する検討」が採択された。これまでに、島根大学、順天堂大学、東京理科大学が本テーマに参画し、多施設共同臨床試験の実施に向けた初期検討が進展している。その結果、肺がん化学療法における好中球減少とNAMPT活性低下、SIRT1遺伝子発現低下の相関が明らかになり、その成果を複数の学会で発表することができた。また、本学と順天堂大学の間では、in silico創薬支援システムを利用した共同研究、デジタルPCRを利用した共同研究も進行中である。

東京理科大学薬学部 生命創薬科学科 教授 早川 洋一

明治薬科大学

フュージョン(fusion)とかけで分子標的と解く

fusionはジャズに他のジャンルの音楽を融合させたもので、1960年代後半に生まれた。生粋のジャズファンから異端視されながらも、一時代を築いた。医療におけるfusionは2000年代に火が着き今旬を迎えている。思えば40年以上前に教えられたフィラデルフィア染色体は2つの染色体の相互転座であるが、新しいfusion遺伝子を生み発癌に繋がっていたのだ。このfusion遺伝子の産物を標的として、新規の特効薬が続々開発されてきた。固形癌でも2007年初めて非小細胞肺癌のfusion遺伝子が報告された。他方、小細胞肺癌のfusion探しは難航を極めていた。我々は高橋和久教授グループとの共同研究の機会を頂いて小細胞肺癌のfusionを追い求めてきており、地平線状にその姿をとらえつつある。

明治薬科大学 薬効学教室 教授 庄司 優

立教大学

医学・理学連携の実現を目指して

立教大学では、がんプロ連携の一環として、共同研究プロジェクト「粒子線治療における原子核反応データの研究」を順天堂大学放射線医学教室・放射線治療学講座 黒河千恵先生と推進しています。近年、陽子線や重粒子線を用いた放射線がん治療が注目を集めていますが、これら粒子線治療は従来の光子線・電子線治療に比べ腫瘍への線量集中に優れる一方、原子核反応に伴う二次放射線の発生を避けることが出来ません。この粒子線治療における原子核反応は治療の高精度化や正常組織への影響を考慮する上で非常に重要ですが、関連する原子核反応データは量・精度ともに不十分であることが指摘されています。本研究では、①不足している原子核反応データの測定、②原子核反応を考慮した粒子線治療の高精度化、③原子核反応を利用した照射領域の可視化等の研究を、医学・理学連携をキーワードに多角的に展開しています。

立教大学 理学研究科物理学専攻 特任准教授 洞口 拓磨



Leading center for the development and research of cancer medicine



報告

下記のとおり大盛況のうちに終了いたしました。ありがとうございました。

- **セミナー(鳥取大学)**「鳥取大学医学部附属病院がんセミナー」
講師：鳥取大学医学部附属病院 第二内科 松本 和也 先生 他
2016年1月7日(木) 18:15～20:00
- **ICT特別講義(鳥取大学、鳥根大学)**「必要とされるコミュニケーションスキル ストリテュアルケアとディグニティセラー」
講師：筑波大学附属病院水戸地域医療教育センター・水戸協同病院 総合診療科 金井 貴夫 部長
2016年1月8日(金) 18:30～20:00 ICT接続により連携大学に配信
- **講演会(明治薬科大学)**
①「The Role of the Clinical Oncology Pharmacist in an Ambulatory Care Setting」2016年1月9日(土) 13:00～16:00
②「Chemotherapy-induced Nausea and Vomiting」2016年1月12日(火) 14:40～16:00
講師：イリノイ大学薬学部教員 Assistant Prof. Latha Radhakrishnan 先生 他
- **シンポジウム(鳥根大学)**「地域から首都圏、そしてアジアまで俯瞰する肺がん研究」～Update for lung cancer treatment～
講師：タイ王立マヒドン大学ラマポディ病院 医学部 内科学 臨床腫瘍学講座 Thanyanan Reungwetwattana 先生 他
2016年1月14日(木) 17:00～19:35 ICT接続により連携大学に配信
- **講演会(岩手医科大学)**「骨転移診療のパラダイムシフト」～骨転移カンファレンスの現状と課題、今後の展望～
講師：岩手医科大学 放射線医学講座 鈴木 智大 助教 他
2016年1月22日(金) 18:00～19:30 ICT接続により連携大学に配信
- **セミナー(岩手医科大学)**「臨床研究セミナー」～医師だけでなく、メディカルスタッフ(看護師、薬剤師、技師等)の研究も、医師と同じように審査され、評価される時代となりました。皆で勉強しましょう～
講師：佐久総合病院佐久医療センター 臨床研究・治験センター 新美 三由紀 事務局長
2016年1月28日(木) 17:45～18:45 ICT接続により連携大学に配信
- **セミナー(順天堂大学)**「ホウ素中性子捕捉療法(BNCT)の現状と将来展望」
講師：京都大学原子炉実験所 粒子線腫瘍学研究センター 粒子線腫瘍学 鈴木 実 教授
2016年2月9日(火) 19:00～20:00
- **講演会(岩手医科大学)**「がん免疫療法について」
講師：山口大学大学院 医学系研究科 免疫学分野 玉田 耕治 教授
2016年2月16日(火) 18:00～19:00 ICT接続により連携大学に配信

今後のスケジュール

詳細はHPに随時掲載します

- **講演会(岩手医科大学)**「頭頸部癌の超音波診断～新たな診断基準の策定と新技術の開発～」
2016年3月11日(金)
- **海外の研究者/PIのセミナー(順天堂大学)**「タイトル未定」
① 講師：シンシナティ癌研究所 佐々木 敦郎 先生 2016年3月11日(金)
② 講師：ソウル大学校 Murim Choi 先生 2016年3月18日(金)

編集後記

NHK文化センター青山教室で講演する機会が与えられた。『吉田富三』のお孫様が、聴講されていたことを知った。驚きであると共に、大変嬉しかった。今は亡きご長男の吉田直哉氏(NHKのデレクターであった)とは「吉田富三生誕100周年記念」シンポで、一緒に講演したものである。懐かしい思い出である。「空の上から、自分の住み処を論ずる」向上心が、「俯瞰的に大局観を持って、日本国の将来の有り様を考える」姿勢であり、時代的要請であろう。「新しいことにも、自分の知らないことにも謙虚で、常に前に向かって努力する。」習慣の獲得である。「人類の歴史上現れたユーマの達人」とも言われる「リンカーン、新渡戸稲造」が甦った。

編集長・広報委員長 樋野 興夫

順天堂大学先導的がん医療開発研究センター

順天堂大学がん生涯教育センター

〒113-8421 東京都文京区本郷2-1-1

編集 順天堂大学大学院がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン 広報委員会

発行 順天堂大学大学院がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン

<http://ganpro-ict-plan.jp/index.html>

第 4 編

各委員会議

1. 運営連絡会

1-1 がんプロ連携 7 大学運営連絡会 (27-1)

(1) 日時・場所

開催日時：平成 27 年 5 月 26 日（火）14:00～

開催場所：順天堂大学 本郷・お茶の水キャンパス センチュリータワー北棟 4 階 405 教室

(2) 議題

1. 平成 26 年度 実績報告書の提出について
2. 5 月 18 日 全国がんプロ協議会総会について
3. 先導的がん医療開発研究センターからの報告について
 - 1) 2014 年度の実績報告
 - 2) コンサルティングの受付状況
 - 3) 今後の予定について
4. 平成 27 年度外部評価委員会について
5. 中間評価結果について
6. 各連携大学からの連絡事項（シンポジウム等の開催情報）
 - 1) 島根大学 [開催連絡 5 件] [終了報告 1 件]
 - 2) 鳥取大学 [開催連絡 3 件] [終了報告 1 件]
 - 3) 岩手医科大学 [開催連絡 4 件]
 - 4) 東京理科大学 [開催連絡 1 件]
 - 5) 明治薬科大学
 - 6) 立教大学 [開催連絡 1 件]
 - 7) 順天堂大学 [終了報告 1 件]
7. その他

1-2 がんプロ連携7大学運営連絡会（TV会議）（27-2）

(1) 日時・場所

開催日時：平成27年7月14日（火）14:15～

開催場所：各大学内会場

(2) 議題

1. 中間評価結果と改善計画について
2. 先導的がん医療開発研究センターからの報告について
 - 1) 今後の予定について
 - 2) コンサルティングの受付状況
3. 養成実績調査について
4. 外部評価委員会について
5. 各連携大学からの連絡事項（シンポジウム等の開催情報）
 - 1) 島根大学 [開催連絡 1件] [終了報告 4件]
 - 2) 鳥取大学 [開催連絡 2件] [終了報告 2件]
 - 3) 岩手医科大学 [開催連絡 2件]
 - 4) 東京理科大学 [開催連絡 1件] [終了報告 1件]
 - 5) 明治薬科大学
 - 6) 立教大学 [開催連絡 1件] [その他 2件]
 - 7) 順天堂大学 [終了報告 1件]
6. その他

1-3 がんプロ連携7大学運営連絡会（27-3）

(1) 日時・場所

開催日時：平成27年8月29日（土）連携FD研修会（岩手医科大学）開催時

開催場所：盛岡地域交流センター（マリオス）

(2) 議題

1. 養成実績調査について
2. 外部評価委員会について
3. 先導的がん医療開発研究センターからの報告について
 - 1) 今後の予定について
 - 2) コンサルティングの受付状況
4. 各連携大学からの連絡事項（シンポジウム等の開催情報）
 - 1) 島根大学 [開催連絡 4件] [終了報告 3件]
 - 2) 鳥取大学 [終了報告 2件] [連絡 1件]
 - 3) 岩手医科大学 [開催連絡 2件] [終了報告 4件]
 - 4) 東京理科大学
 - 5) 明治薬科大学 [開催連絡 3件]
 - 6) 立教大学 [開催連絡 1件]
 - 7) 順天堂大学
5. その他

中間評価結果と改善計画書について

1-4 がんプロ連携 7 大学運営連絡会 (27-4)

(1) 日時・場所

開催日時：平成 27 年 11 月 13 日（金）外部評価委員会終了後

開催場所：順天堂大学 本郷・お茶の水キャンパス センチュリータワー北棟 3 階 306 教室

(2) 議題

1. 全国がんプロ協議会 合同フォーラムについて
2. 全国がんプロ協議会 第 6 回緩和医療部会 開催連絡
3. 外部評価委員会について
4. 先導的がん医療開発研究センターからの報告について
5. がん教育について
6. 次年度計画について
7. 次年度予算について
8. 各連携大学からの連絡事項（シンポジウム等の開催情報）
 - 1) 島根大学 [開催連絡 5 件] [終了報告 4 件]
 - 2) 鳥取大学 [終了報告 2 件]
 - 3) 岩手医科大学 [終了報告 6 件]
 - 4) 東京理科大学 [終了報告 1 件]
 - 5) 明治薬科大学 [開催連絡 2 件] [終了報告 1 件]
 - 6) 立教大学 [開催連絡 1 件]
 - 7) 順天堂大学 [開催連絡 1 件]
9. その他

1-5 がんプロ連携 7 大学運営連絡会 (27-5)

(1) 日時・場所

開催日時：平成 28 年 1 月 20 日（水）全国がんプロ協議会 合同フォーラム 終了後

開催場所：林野会館

(2) 議題

1. 全国がんプロ協議会 合同フォーラムについて
2. 外部評価委員会 評価結果について
3. 先導的がん医療開発研究センターからの報告について
4. 第 4 回臨床研究研修会（合宿）について
5. 次年度計画について
6. 次年度予算について
7. 各連携大学からの連絡事項（シンポジウム等の開催情報）
 - 1) 島根大学 [終了報告 4 件]
 - 2) 鳥取大学 [終了報告 3 件]
 - 3) 岩手医科大学 [開催連絡 4 件]
 - 4) 東京理科大学
 - 5) 明治薬科大学 [終了報告 1 件]
 - 6) 立教大学 [終了報告 1 件] [その他 2 件]
 - 7) 順天堂大学 [終了報告 2 件]
8. その他

1-6 がんプロ連携7大学運営連絡会（TV会議）（27－6）

(1) 日時・場所

開催日時：平成28年3月8日（火）14:15～

開催場所：各大学内会場

(2) 議題

1. 全国がんプロ協議会 合同フォーラムについて
2. 中間評価改善計画書のフォローアップ調査について
3. 先導的がん医療開発研究センターからの報告について
4. 第4回臨床研究研修会（合宿）について
5. 次年度計画について
6. 次年度予算について
7. 各連携大学からの連絡事項（シンポジウム等の開催情報）
 - 1) 島根大学 [終了報告 7件]
 - 2) 鳥取大学 [終了報告 2件]
 - 3) 岩手医科大学 [終了報告 4件]
 - 4) 東京理科大学
 - 5) 明治薬科大学 [終了報告 1件]
 - 6) 立教大学 [開催連絡 1件] [その他 2件]
 - 7) 順天堂大学 [終了報告 1件] [その他 1件]
8. その他

文部科学省 平成 24 年度
「がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン」選定事業

平成 27 年度活動報告書

発行：順天堂大学先導的がん医療開発研究センター
順天堂大学がん生涯教育センター
東京都文京区本郷 2-1-1

許可なく転載・複製を禁じます。

